

東京藝術大学 学習と学生生活アンケート 2014

概要報告書

2015年12月

本学では、「教育」や「学生サービス」等の、より良い学生生活支援に向けて、さまざまな取り組みを行っています。

このアンケート調査内容は経年変化との比較を考えて、基本的には前回の調査を踏襲していますが、新学生寮（藝心寮）オープンに伴って質問項目を一部見直ししています。

質問は学習・学習環境・進路、学生生活・日常生活、大学全般について多岐にわたります。

さらに大学への学習環境や施設・設備等や学生生活における支援体制やサービス等について気付いた点、本学への要望などの自由記述欄を設けております。

調査は学部・修士・博士学生を対象とし、2015年（平成27年）1月中旬から2月下旬の間に実施されました。

短い時間にも関わらず多数の回答をいただきありがとうございました。

調査結果がまとまりましたので概要をお知らせいたします。

なお、関係各位におかれましては、このアンケート結果を学生の勉学や研究環境等を充実させるための基礎資料としてご活用していただきますようお願い申し上げます。



目 次

調査の概要	1
◆学習・学習環境・進路	
Q1 1週間の平均登校日数	5
Q2 授業の出席状況	5
Q3 本学の学習環境に関わることについて、どの程度満足していますか。	
①カリキュラム（授業科目体系）の構成	6
②授業時間割の科目配置の仕方	6
③シラバスの分かりやすさ	7
④履修登録の方法、分かりやすさ	7
⑤年間の授業日程	8
⑥学習サポートの仕組み（教員への相談のしやすさ、オフィスアワー等）	8
⑦大学からの情報発信や連絡（HP、掲示板、メール等）	9
⑧校舎、教室などの施設	9
⑨実技・実習の専門機材や教育機材の充実度	10
⑩図書館の図書・資料充実度、検索サービス充実度	10
⑪パソコン利用等、学内の情報環境の充実度	11
⑫くつろぎ空間や活動の場の充実度	11
⑬学生食堂・売店の充実度	12
Q4（学部2～4年生にお聞きします。）あなたは、入学前に比べて自分の能力が向上した と思いますか。	13
Q5（学部2～4年生にお聞きします。）あなたは、昨年度、卒業に必要な単位数を計画的 に修得できましたか。	13
Q6（大学院修士2年生以上、博士2年生以上にお聞きします。）あなたは、昨年度、自分 自身が立てた研究計画や目標を達成できましたか。	14
Q7－①（学部学生の方にお聞きします。）あなたが受講している授業の内容や進め方に ついて、どの程度満足していますか。	
① 一般教養を身につけるための科目（専門基礎科目、教養科目、外国語科目等）	14
② 専門教育科目（実技科目、制作実習科目）	15
③ 専門教育科目（講義・演習科目）	15
④ 受講している授業全体としての満足度	16
Q7－②（大学院学生の方にお聞きします。）あなたが受講している授業の内容や進め方、 教員の研究指導の進め方について、全体としてのどの程度満足していますか。	16
Q8－①あなたは、授業以外で英語や他の外国語に関して何か取り組んでいますか。	17
Q8－②（Q8－①でA,B,Cと答えた方にお聞きします。）その外国語は何ですか。	17
Q9－①あなたは、卒業・修了後の進路について考え、そのための勉強や行動を していますか。	18
Q9－②（Q9－①でA,B,Cと答えた方にお聞きします。）卒業後の進路について どのような希望や考えをお持ちですか。現在のあなたにもっとも当てはまる のはどれですか。	18

Q10	あなたは、就職先を選択する場合、何に重点を置きますか。	19
Q11	あなたは、会社情報の入手等、就職に向けての活動はどのようにするつもりですか。	19
Q12	あなたは、大学の就職支援（情報コーナー、相談窓口、科・専攻での対応など）について、どの程度満足していますか。	20
Q13	今後、強化してほしい就職支援の内容は何ですか。	20
◆学生生活・日常生活		
Q14	あなたの現在の住居形態は	21
Q15	通学時間（片道）は	21
Q16-①	藝心寮（学生寮）の入居を検討しましたか。	22
Q16-②	（Q16-①でB,Cと答えた方にお聞きします。） 藝心寮（学生寮）に入居しなかった、また、検討しなかった理由は何ですか。	22
Q17-①	あなたは今、アルバイトをしていますか。	23
Q17-②	（Q17-①でAと答えた方にお聞きします。） アルバイト時間（週平均）は	23
Q17-③	（Q17-①でAと答えた方にお聞きします。） アルバイトを必要とする主な理由は何ですか。	24
Q17-④	（Q17-①でAと答えた方にお聞きします。） アルバイトは学業の妨げになっていますか。	24
Q18-①	あなたは今、日本学生支援機構または他の団体から定期的に奨学金を受給していますか。	25
Q18-②	（Q18-①でA,Bと答えた方にお聞きします。） 奨学金を必要とする主な理由は何ですか。	25
Q18-③	（Q18-①でAと答えた方にお聞きします。） 奨学金はどんな面で役に立っていますか。	26
Q18-④	（Q18-①でBと答えた方にお聞きします。） 今後も奨学金に申請しますか。	26
Q19	学内の食堂について、お尋ねします。	
①大浦食堂（上野校地）	施設・設備	27
①大浦食堂（上野校地）	メニュー	27
①大浦食堂（上野校地）	味	28
①大浦食堂（上野校地）	値段	28
①大浦食堂（上野校地）	サービス・対応	29
②キャッスル食堂（上野校地）	施設・設備	29
②キャッスル食堂（上野校地）	メニュー	30
②キャッスル食堂（上野校地）	味	30
②キャッスル食堂（上野校地）	値段	31
②キャッスル食堂（上野校地）	サービス・対応	31
③生協食堂（取手校地）	施設・設備	32
③生協食堂（取手校地）	メニュー	32
③生協食堂（取手校地）	味	33
③生協食堂（取手校地）	値段	33

③生協食堂（取手校地） サービス・対応	34
Q20-① あなたは学内のクラブ・サークル等の課外活動に加入していますか。	35
Q20-②（Q20-①でA,Bと答えた方にお聞きします。）加入した目的・理由は何ですか。	35
Q20-③（Q20-①でCと答えた方にお聞きします。）加入しなかった理由は何ですか。	36
Q21-① あなたは本学的那須高原研修施設を知っていますか。	36
Q21-②（Q21-①でAと答えた方にお聞きします。）那須高原研修施設には今までに何回行ったことがありますか。	37
Q22 あなたは今後、那須高原研修施設へ行きたいと思いませんか。	37
Q23 クラブ・サークル・ゼミ・研究室等で合宿・研修等に、本学的那須高原研修施設以外で利用した施設はどこですか。	38
Q24 合宿・研修等で利用するとした場合、その施設には主に何を求めますか。	38
Q25 あなたが今、抱えている不安や悩みは何ですか。	39
Q26 不安や悩みへの主な対応方法は。	39
Q27 不安や悩みを誰に相談しますか。	40
Q28 あなたは授業以外の学生生活を充実してすごしていますか。	40

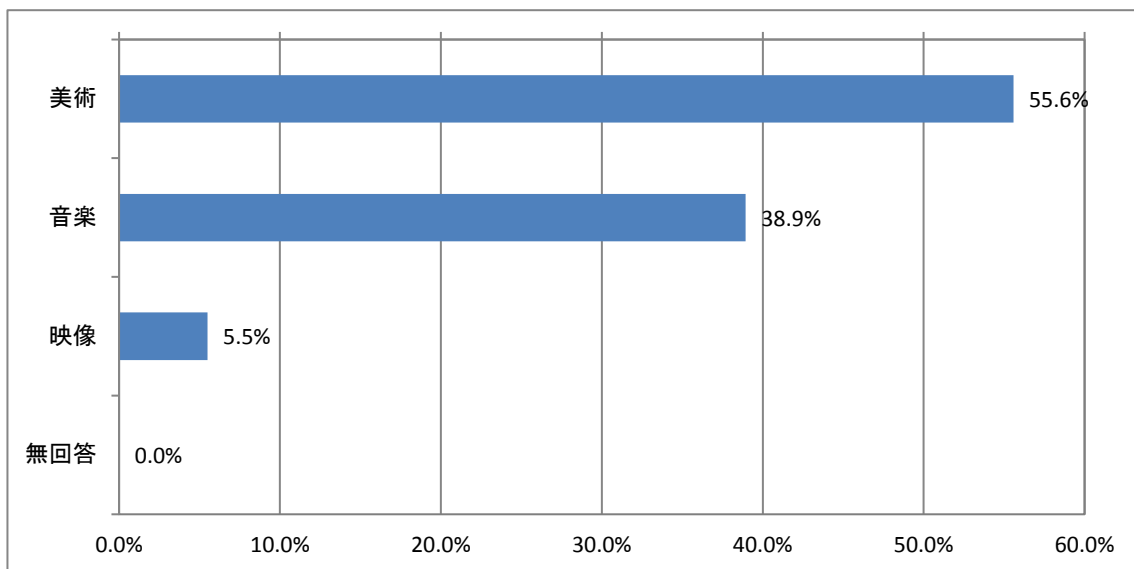
◆大学全般

Q29 授業以外の学生生活に対して、大学の学生サポート（支援）体制やサービス内容・メニューは全般的にみて十分だと思いますか。	41
Q30 以下の窓口や学生サービス担当について、どの程度満足していますか。	
①学部事務室の対応（美術・音楽の教務係、取手・千住・横浜校地の事務室）	41
②学生支援課の対応	42
③図書館窓口の対応	42
④保健管理センター、保健室の対応	43
⑤学生相談室や医師、カウンセラーの対応	43
⑥科・専攻・研究室の助教・助手の対応	44
⑦教員のオフィスアワーの対応	44
Q31 大学への要望や期待することは何ですか。	45
Q32 <自由記述>学習環境や施設・設備等について気付いた点、本学への要望や意見があれば記入してください。	46
Q33 <自由記述>学生生活における支援体制やサービス等について気付いた点、本学への要望や意見があれば記入してください。	52

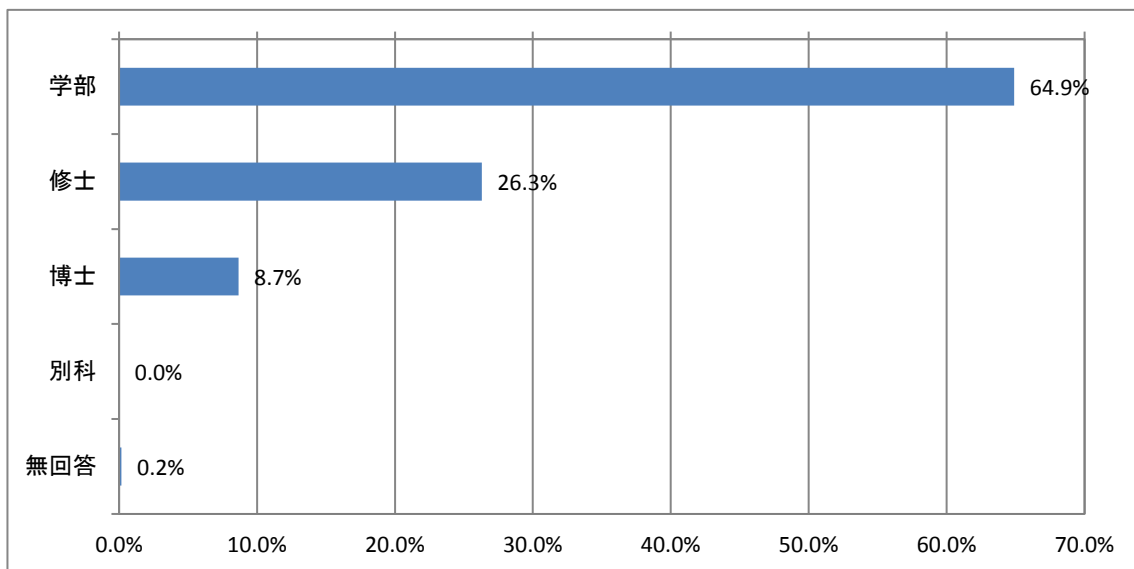
1. 調査の概要

- ①実施時期 : 2015年1月14日 (水) ~2015年2月20日 (金)
- ②対象者数 : 学部・修士・博士 3, 258名
- ③回答・回収状況 : 601名 (回収率: 18.45%) 前回の19.24%から減少となった。
- ④回答者内訳

1-1 在籍学部等

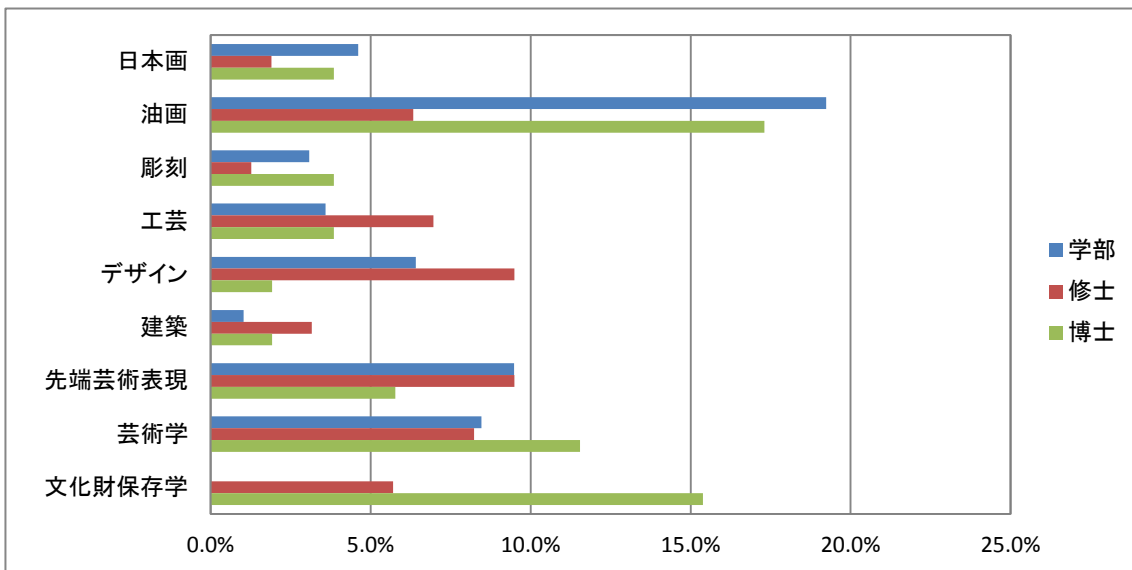


1-2 在籍身分

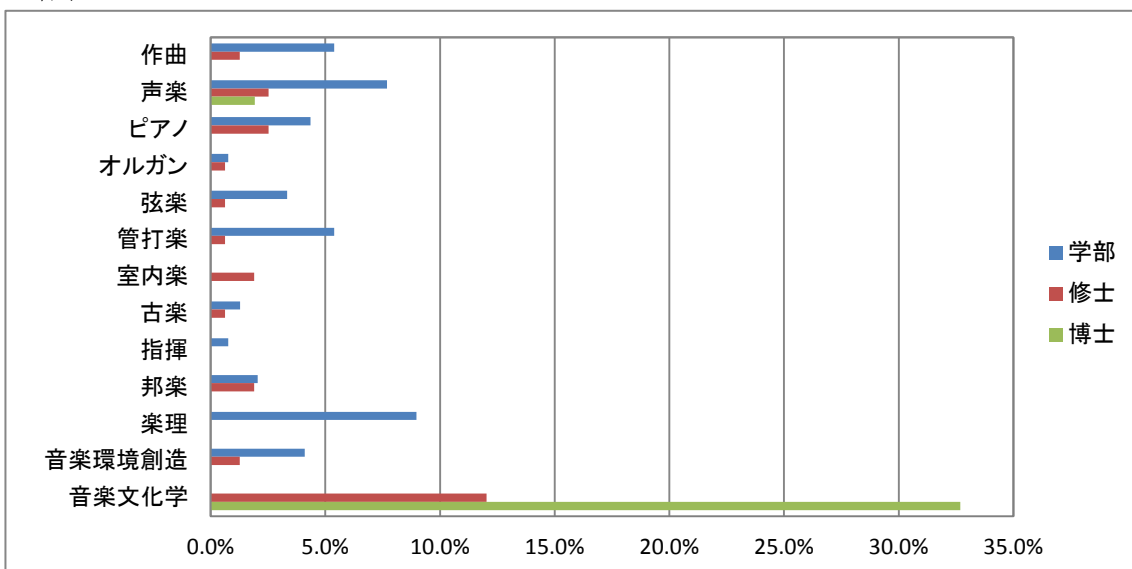


1-3 科・専攻

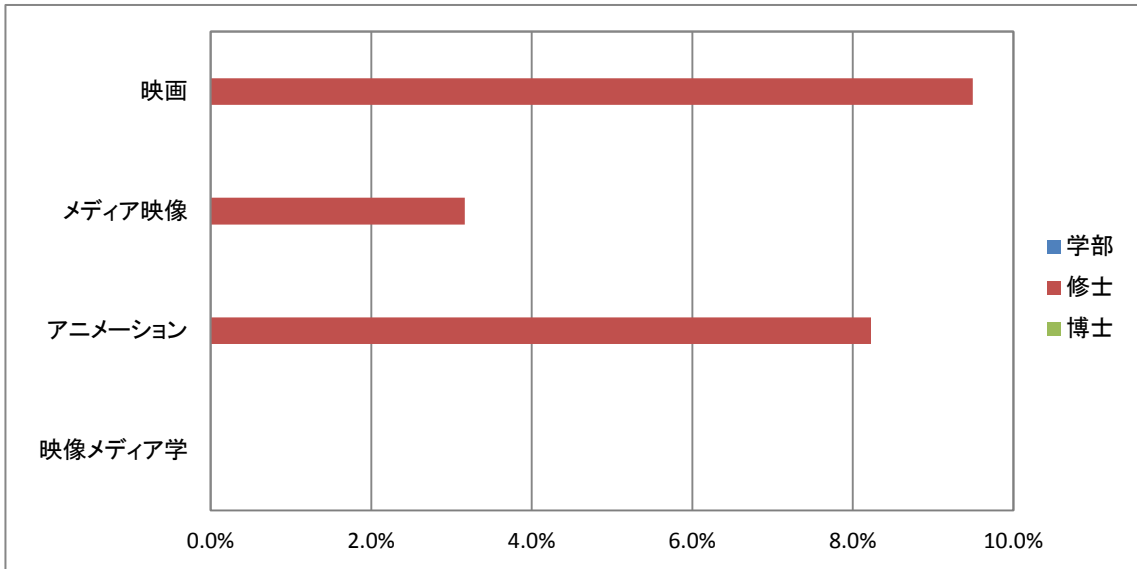
<美術>



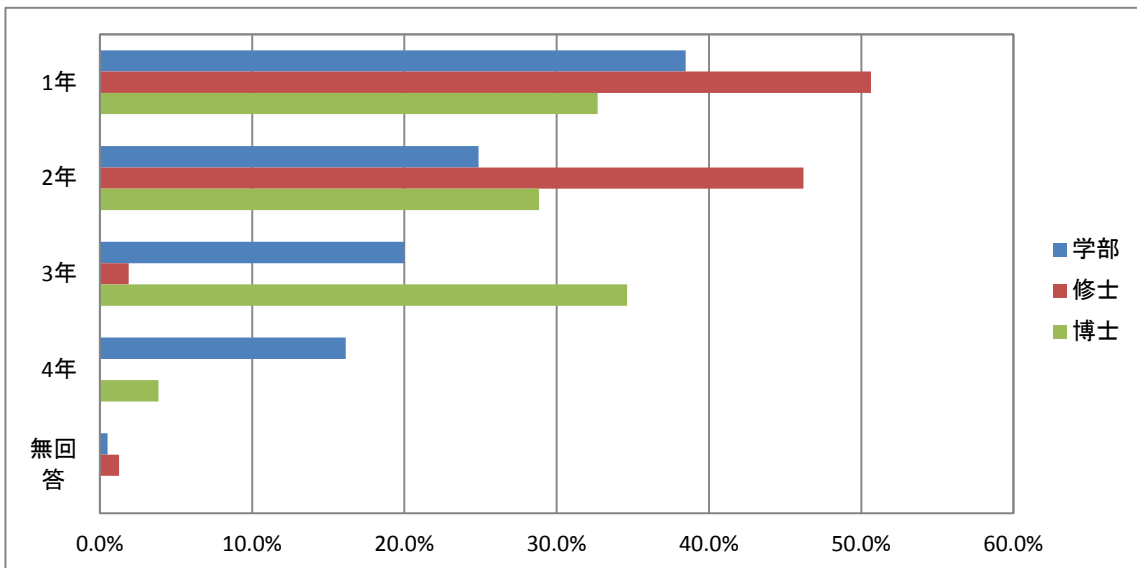
<音楽>



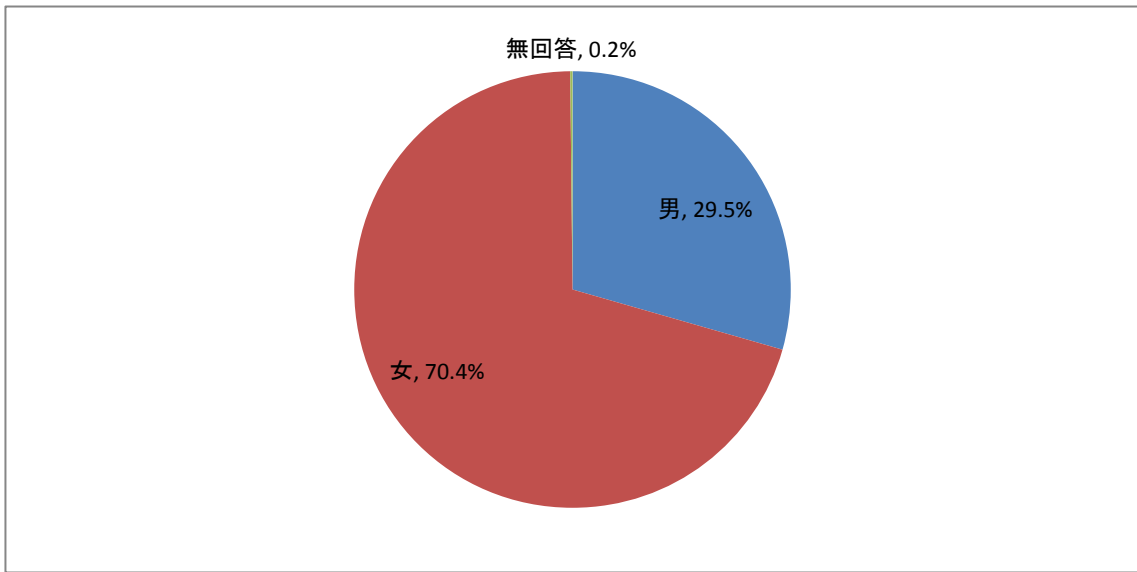
<映像>



1-4 学年

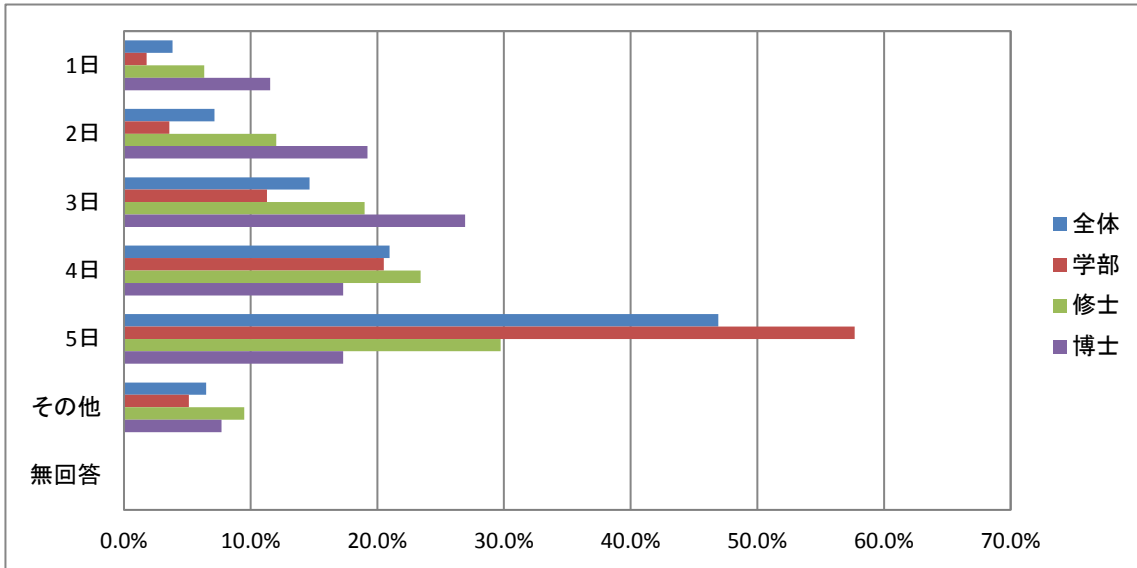


1-5 性別



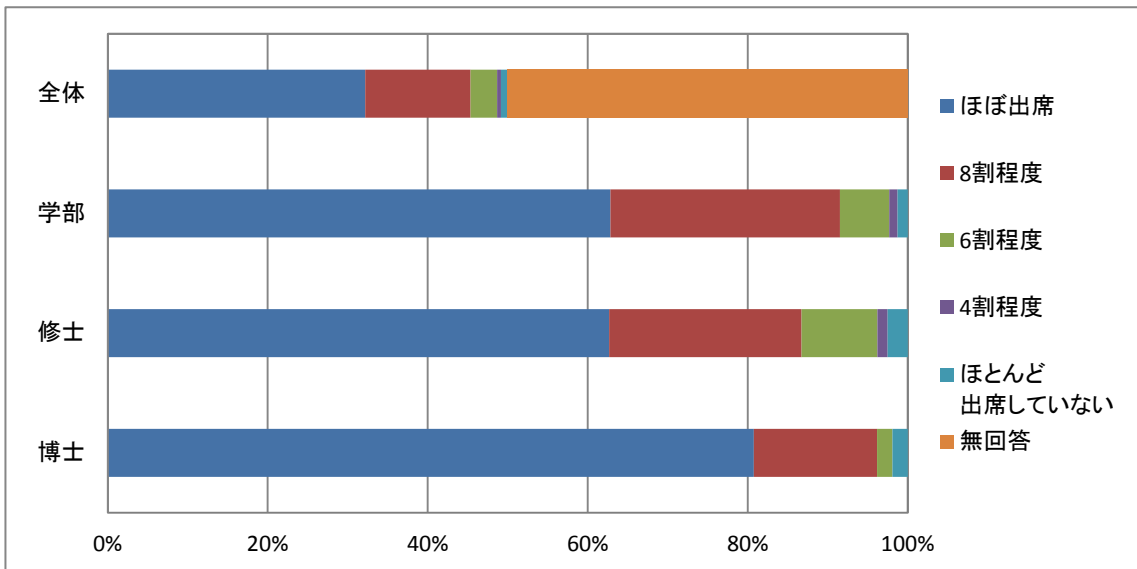
◆学習・学習環境・進路

Q1 1週間の平均登校日数



1週間の平均登校日数について、学部では「5日」が57.7%（前回58.2%）と最も多く、修士も同じく「5日」が29.7%（前回36.4%）、博士では「3日」が26.9%（前回20.8%）と多かった。

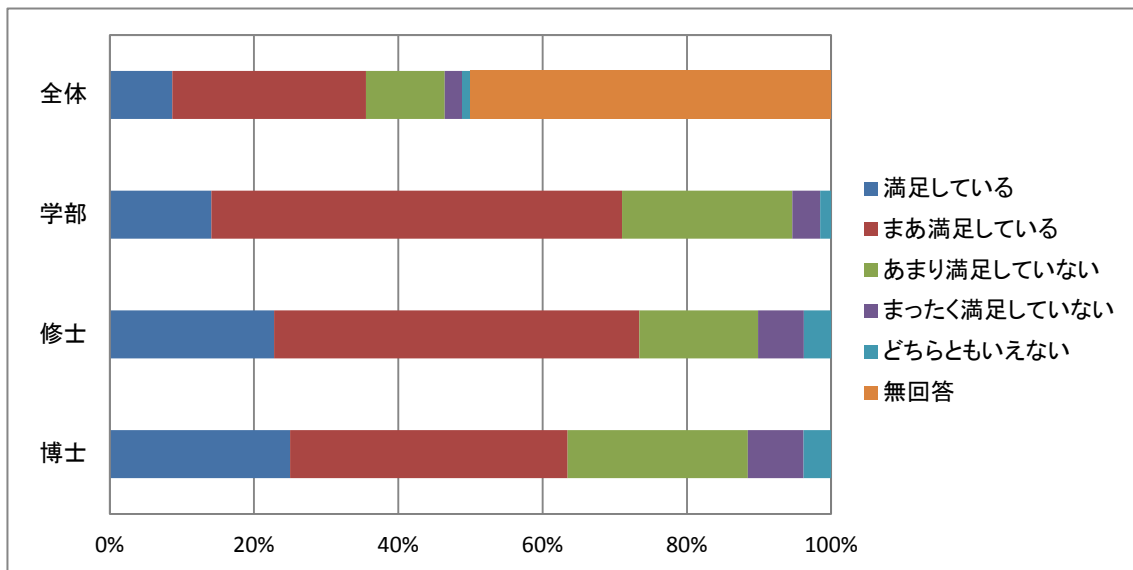
Q2 授業の出席状況



「ほぼ出席」「8割程度」と回答した者は、全体として90.7%と前回87.7%より増加となり、学部91.5%（前回89.2%）、修士86.8%（前回84.9%）、博士96.2%（前回91.7%）であった。

Q3 本学の学習環境に関わることについて、どの程度満足していますか。

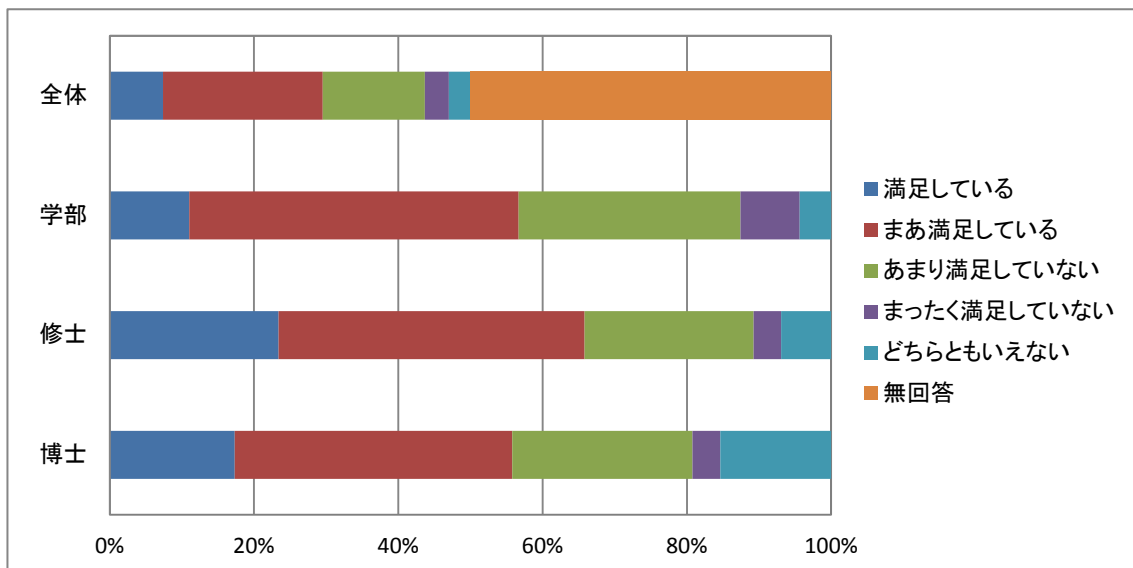
①カリキュラム（授業科目体系）の構成



「満足している」「まあ満足している」と回答した者は、全体として71%と前回78.3%より減少となり、学部71%（前回79.2%）、修士73.4%（前回78.7%）、博士63.5%（前回70.8%）であった。

Q3 本学の学習環境に関わることについて、どの程度満足していますか。

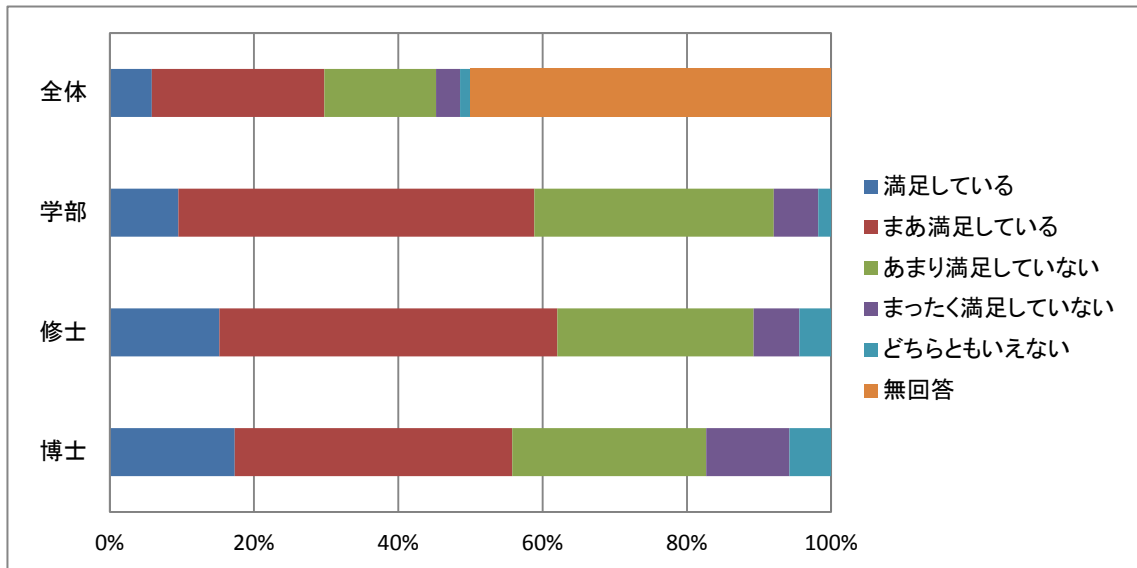
②授業時間割の科目配置の仕方



「満足している」「まあ満足している」と回答した者は、全体として59.1%と前回61.6%より減少となり、学部56.6%（前回56.3%）、修士65.8%（前回66.7%）、博士55.8%（前回75%）であった。

Q3 本学の学習環境に関わることについて、どの程度満足していますか。

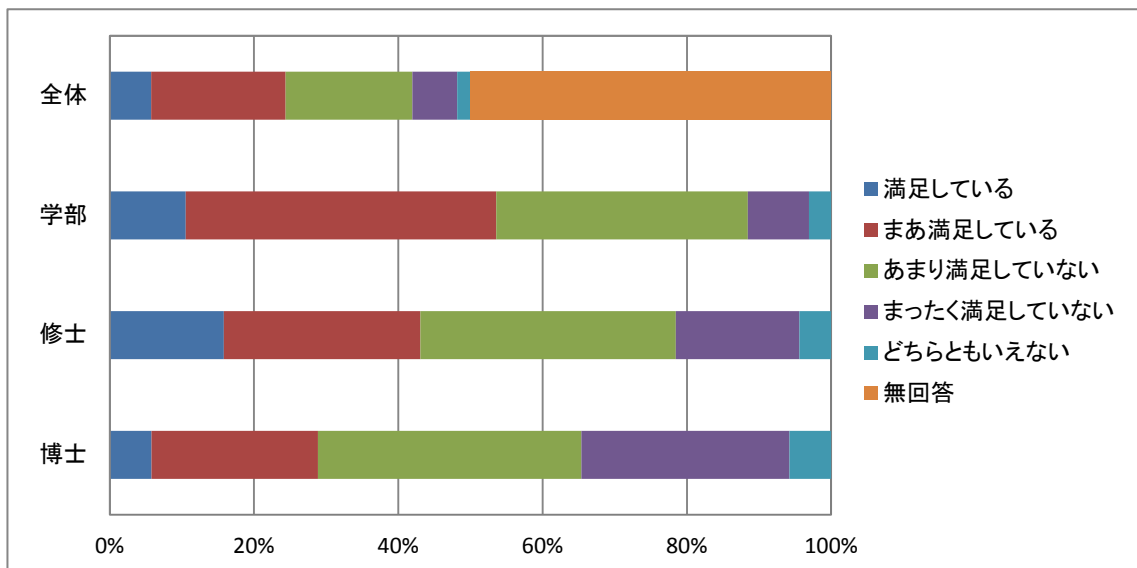
③シラバスの分かりやすさ



「満足している」「まあ満足している」と回答した者は、全体として59.4%と前回52.2%より増加となり、学部58.7%（前回50.7%）、修士62%（前回54.6%）、博士55.8%（前回62.5%）であった。

Q3 本学の学習環境に関わることについて、どの程度満足していますか。

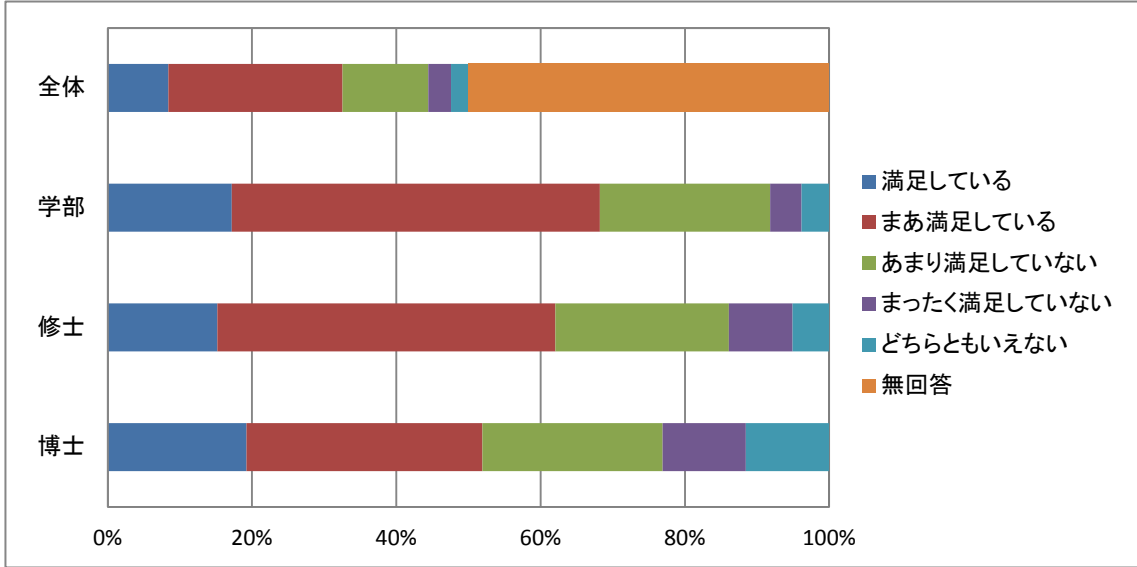
④履修登録の方法、分かりやすさ



「満足している」「まあ満足している」と回答した者は、全体として48.8%と前回43.3%より増加となり、学部53.6%（前回48.1%）、修士43%（前回42.4%）、博士28.9%（前回33.3%）であった。

Q3 本学の学習環境に関わることについて、どの程度満足していますか。

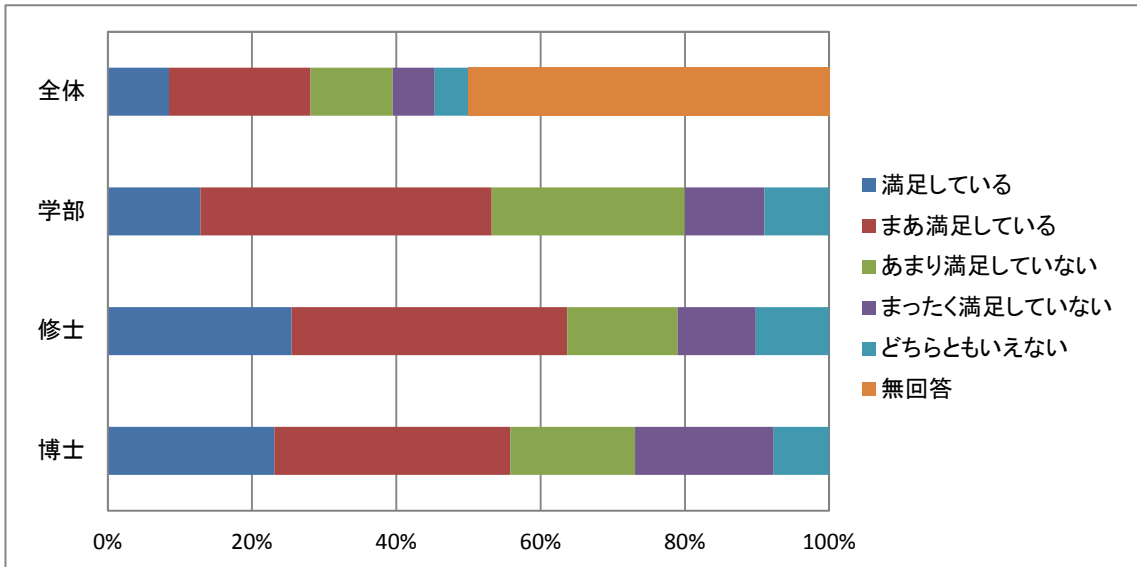
⑤年間の授業日程



「満足している」「まあ満足している」と回答した者は、全体として65.1%と前回72%より減少となり、学部68.2%（前回74%）、修士62%（前回72.7%）、博士51.9%（前回70.8%）であった。

Q3 本学の学習環境に関わることについて、どの程度満足していますか。

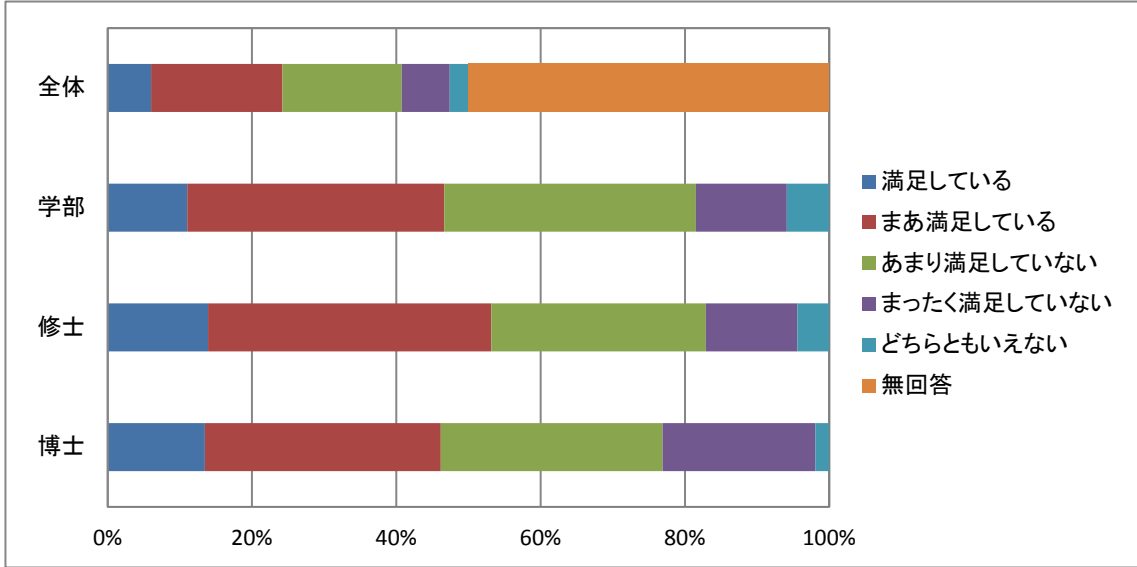
⑥学習サポートの仕組み（教員への相談のしやすさ、オフィスアワー等）



「満足している」「まあ満足している」と回答した者は、全体として56.1%と前回58.3%より減少となり、学部53.1%（前回54.5%）、修士63.3%（前回66.7%）、博士55.8%（前回58.3%）であった。

Q3 本学の学習環境に関わることについて、どの程度満足していますか。

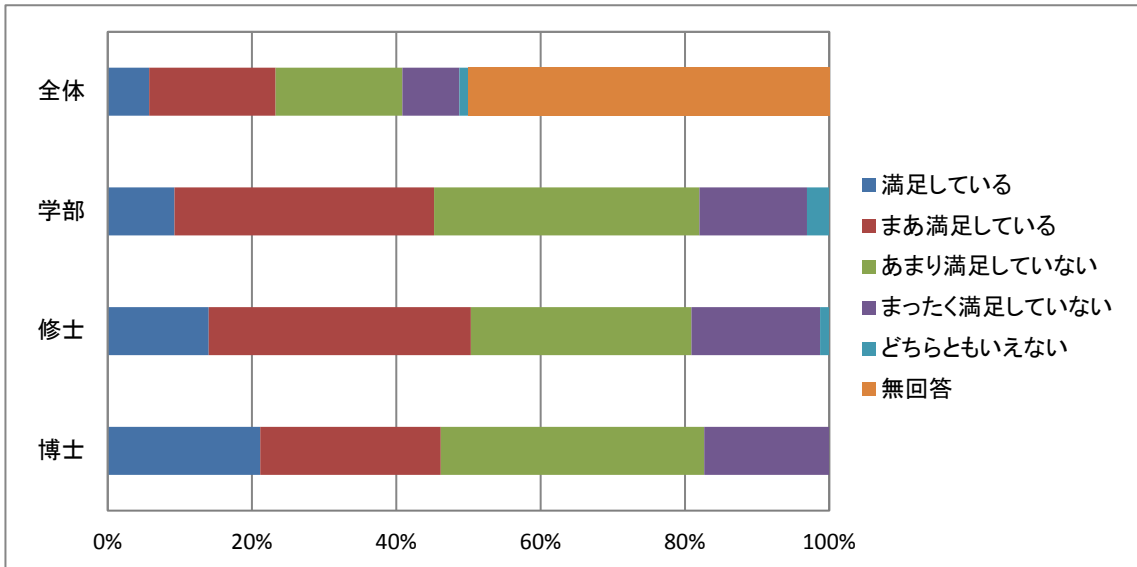
⑦大学からの情報発信や連絡（HP、掲示板、メール等）



「満足している」「まあ満足している」と回答した者は、全体として48.4%と前回38.8%より10ポイントほど増加となり、学部46.6%（前回36.7%）、修士53.1%（前回45.5%）、博士46.2%（前回41.7%）であった。

Q3 本学の学習環境に関わることについて、どの程度満足していますか。

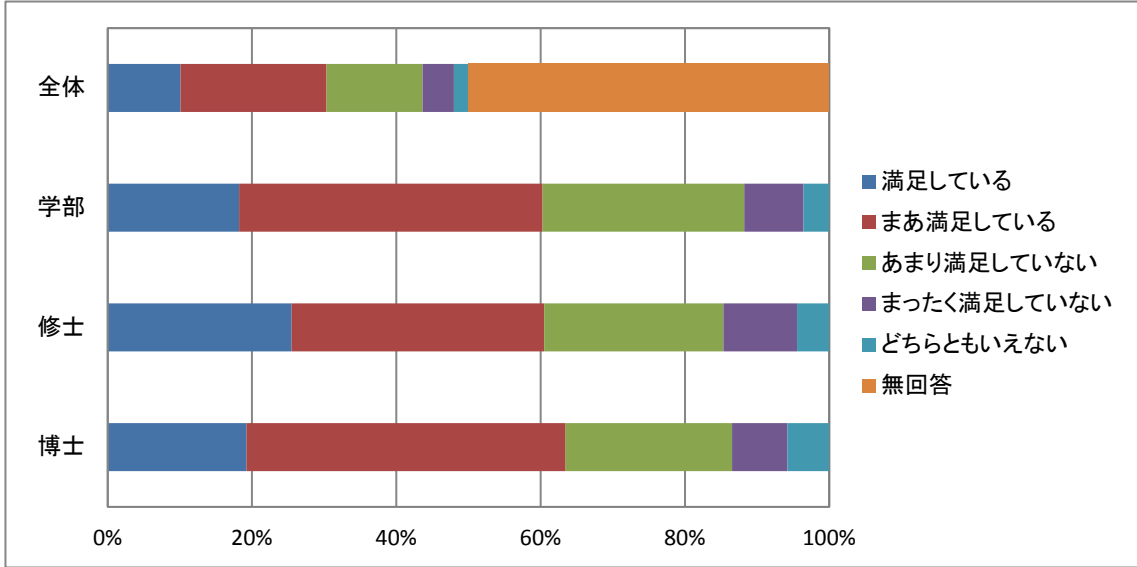
⑧校舎、教室などの施設



「満足している」「まあ満足している」と回答した者は、全体として46.4%と前回45.9%より微増となり、学部45.1%（前回44.9%）、修士50%（前回43.9%）、博士46.2%（前回54.2%）であった。

Q3 本学の学習環境に関わることについて、どの程度満足していますか。

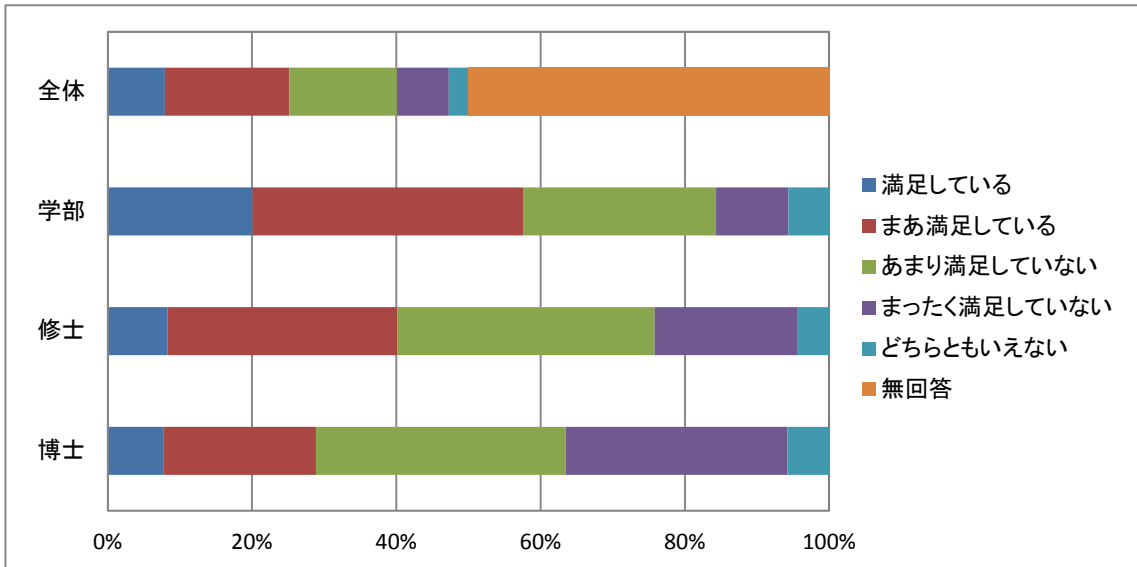
⑨実技・実習の専門機材や教育機材の充実度



「満足している」「まあ満足している」と回答した者は、全体として60.5%と前回63.1%より減少となり、学部60.3%（前回65.2%）、修士60.1%（前回60.6%）、博士63.4%（前回50%）であった。

Q3 本学の学習環境に関わることについて、どの程度満足していますか。

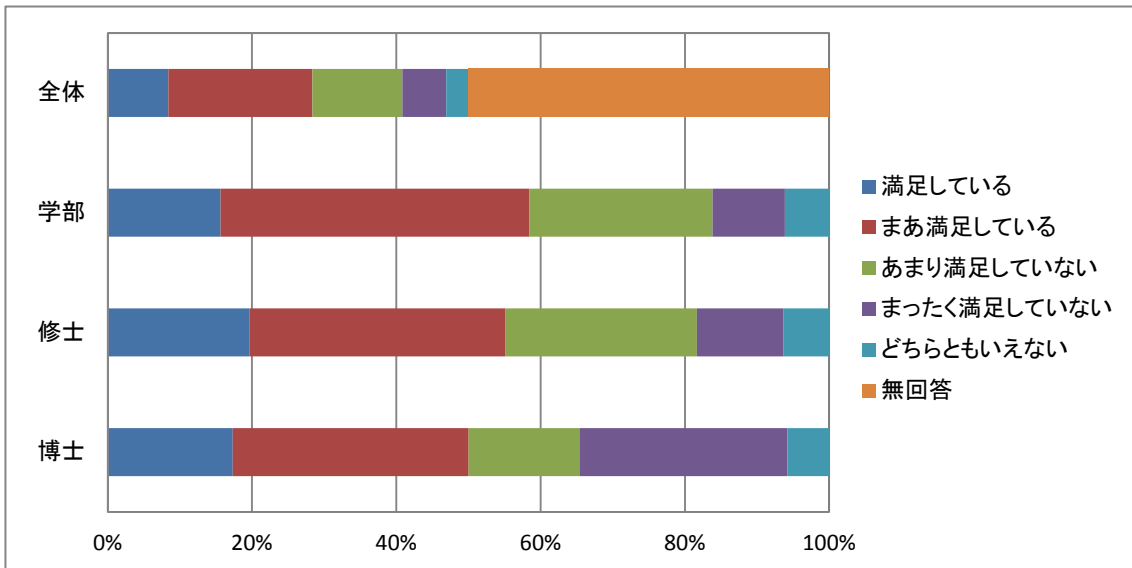
⑩図書館の図書・資料充実度、検索サービス充実度



「満足している」「まあ満足している」と回答した者は、全体として50.2%と前回55.6%より減少となり、学部57.4%（前回61.4%）、修士39.8%（前回39.4%）、博士28.9%（前回62.5%）であった。

Q3 本学の学習環境に関わることについて、どの程度満足していますか。

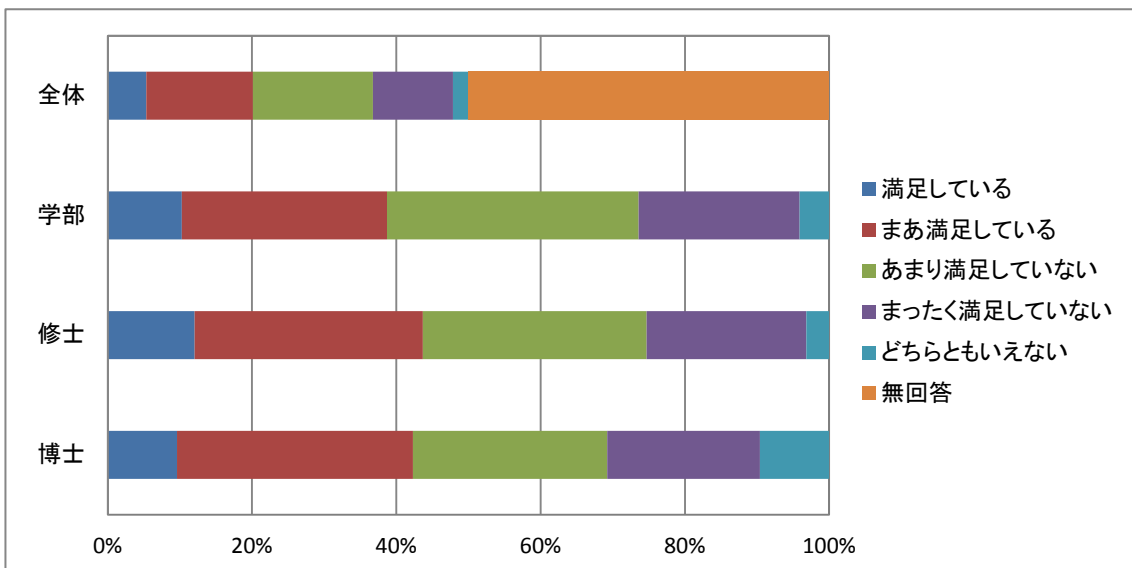
⑪パソコン利用等、学内の情報環境の充実度



「満足している」「まあ満足している」と回答した者は、全体として56.7%と前回59.7%より減少となり、学部58.4%（前回64%）、修士55%（前回50%）、博士50%（前回54.1%）であった。

Q3 本学の学習環境に関わることについて、どの程度満足していますか。

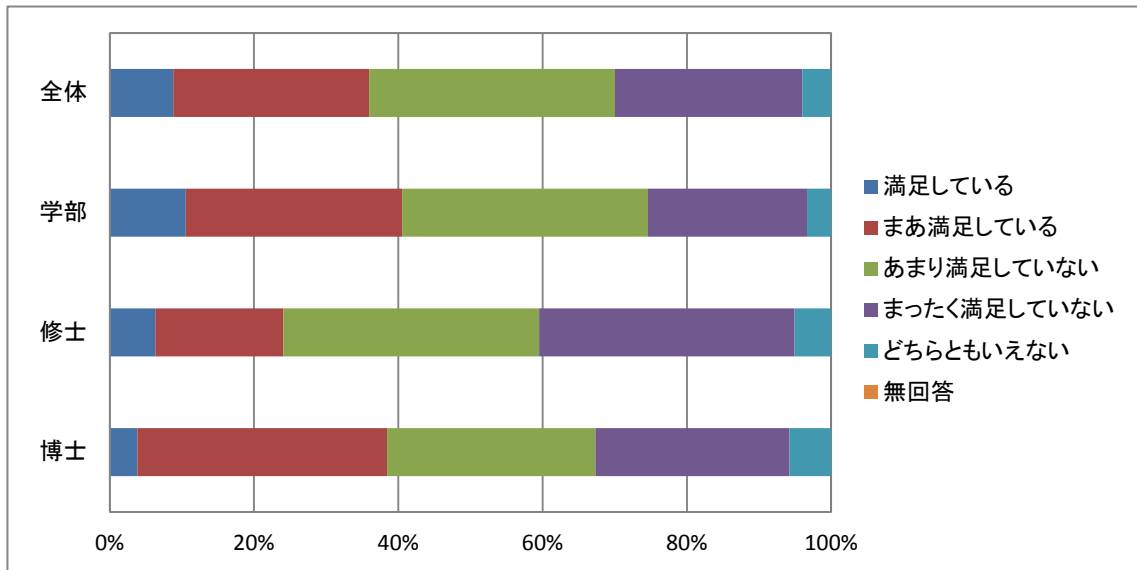
⑫くつろぎ空間や活動の場の充実度



「満足している」「まあ満足している」と回答した者は、全体として40.2%と前回32.5%より増加となり、学部38.8%（前回35.5%）、修士43.6%（前回30.3%）、博士42.3%（前回33.4%）であった。

Q3 本学の学習環境に関わることについて、どの程度満足していますか。

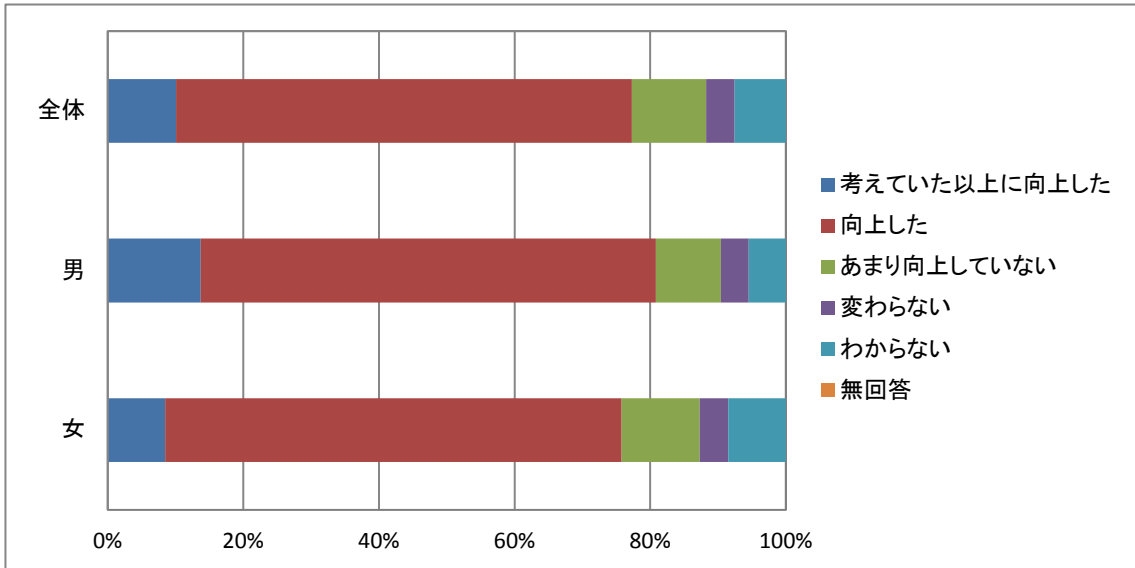
⑬学生食堂・売店の充実度



「満足している」「まあ満足している」と回答した者は、全体として35.9%と前回34.7%より、微増となり、学部40.5%（前回37.9%）、修士24%（前回25.7%）、博士38.4%（前回45.9%）であった。

Q4 (学部2～4年生にお聞きします。)

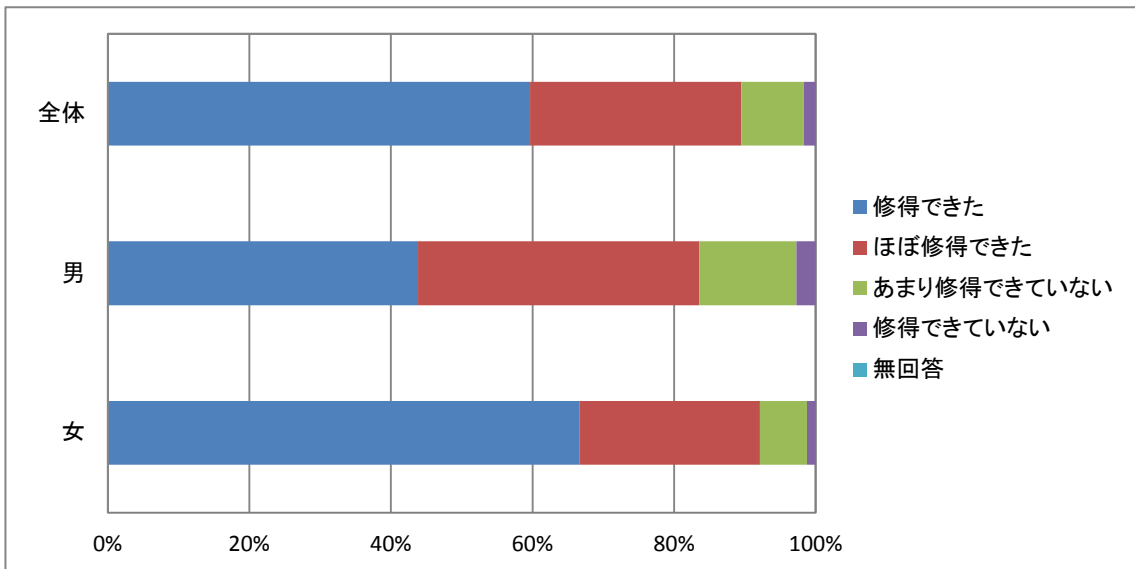
あなたは、入学前に比べて自分の能力が向上したと思いますか。



入学前に比べて「考えた以上向上した」「向上した」と回答した者は、男80.8%と前回88.9%より減少となり、女は75.8%と前回68.4%より増加した。

Q5 (学部2～4年生にお聞きします。)

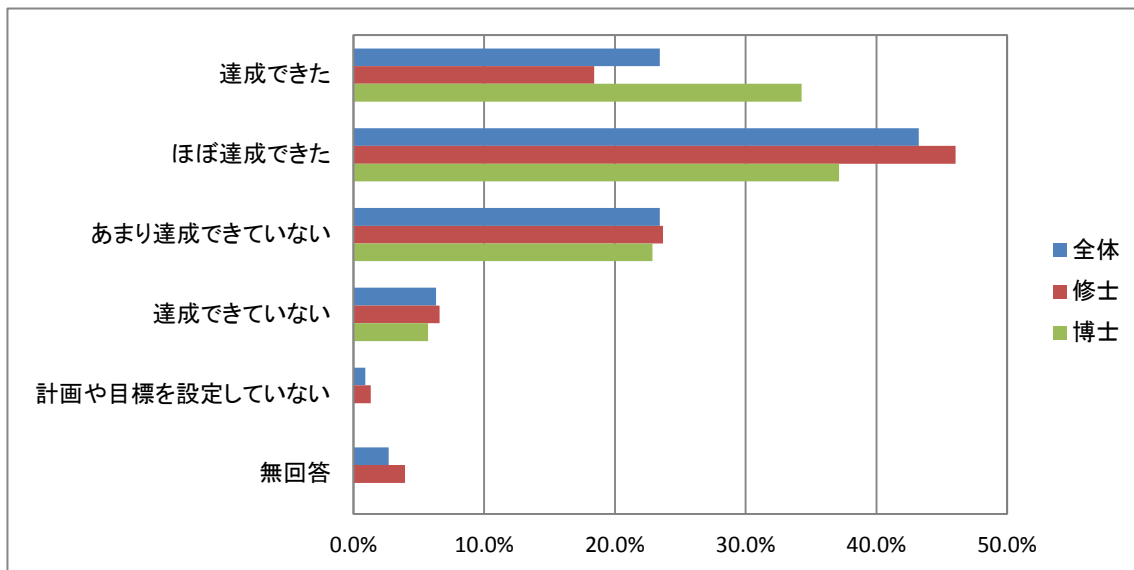
あなたは、昨年度、卒業に必要な単位数を計画的に修得できましたか。



「修得できた」「ほぼ修得できた」と回答した者は、男が83.5%と前回88.9%より減少となり、女は92.2%と前回91.1%より微増であった。

Q6 (大学院修士2年生以上、博士2年生以上にお聞きします。)

あなたは、昨年度、自分自身が立てた研究計画や目標を達成できましたか。

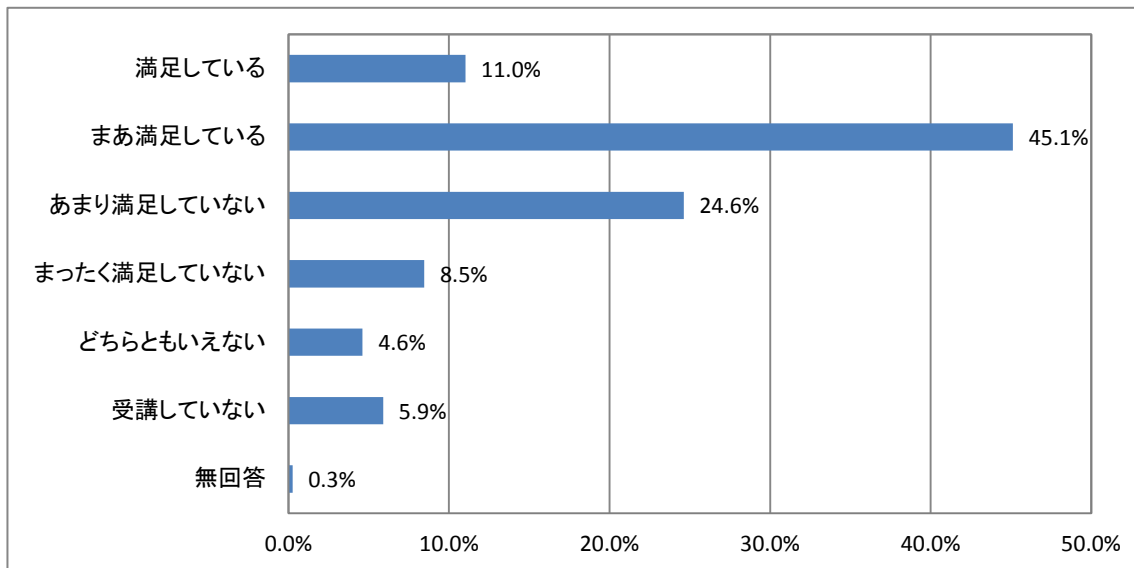


「達成できた」「ほぼ達成できた」と回答した者は、全体として66.6%と前回61.3%より増加となり、修士64.5%（前回61.7%）、博士71.4%（前回60%）であった。

Q7-① (学部学生の方にお聞きします。)

あなたが受講している授業の内容や進め方について、どの程度満足していますか。

①一般教養を身につけるための科目（専門基礎科目、教養科目、外国語科目等）

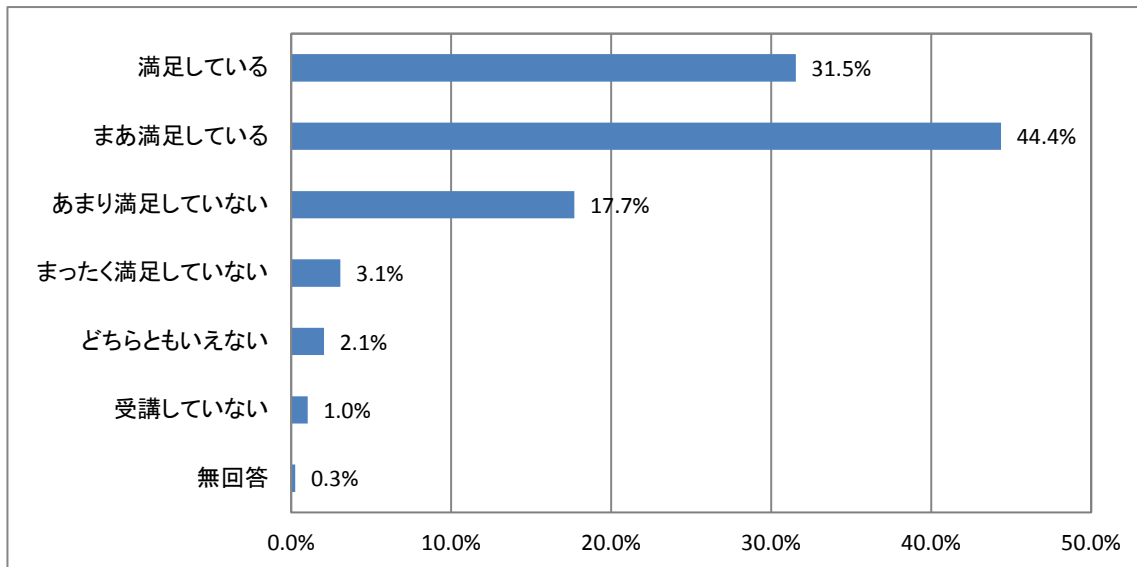


「満足している」「まあ満足している」という回答の合計は、56.1%と前回65.2%より減少となった。

Q7-① (学部学生の方にお聞きします。)

あなたが受講している授業の内容や進め方について、どの程度満足していますか。

②専門教育科目(実技科目、制作実習科目)

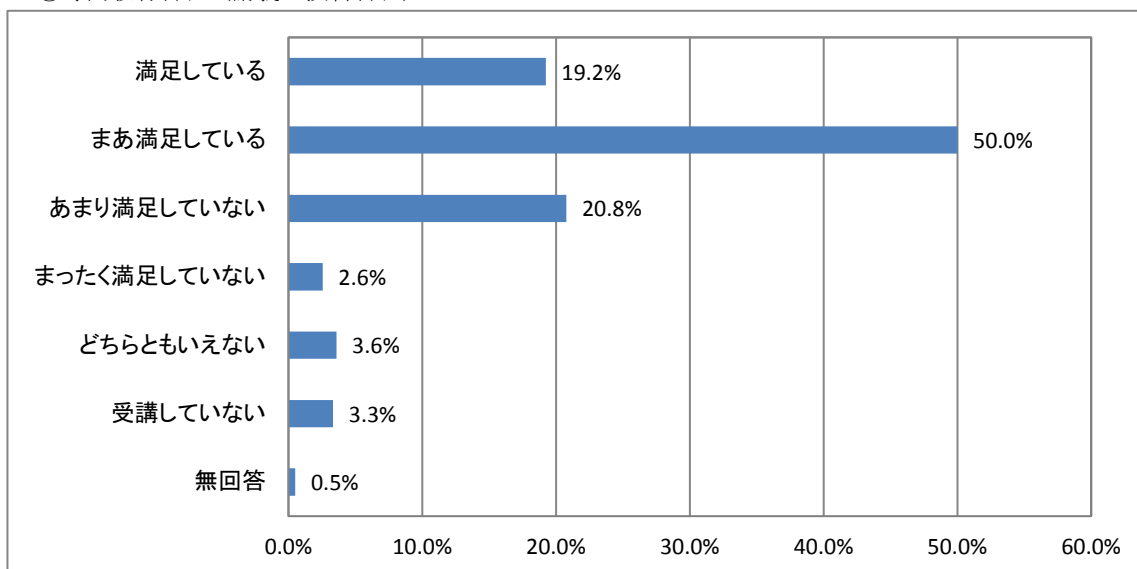


「満足している」「まあ満足している」という回答の合計は、75.9%と前回86.1%より10ポイントほど減少した。

Q7-① (学部学生の方にお聞きします。)

あなたが受講している授業の内容や進め方について、どの程度満足していますか。

③専門教育科目(講義・演習科目)

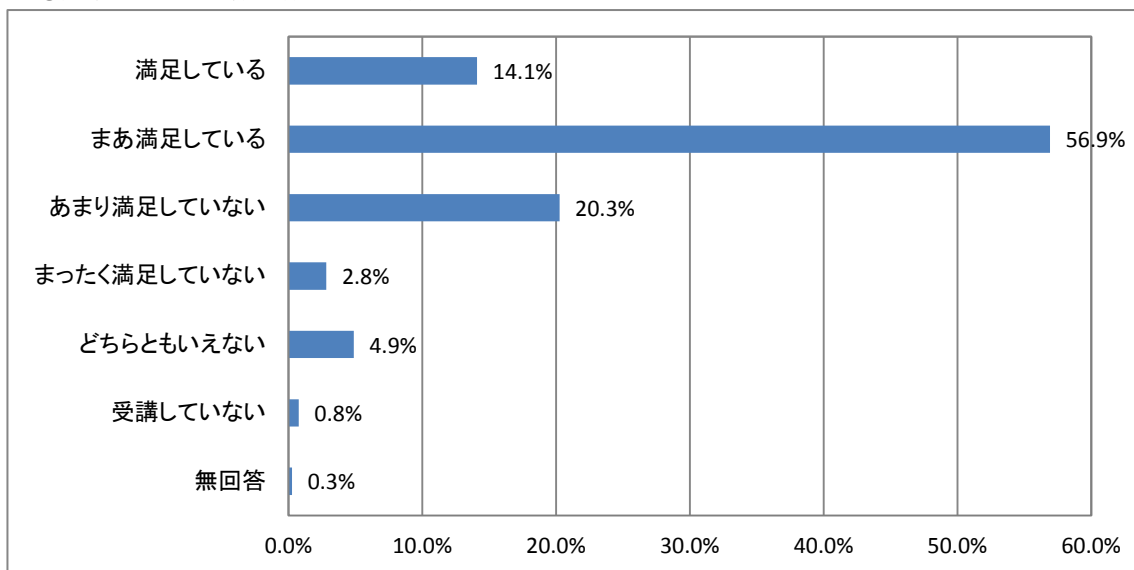


「満足している」「まあ満足している」という回答の合計は、69.2%と前回77.2%より減少した。

Q7-① (学部学生の方にお聞きします。)

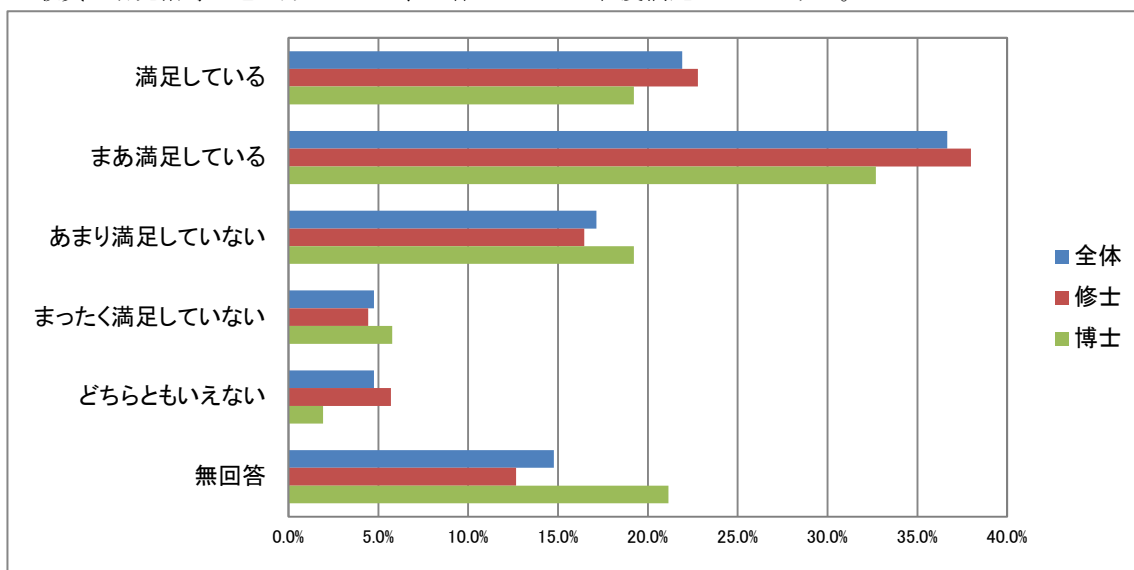
あなたが受講している授業の内容や進め方について、どの程度満足していますか。

④受講している授業全体としての満足度



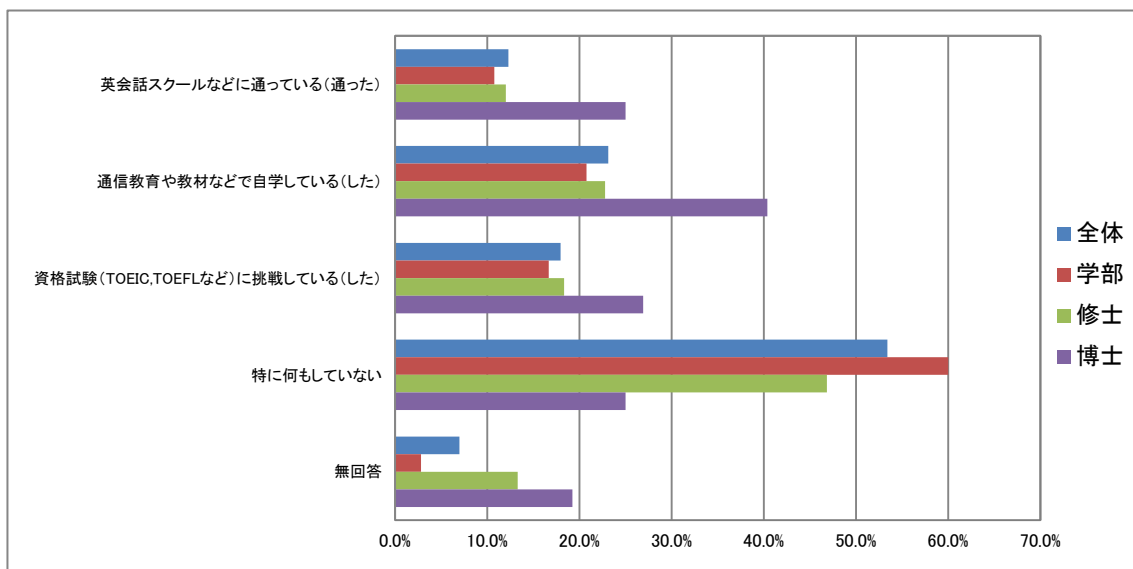
「満足している」「まあ満足している」という回答の合計は、71%と前回76.6%より減少した。

Q7-② (大学院学生の方にお聞きします。) あなたが受講している授業の内容や進め方、
教員の研究指導の進め方について、全体としてどの程度満足していますか。



「満足している」「まあ満足している」と回答した者は、修士60.8%と前回77.3%より10ポイント以上減少となり、博士も51.9%と前回79.1%より大きく減少した。

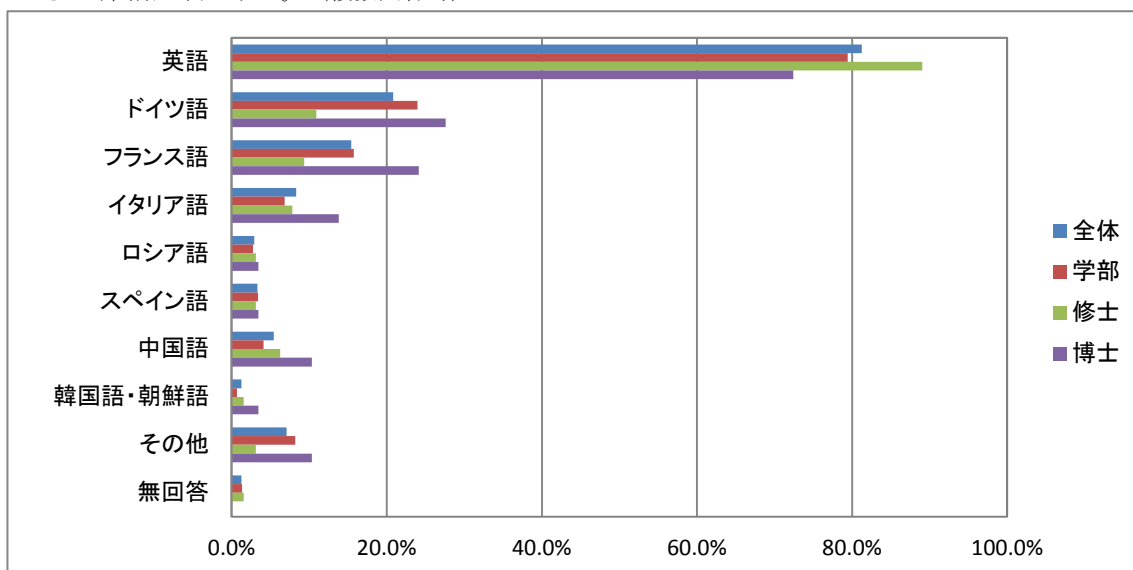
Q8-① あなたは、授業以外で英語や他の外国語に関して何か取り組んでいますか。（複数回答可）



授業以外で英語や他の外国語に関して何か取り組んでいますかについて、学部では「通信教育や教材などで自学している（した）」が20.8%（前回20.3%）と最も多く、修士も同じく「通信教育や教材などで自学している（した）」が22.8%（前回34.8%）、博士も同じく「通信教育や教材などで自学している（した）」が40.4%（前回50%）であった。

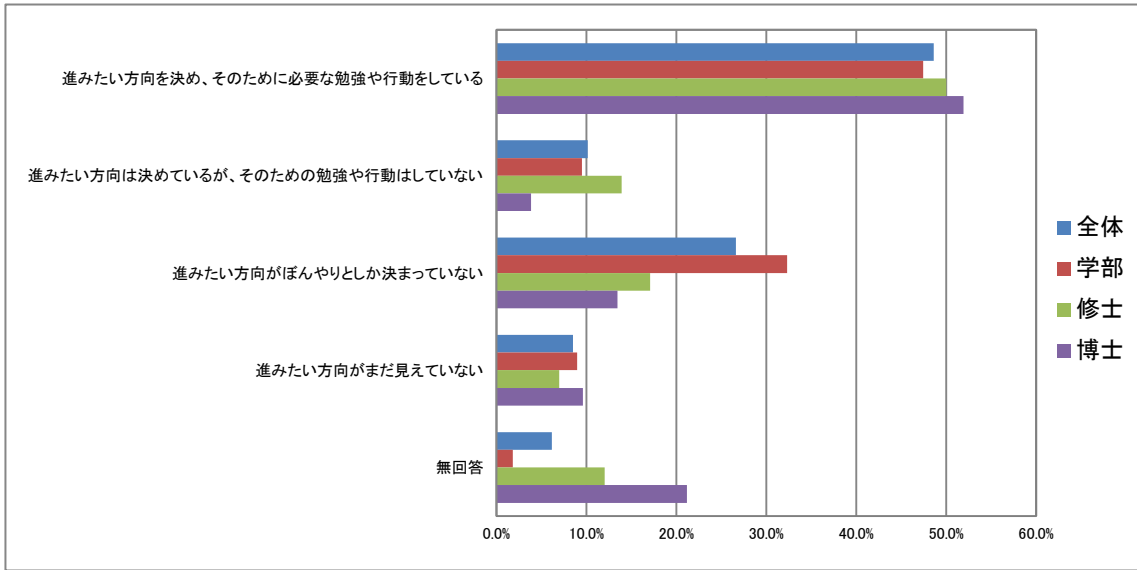
Q8-② （Q8-①でA、B、Cと答えた方にお聞きします。）

その外国語は何ですか。（複数回答可）



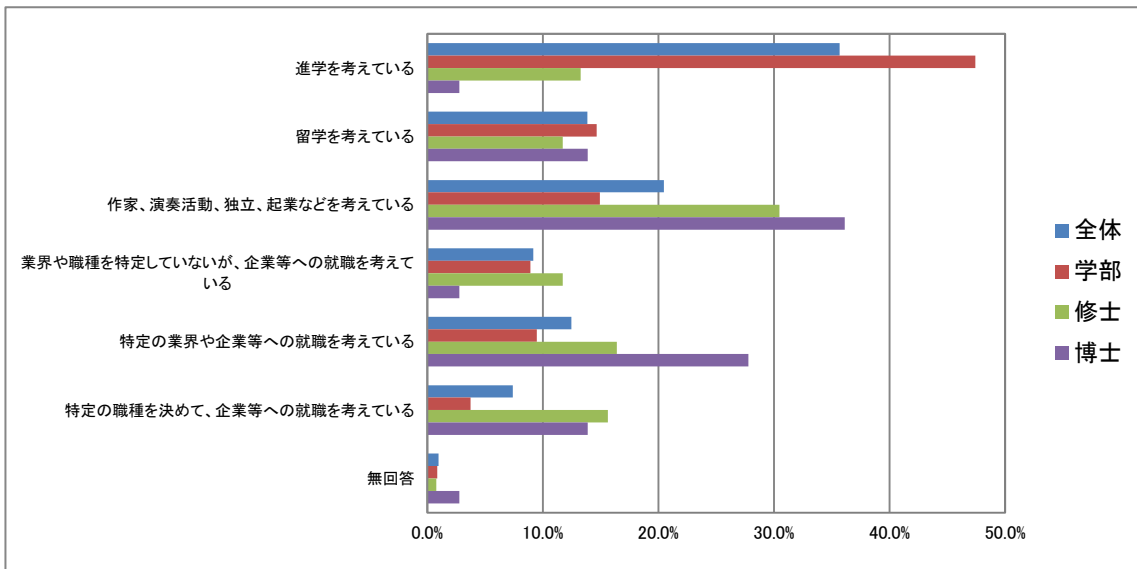
全体として、「英語」が81.3%（前回63.3%）と最も多く、次いで「ドイツ語」20.8%（前回36.7%）、「フランス語」15.4%（前回24.8%）、「イタリア語」8.3%（17.4%）の順であった。

Q9-① あなたは、卒業・修了後の進路について考え、そのための勉強や行動をしていますか。



全体としては、「進みたい方向を決め、そのために必要な勉強や行動をしている」が48.6%（前回53.4%）と最も多く、次いで「進みたい方向がぼんやりとしか決まっていない」が26.6%（前回26.1%）、「進みたい方向は決めているが、そのための勉強や行動はしていない」が10.1%（前回10.1%）であった。

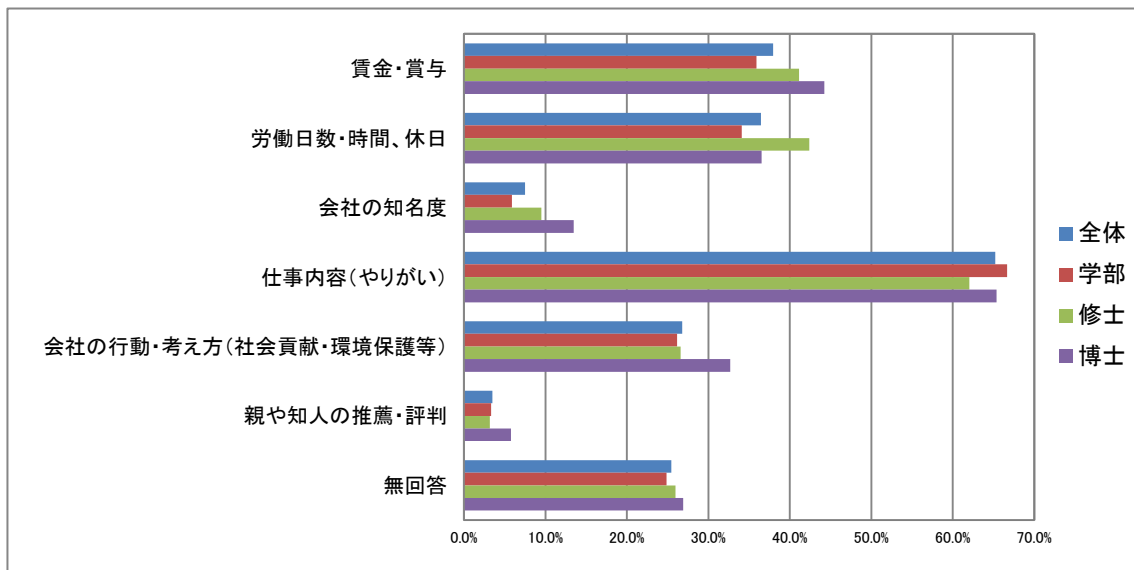
Q9-② （Q9-①でA、B、Cと答えた方にお聞きます。）卒業後の進路についてどのような希望や考えをお持ちですか。現在のあなたにもっとも当てはまるのはどれですか。



卒業後の進路について、学部では「進学を考えている」が47.4%と最も多く、修士では「作家、演奏活動、独立、起業などを考えている」が30.5%（前回34.4%）、博士も同じく「作家、演奏活動、独立、起業などを考えている」が36.1%（前回42.9%）であった。

■ Q10～Q13は卒業・修了時に就職を考えている方<活動中の方を含む>にお聞きます。

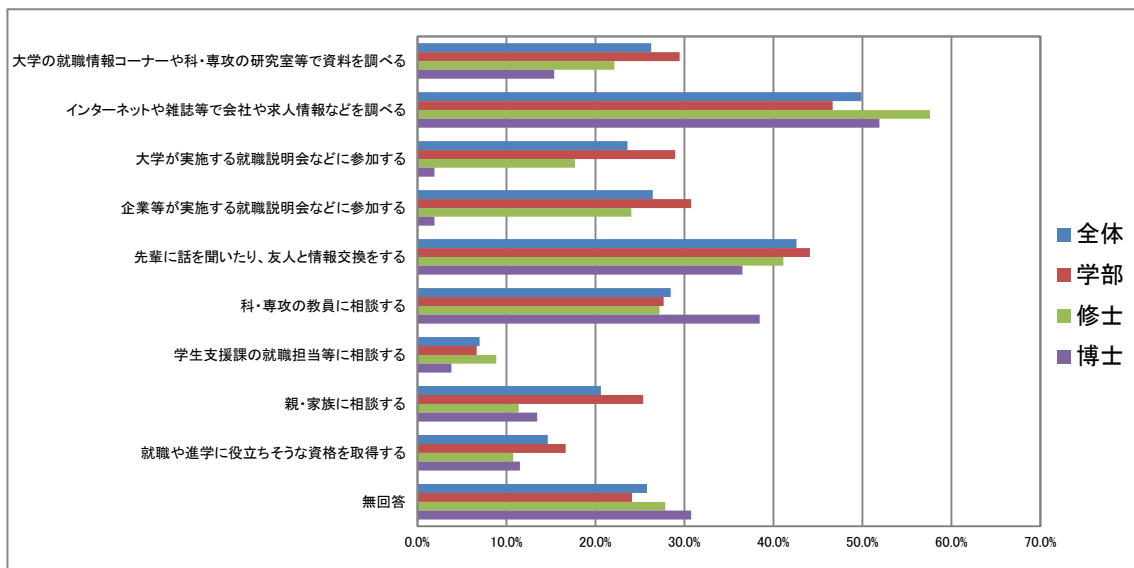
Q10 あなたは、就職先を選択する場合、何に重点を置きますか。(複数回答可)



全体としては、「仕事内容」が65.2%(前回41.8%)と最も多く、次いで「賃金」37.9%(前回22.8%)、「労働日数・時間、休日」36.4%(前回18.7%)、「会社の行動・考え方(社会貢献・環境保護等)」が26.8%(前回16.8%)であった。

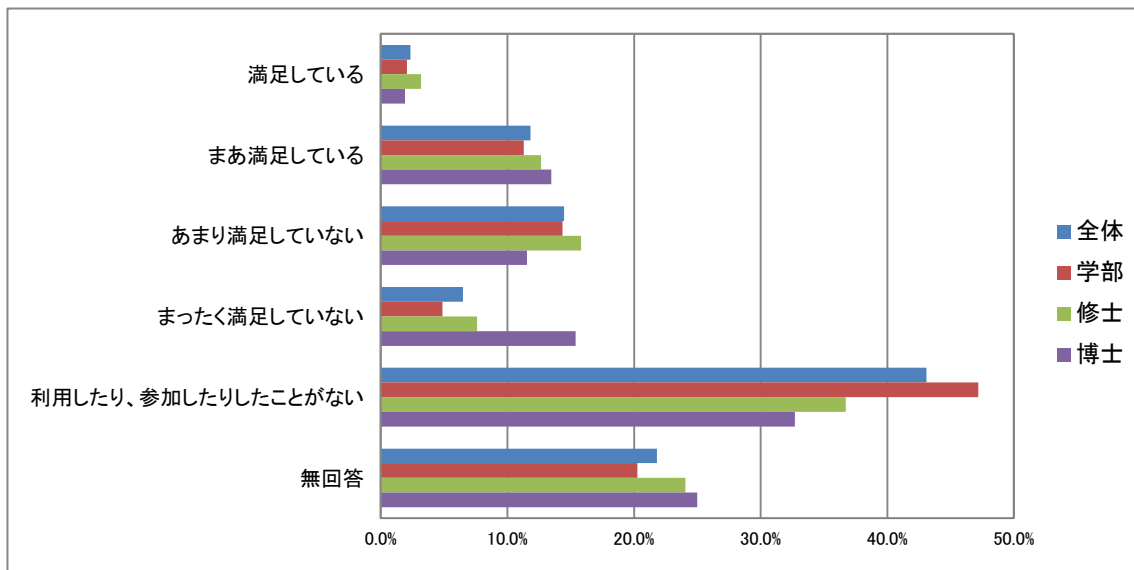
Q11 あなたは、会社情報の入手等、就職に向けての活動はどのようにするつもりですか。

(複数回答可)



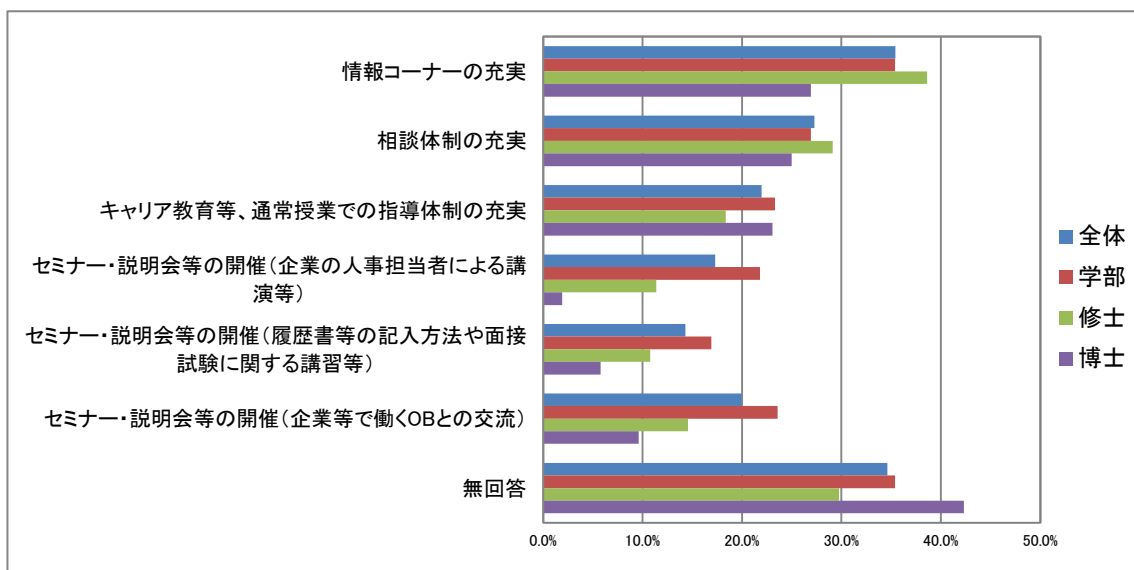
全体としては、「インターネットや雑誌等で会社や求人情報などを調べる」が49.9%(前回32.5%)と最も多く、次いで「先輩に話を聞いたり、友人と情報交換をする」42.6%(前回28.4%)、「科・専攻の教員に相談する」28.5%(前回18.7%)「企業等が実施する就職説明会などに参加する」26.5%(前回14.2%)「大学の就職情報コーナー科・専攻の研究室等で資料を調べる」が26.3%(前回13.1%)であった。

Q12 あなたは、大学の就職支援（情報コーナー、相談窓口、科・専攻での対応など）について、どの程度満足していますか。



「満足」「まあ満足している」と回答した者は、学部13.4%（前回2.5%）、修士15.9%（前回7.6%）、博士15.4%（前回0%）であった。しかし、一方で「無回答」が全体で21.8%（前回51.9%）よりあった。

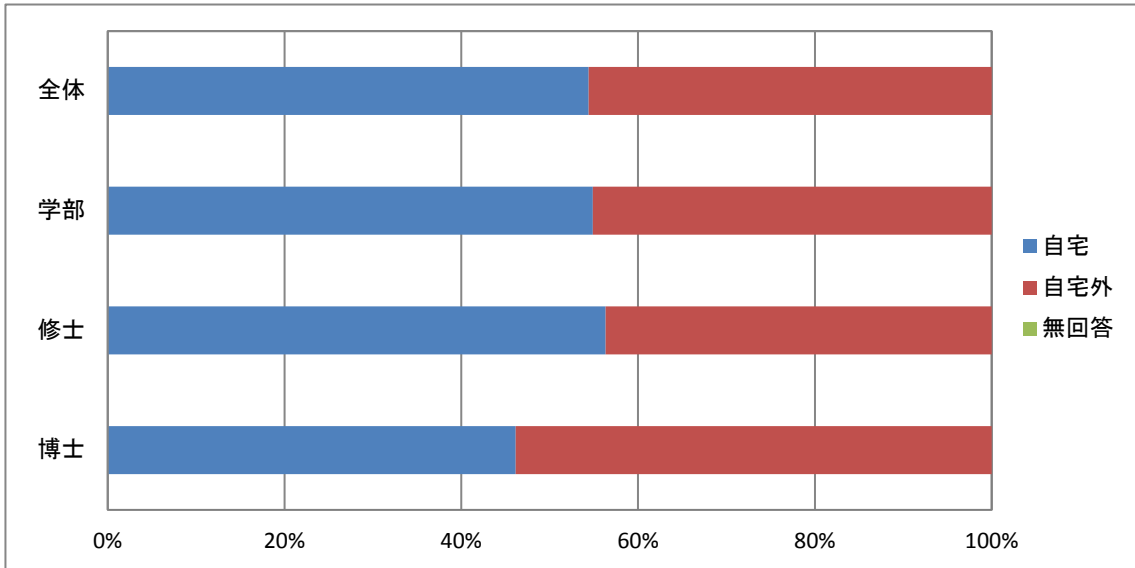
Q13 今後、強化してほしい就職支援の内容は何ですか。（複数回答可）



全体として、「情報コーナーの充実」が35.4%（前回26.1%）と最も多く、次いで「相談体制の充実」27.3%（前回13.4%）、「キャリア教育等、通常授業での指導体制の充実」22%（前回13.1%）であった。しかし、一方で「無回答」が34.6%（前回56.3%）あった。

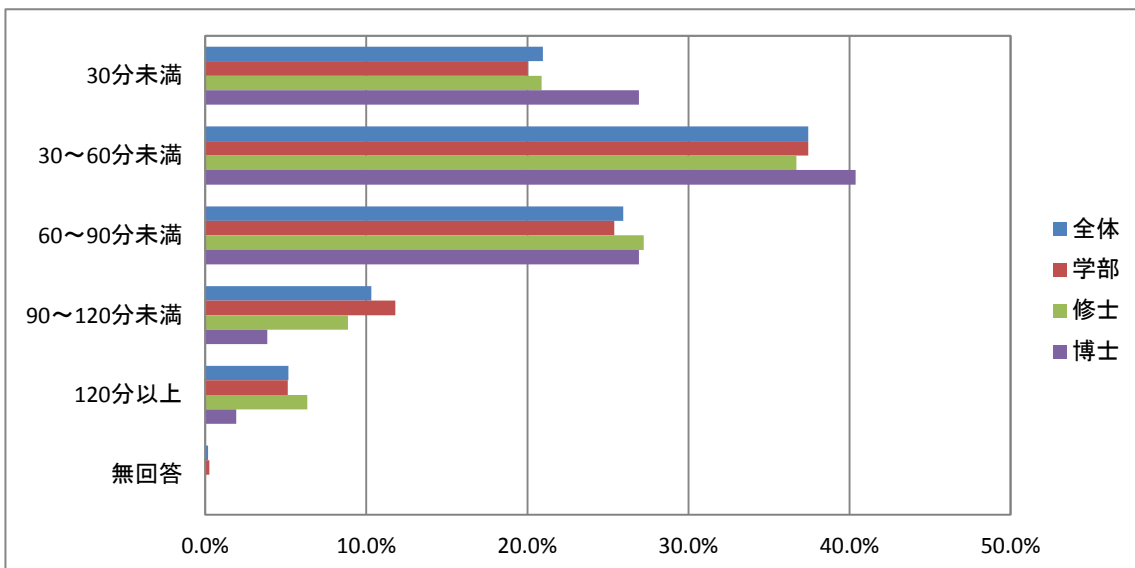
◆学生生活・日常生活

Q14 あなたの現在の住居形態は



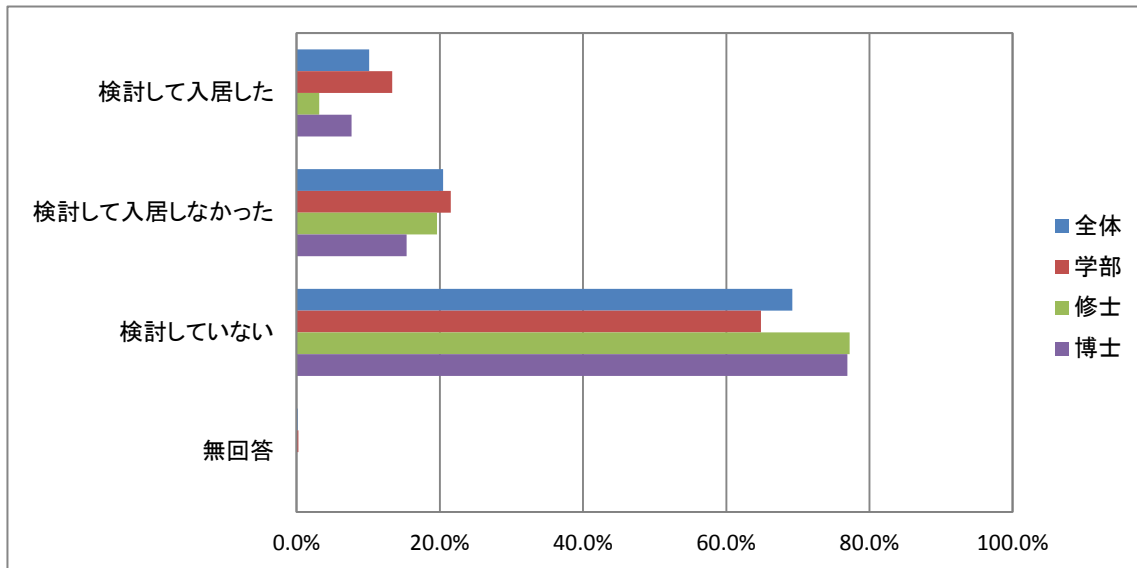
現在の住居形態について「自宅」と回答した者、学部54.9%、修士56.3%と自宅生が過半数を上回り、博士は53.8%が自宅外で過半数を上回っていた。

Q15 通学時間（片道）は



通学時間について、「30分未満」「30~60分未満」と回答した者は、学部57.4% (前回51.9%)、修士57.6% (前回51.6%)、博士67.3% (前回54.1%) となり、ほぼ半数の学生が60分以内とわかります。

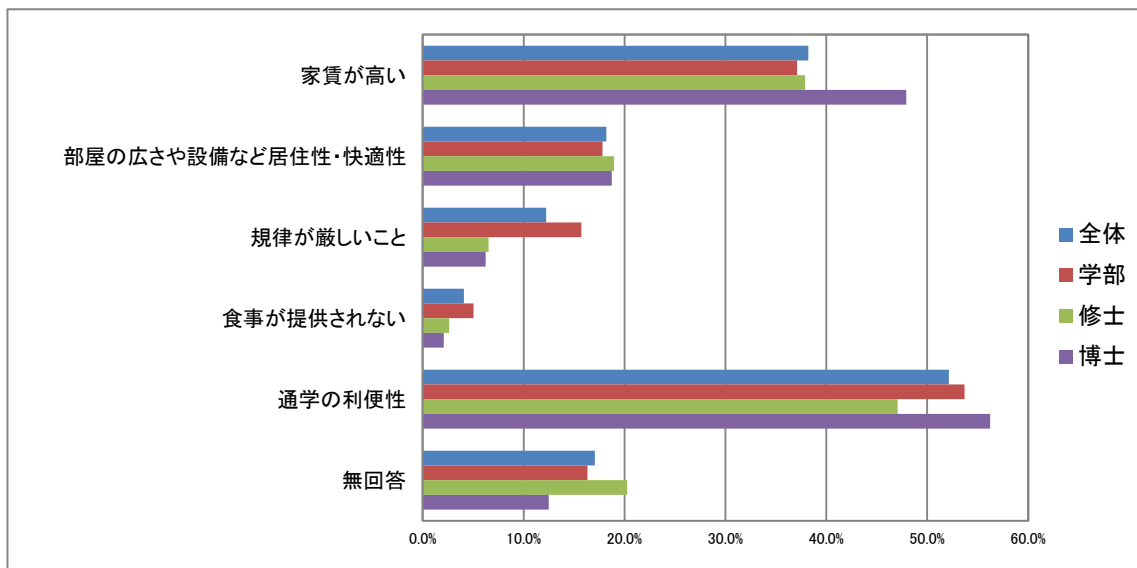
Q16-① 藝心寮（学生寮）の入居を検討しましたか。



藝心寮（学生寮）について、「検討して入居した」と回答した者は、学部（13.3%）、修士（3.2%）、博士（7.7%）であった。また、「検討して入居しなかった」と回答した者は、学部（21.5%）、修士（19.6%）、博士（15.4%）であった。

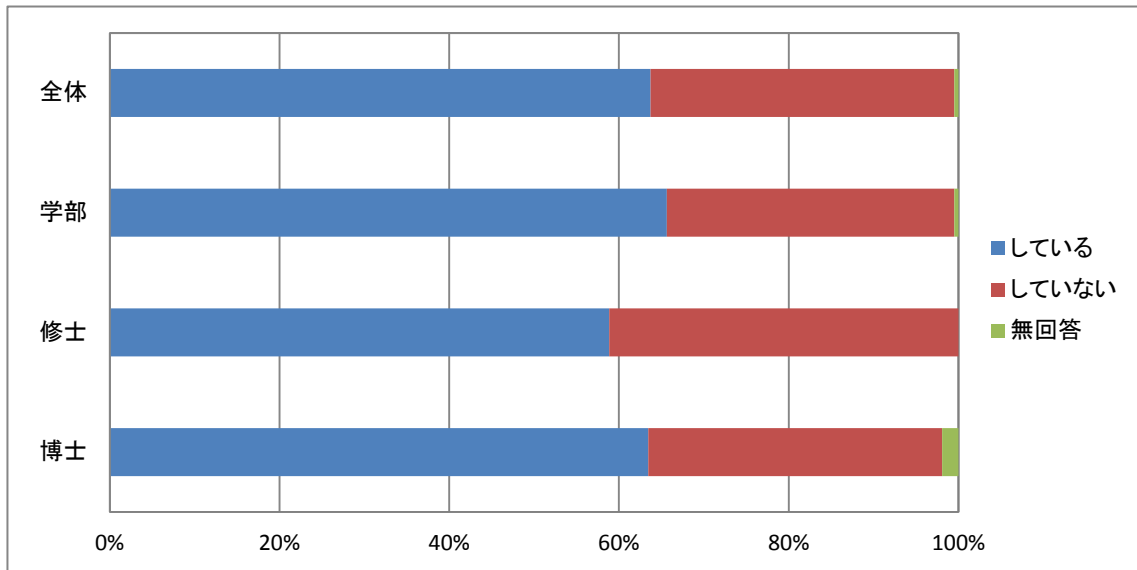
Q16-② （Q16-①でB、Cと答えた方にお聞きします。）

藝心寮（学生寮）に入居しなかった、また、検討しなかった理由は何ですか。2つまで選んでください。



藝心寮（学生寮）に入居しなかった理由について、学部では「通学の利便性」が53.7%と最も多く、修士も同じく「通学の利便性」が47.1%、博士も同じく「通学の利便性」が56.3%であった。

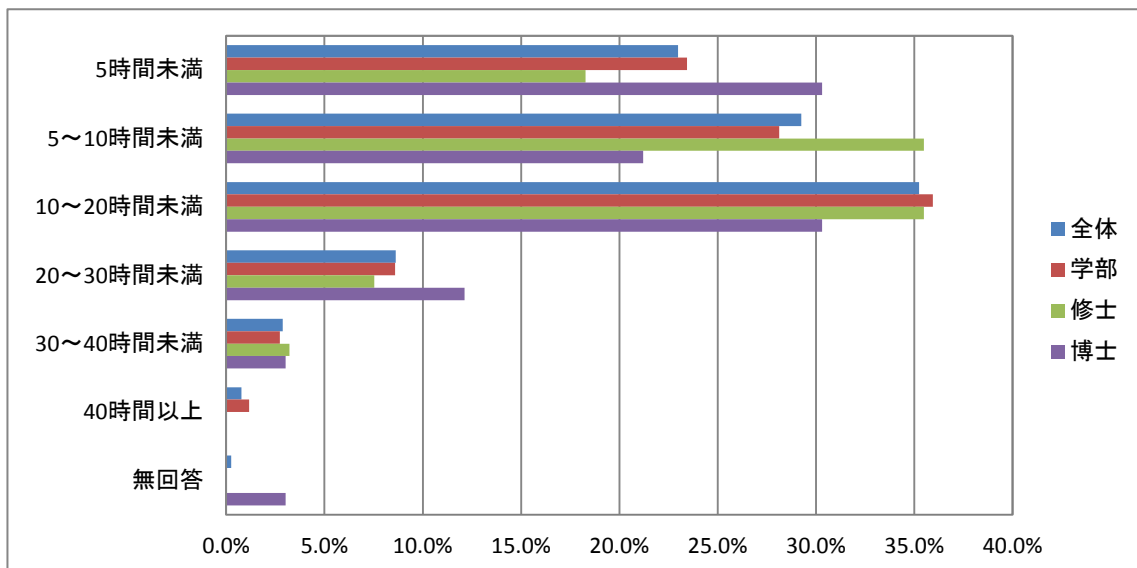
Q17-① あなたは今、アルバイトをしていますか



アルバイトをしていると回答した者は、学部65.6%と前回51.9%より10ポイント以上増加となり、修士は58.9%と前回63.6%より減少し、博士は63.5%と前回62.5%より微増となった。

Q17-② (Q17-①でAと答えた方にお聞きします。)

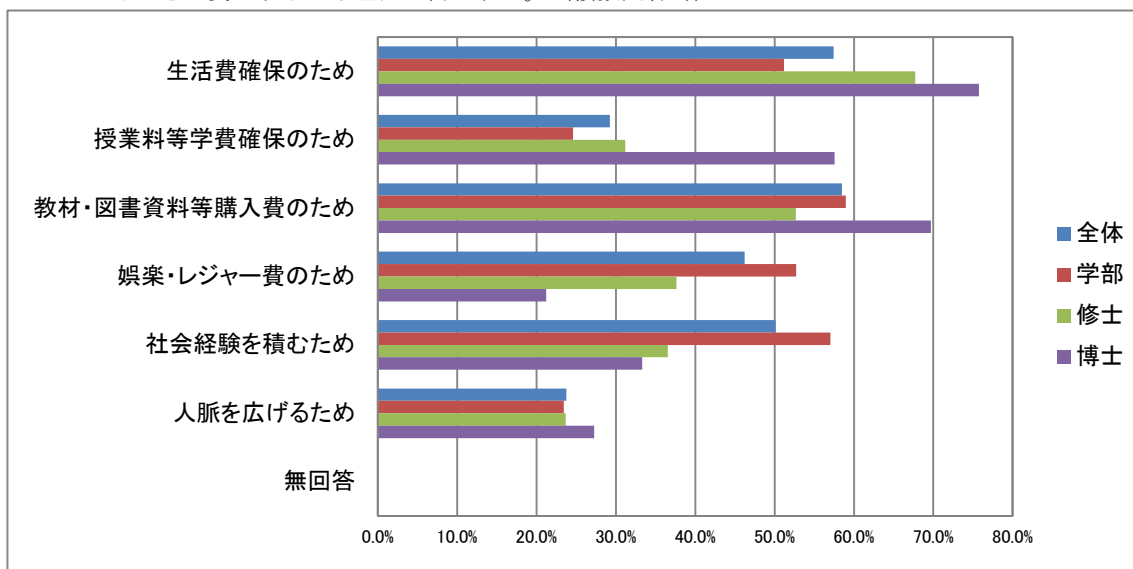
アルバイト時間(週平均)は



アルバイト時間は、学部では「10～20時間未満」が35.9%(前回24.4%)と最も多く、修士では「5～10時間未満」「10～20時間未満」が並んで35.5%(前回26.2%、33.3%)、博士では「5時間未満」「10～20時間未満」が並んで30.3%(前回6.7%、33.3%)であった。

Q17-③ (Q17-①でAと答えた方にお聞きします。)

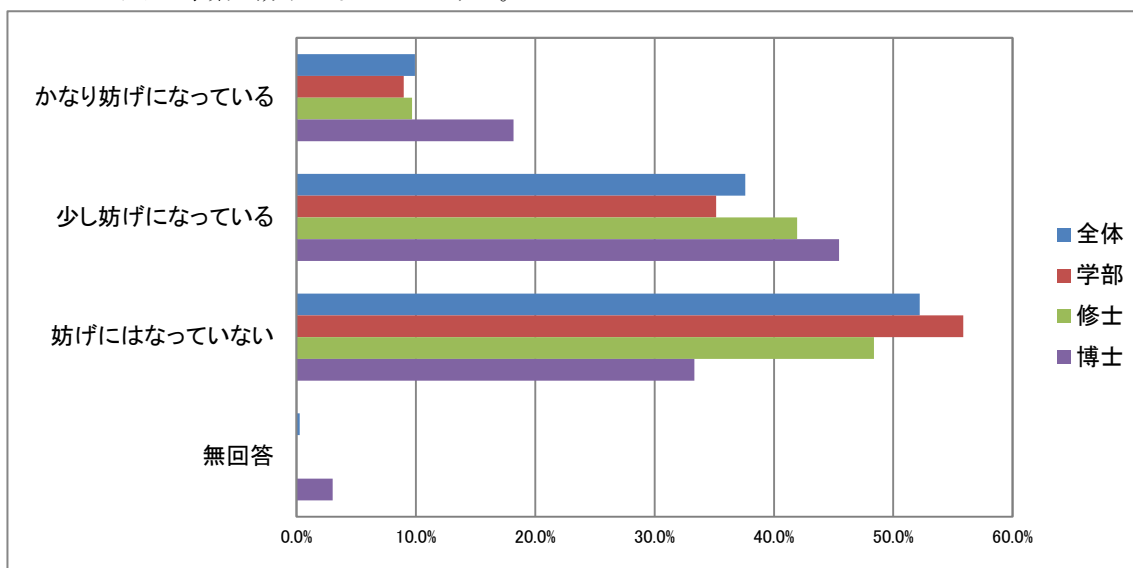
アルバイトを必要とする主な理由は何ですか。(複数回答可)



アルバイトを必要とする主な理由は、学部では、「教材・図書資料等購入のため」が59%（前回40.2%）と最も多く、修士では「生活費確保のため」67.7%（前回52.4%）、博士も同じく「生活費確保のため」75.8%（前回80%）であった。

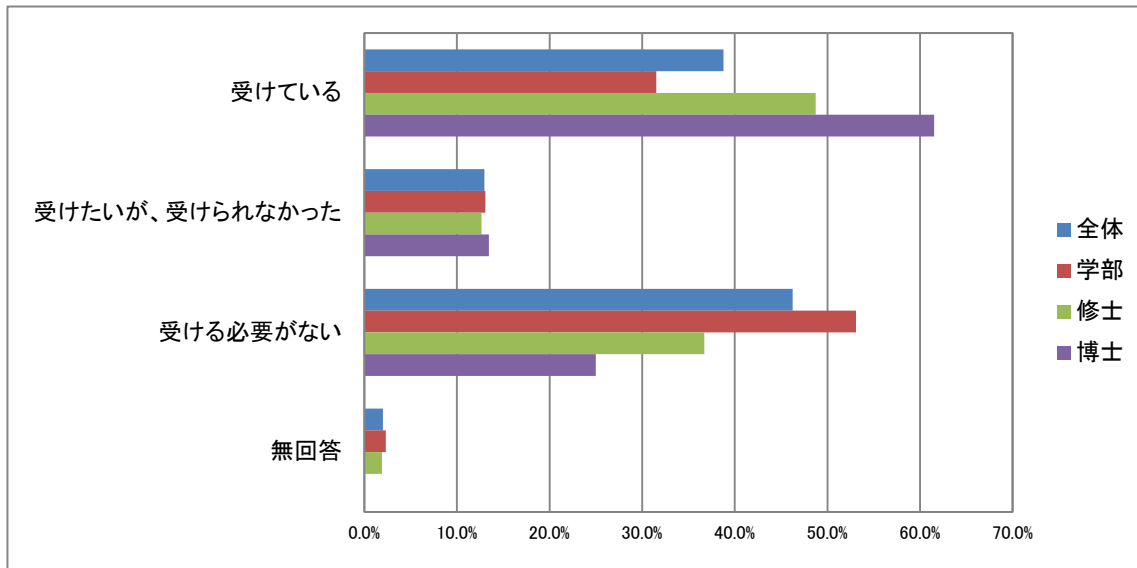
Q17-④ (Q17-①でAと答えた方にお聞きします。)

アルバイトは学業の妨げになっていますか。



学業の妨げについては、「かなり妨げになっている」「少し妨げになっている」と回答した者は、学部44.2%（前回34.1%）、修士51.6%（前回33.4%）、博士63.7%（前回46.6%）であった。

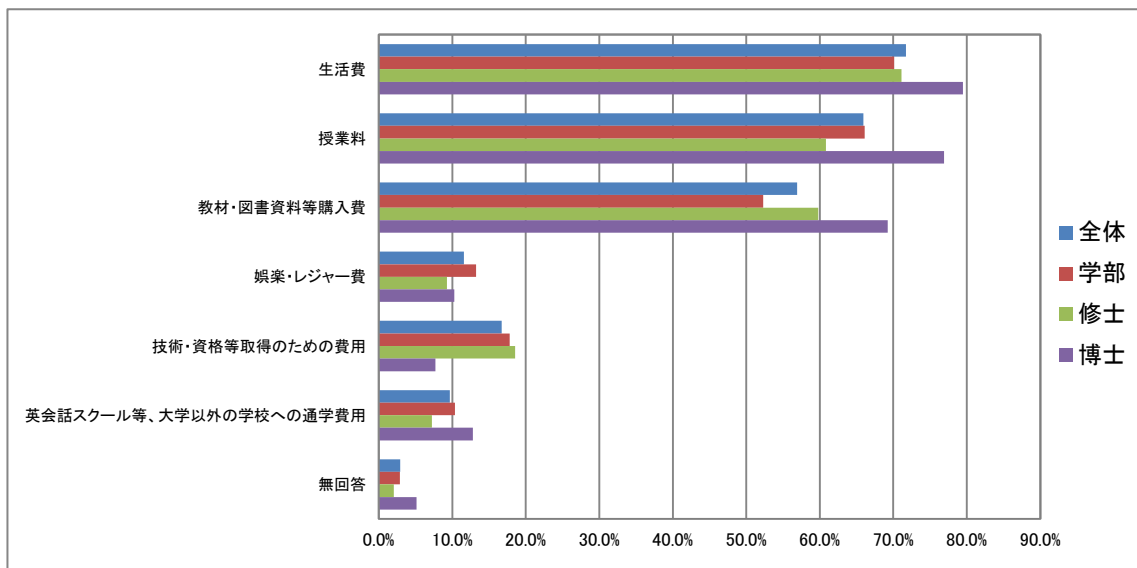
Q18-① あなたは今、日本学生支援機構または他の団体から定期的に奨学金を受給していますか。



奨学金を受給していますかについて、学部では31.5%と前回20.9%より増加となり、修士では48.7%と前回36.4%より減少となり、博士も同じく61.5%と前回70.8%より減少した。

Q18-② (Q18-①でA、Bと答えた方にお聞きします。)

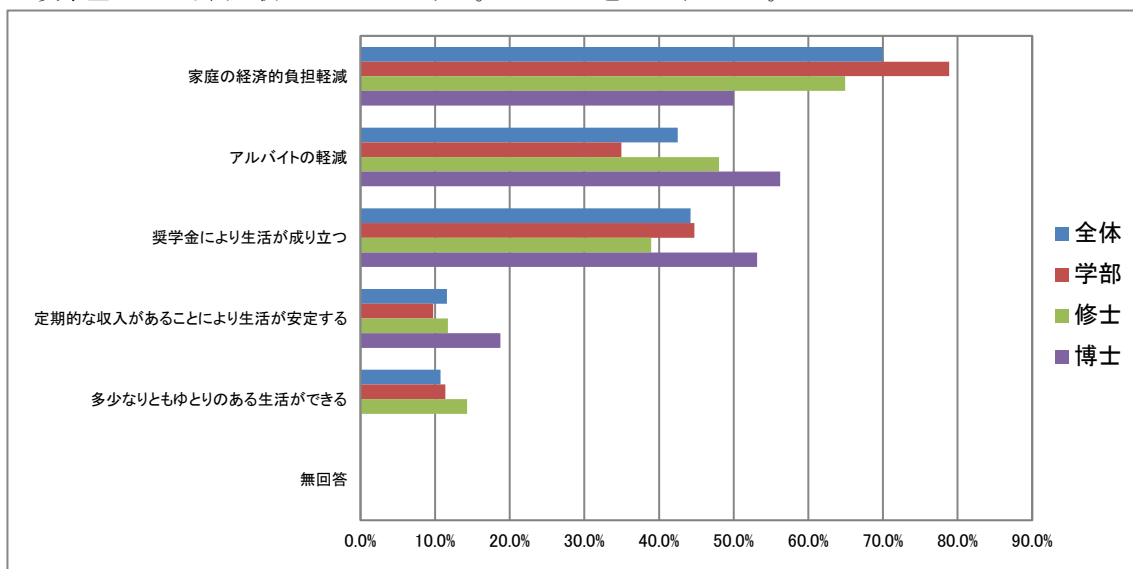
奨学金を必要とする主な理由は何ですか。(複数回答可)



奨学金を必要とする理由について、学部では「生活費」が70.1%(前回57.7%)と最も多く、修士も同じく「生活費」71.1%(前回74.2%)、博士も同じく「生活費」79.5%(前回68.4%)であった。

Q18-③ (Q18-①でAと答えた方にお聞きします。)

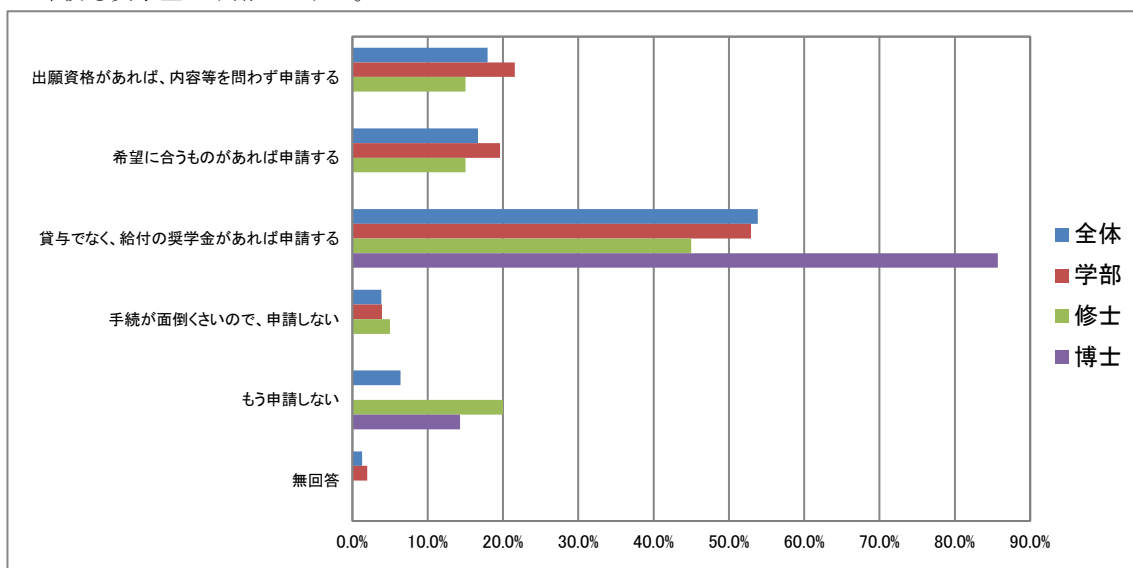
奨学金はどんな面で役に立っていますか。2つまで選んでください。



奨学金はどんな面で役に立っていますかについて、学部では「家庭の経済的負担軽減」が78.9%(前回69.7%)と最も多く、修士も同じく「家庭の経済的負担軽減」が64.9%(前回75%)、博士では「アルバイトの軽減」が56.3%(前回70.6%)であった。

Q18-④ (Q18-①でBと答えた方にお聞きします。)

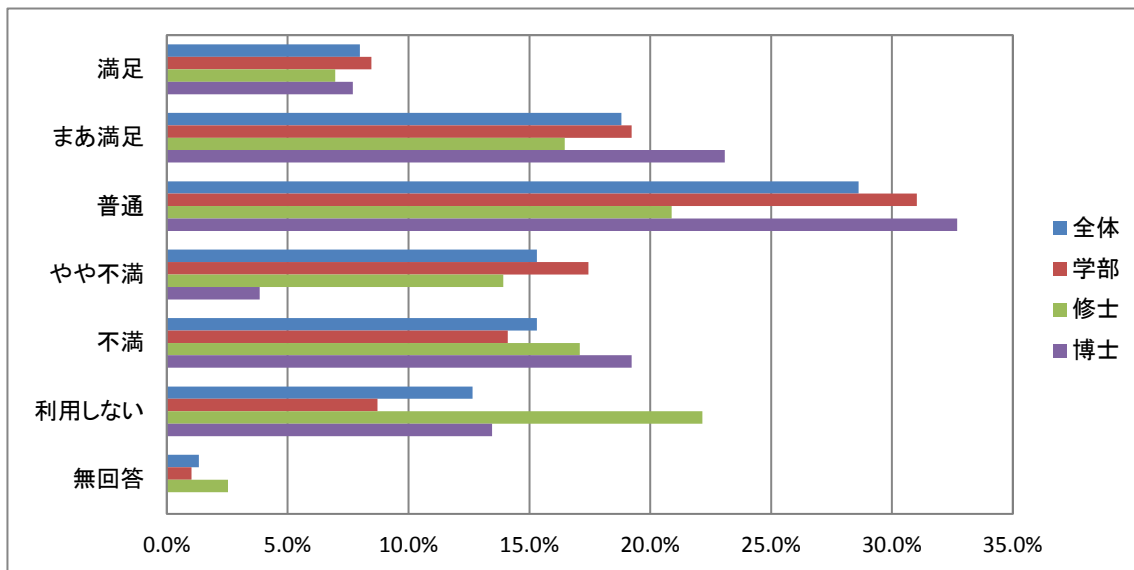
今後も奨学金に申請しますか。



今後も奨学金に申請しますかについて、学部では「貸与でなく、給付の奨学金があれば申請する」が52.9%(前回21.1%)と最も多く、修士も同じく「貸与でなく、給付の奨学金があれば申請する」が45%(前回28.6%)、博士も同じく「貸与でなく、給付の奨学金があれば申請する」が85.7%(前回50%)であった。

Q19 学内の食堂についてお尋ねします。

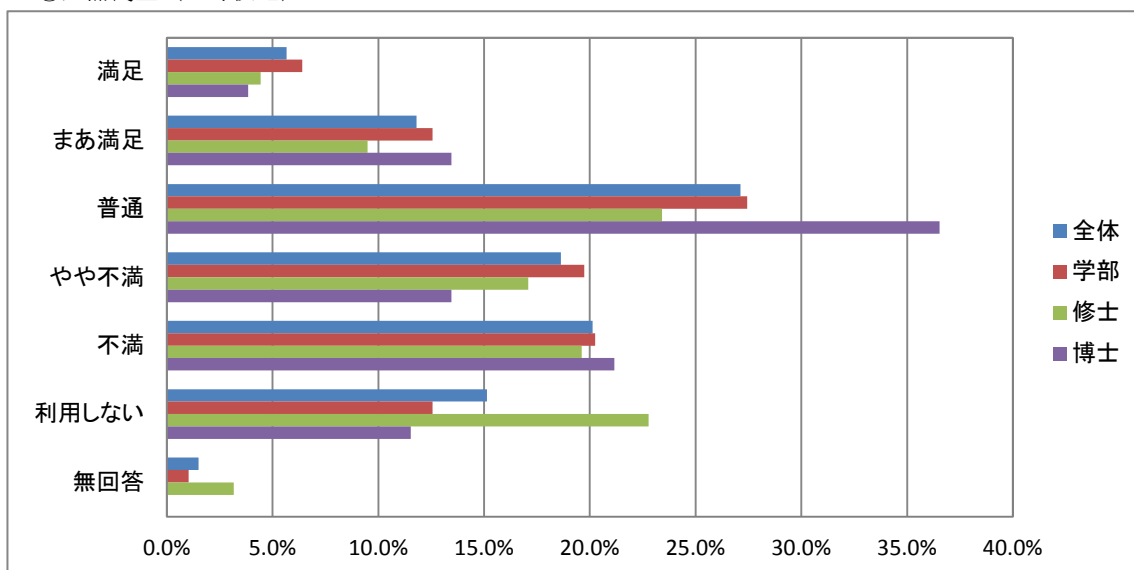
①大浦食堂（上野校地） 施設・設備



「満足」「まあ満足」「普通」と回答した者は、全体として55.4%と前回69.8%より減少となり、学部58.7%（前回70.9%）、修士44.4%（前回69.7%）、博士63.5%（前回66.7%）であった。

Q19 学内の食堂についてお尋ねします。

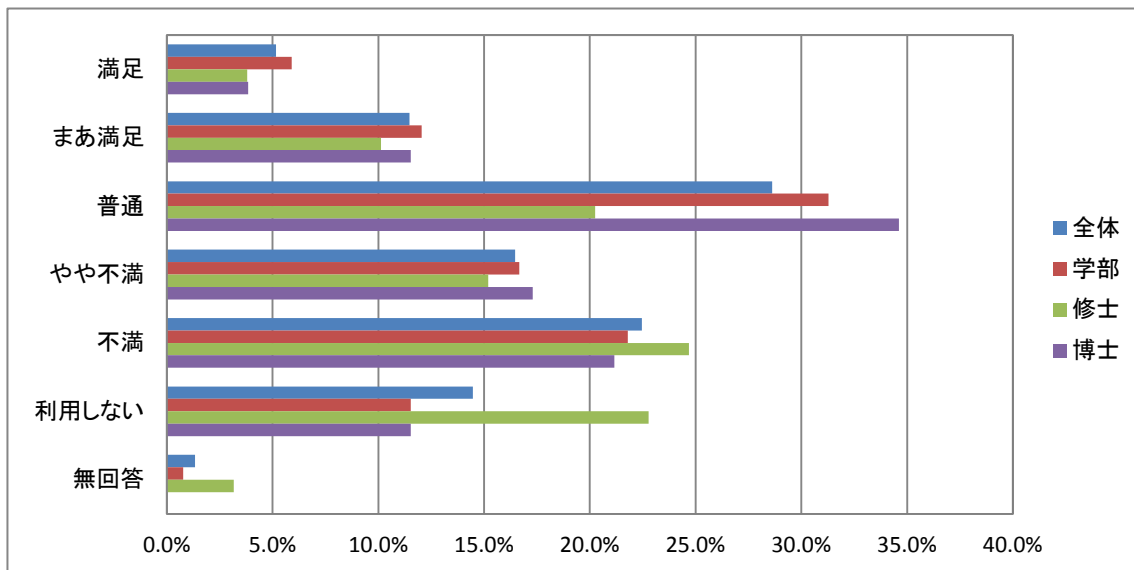
①大浦食堂（上野校地） メニュー



「満足」「まあ満足」「普通」回答した者は、全体として44.6%と前回50.7%より減少となり、学部46.4%（前回51.9%）、修士37.3%（前回46.9%）、博士53.8%（前回66.7%）であった。

Q19 学内の食堂についてお尋ねします。

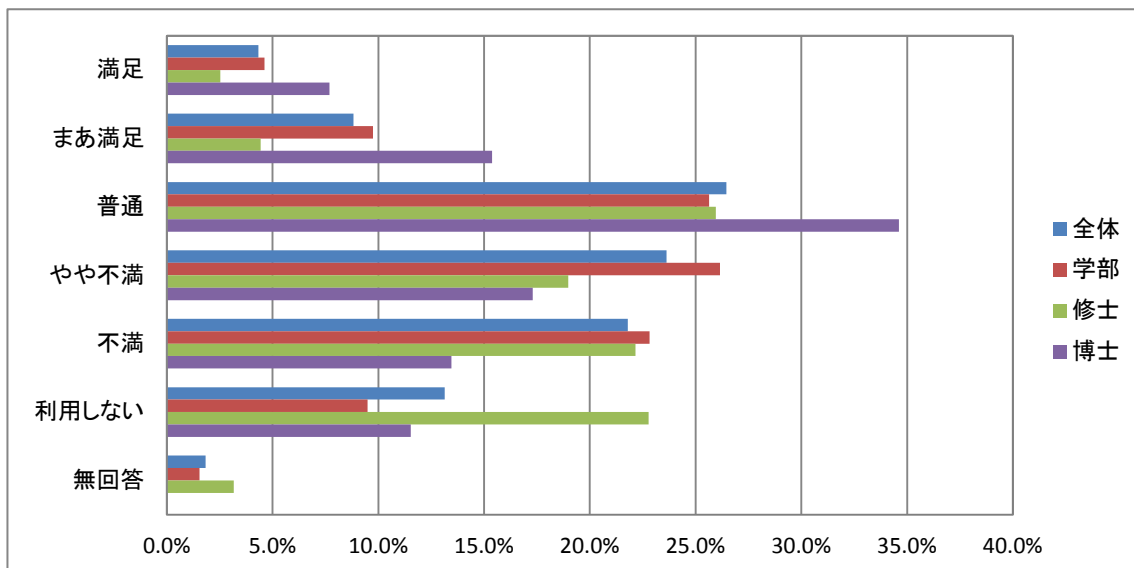
①大浦食堂（上野校地） 味



「満足」「まあ満足」「普通」と回答した者は、全体として45.3%と前回45.5%とほぼ同様であった、学部49.3%（前回47.5%）、修士34.2%（前回39.3%）、博士49.9%（前回62.5%）であった。

Q19 学内の食堂についてお尋ねします。

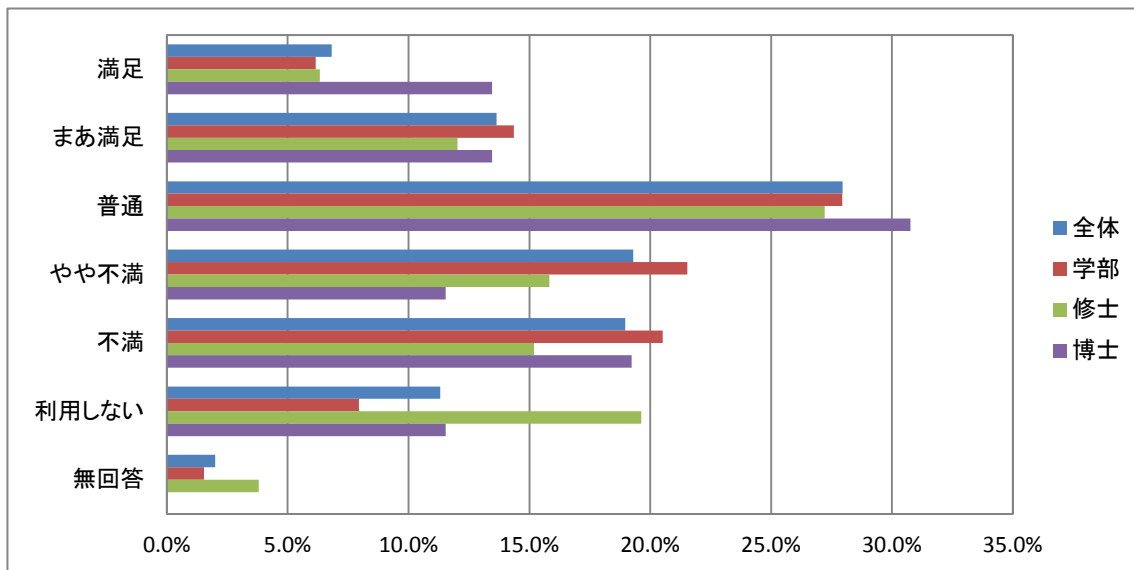
①大浦食堂（上野校地） 値段



「満足」「まあ満足」「普通」回答した者は、全体として39.6%と前回35.5%より増加となり、学部39.9%（前回34.8%）、修士32.8%（前回36.4%）、博士57.7%（前回49.9%）であった。

Q19 学内の食堂についてお尋ねします。

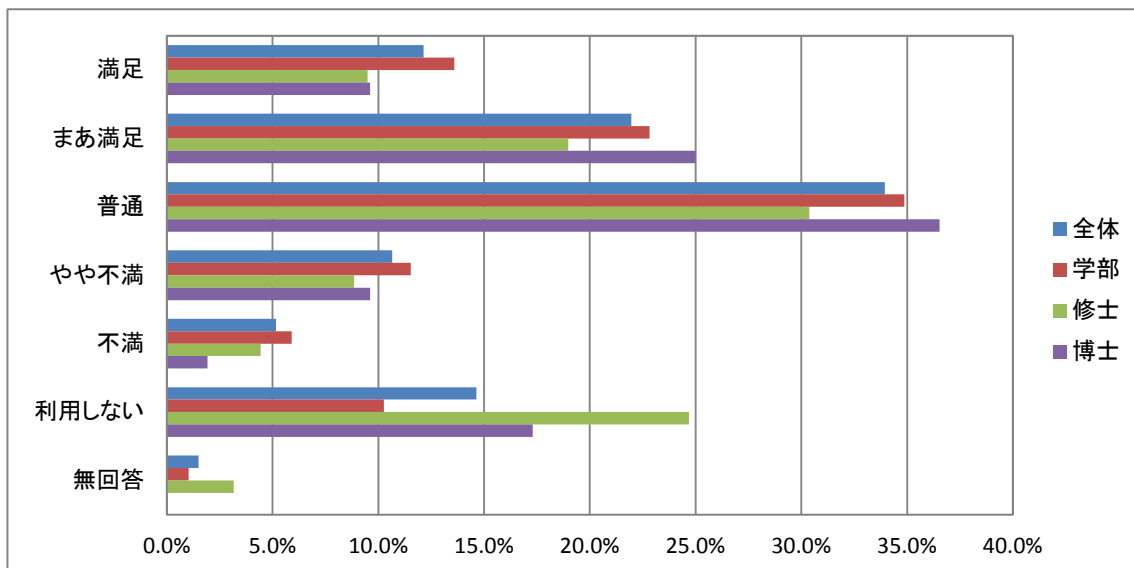
①大浦食堂（上野校地） サービス・対応



「満足」「まあ満足」「普通」と回答した者は、全体として48.4%と前回53.7%より減少となり、学部48.5%（前回51.9%）、修士45.5%（前回53.1%）、博士57.8%（前回79.2%）であった。

Q19 学内の食堂についてお尋ねします。

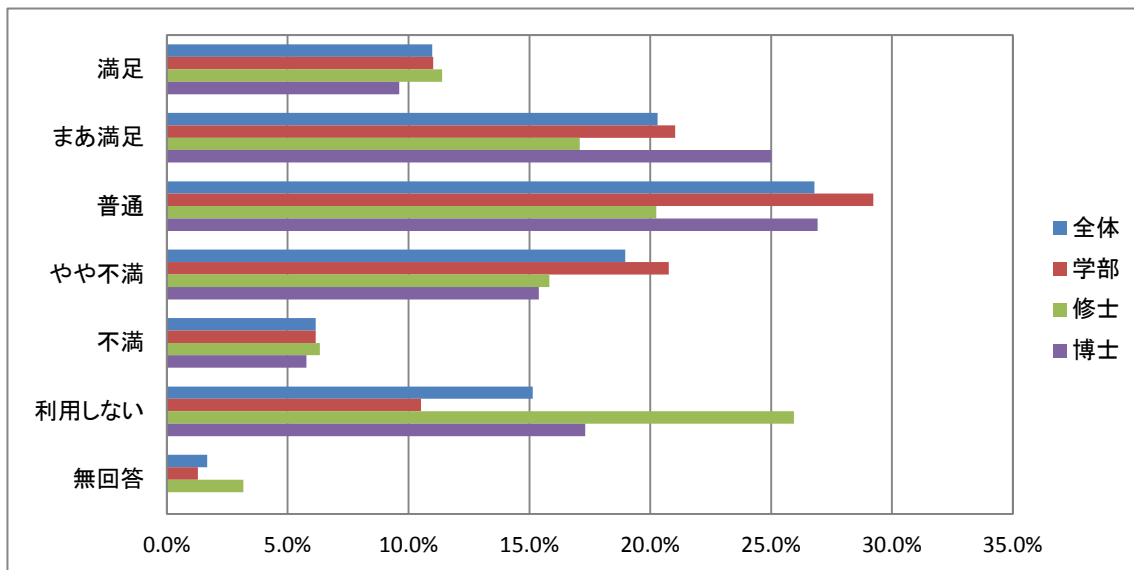
②キャッスル食堂（上野校地） 施設・設備



「満足」「まあ満足」「普通」回答した者は、全体として68%と前回68.3%とほぼ同様であった、学部71.3%（前回67.1%）、修士58.9%（前回69.7%）、博士71.1%（前回70.8%）であった。

Q19 学内の食堂についてお尋ねします。

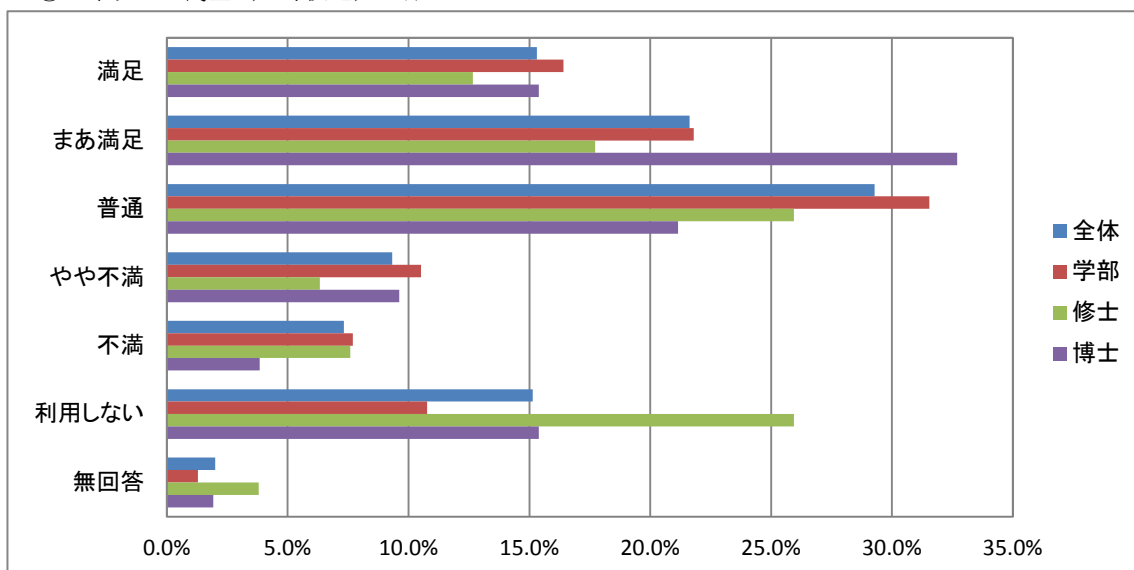
②キャッスル食堂（上野校地）メニュー



「満足」「まあ満足」「普通」と回答した者は、全体として58.1%と前回58.3%とほぼ同様であった、学部61.2%（前回55.7%）、修士48.8%（前回62%）、博士61.5%（前回62.5%）であった。

Q19 学内の食堂についてお尋ねします。

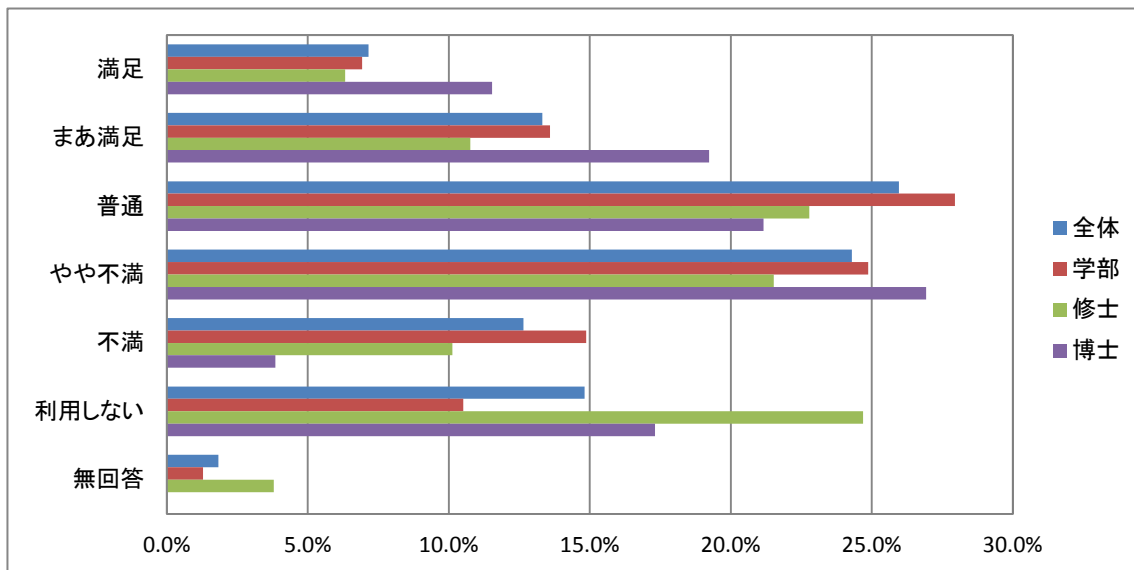
②キャッスル食堂（上野校地）味



「満足」「まあ満足」「普通」回答した者は、全体として66.2%と前回66%とほぼ同様であった、学部69.7%（前回63.9%）、修士56.3%（前回69.7%）、博士69.3%（前回70.9%）であった。

Q19 学内の食堂についてお尋ねします。

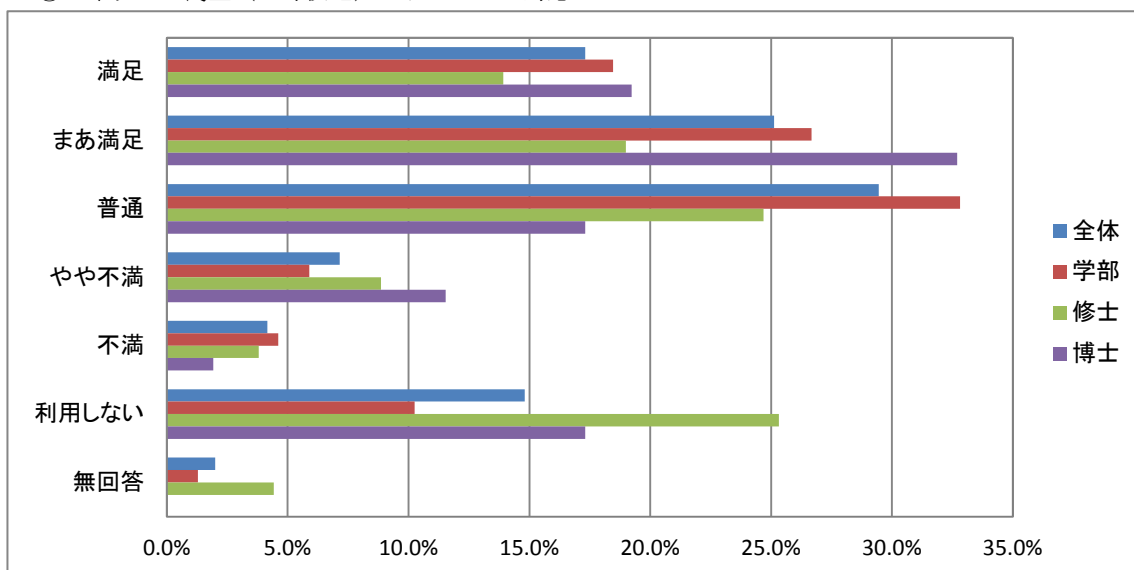
②キャッスル食堂（上野校地） 値段



「満足」「まあ満足」「普通」と回答した者は、全体として46.5%と前回44.8%より増加となり、学部48.4%（前回40.5%）、修士39.9%（前回46.9%）、博士51.9%（前回62.5%）であった。

Q19 学内の食堂についてお尋ねします。

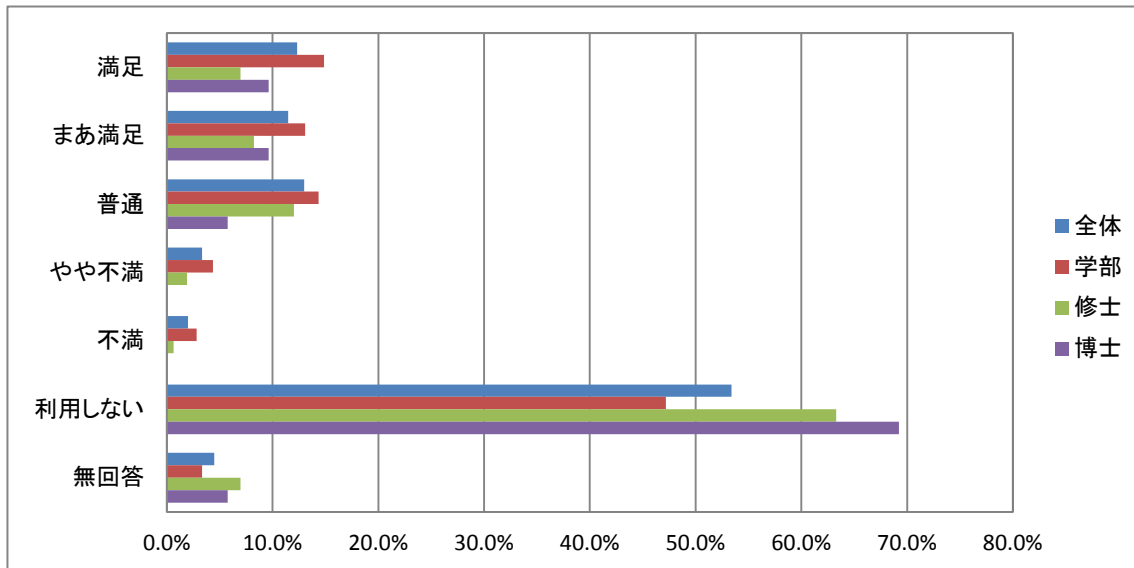
②キャッスル食堂（上野校地） サービス・対応



「満足」「まあ満足」「普通」回答した者は、全体として71.9%と前回70.2%より増加となり、学部78%（前回67.1%）、修士57.6%（前回74.3%）、博士69.2%（前回79.2%）であった。

Q19 学内の食堂についてお尋ねします。

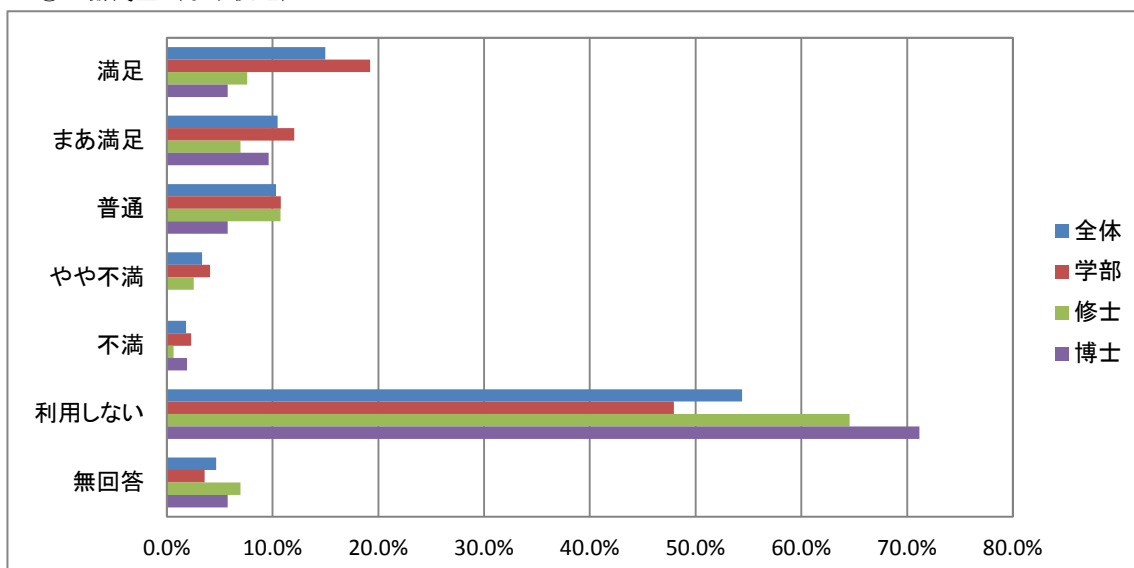
③生協食堂（取手校地） 施設・設備



「満足」「まあ満足」「普通」と回答した者は、全体として36.8%と前回29.6%より増加となり、学部42.4%（前回33%）、修士27.2%（前回22.7%）、博士25%（前回12.5%）であった。取手校地は利用者が限られるため数値は低かった。

Q19 学内の食堂についてお尋ねします。

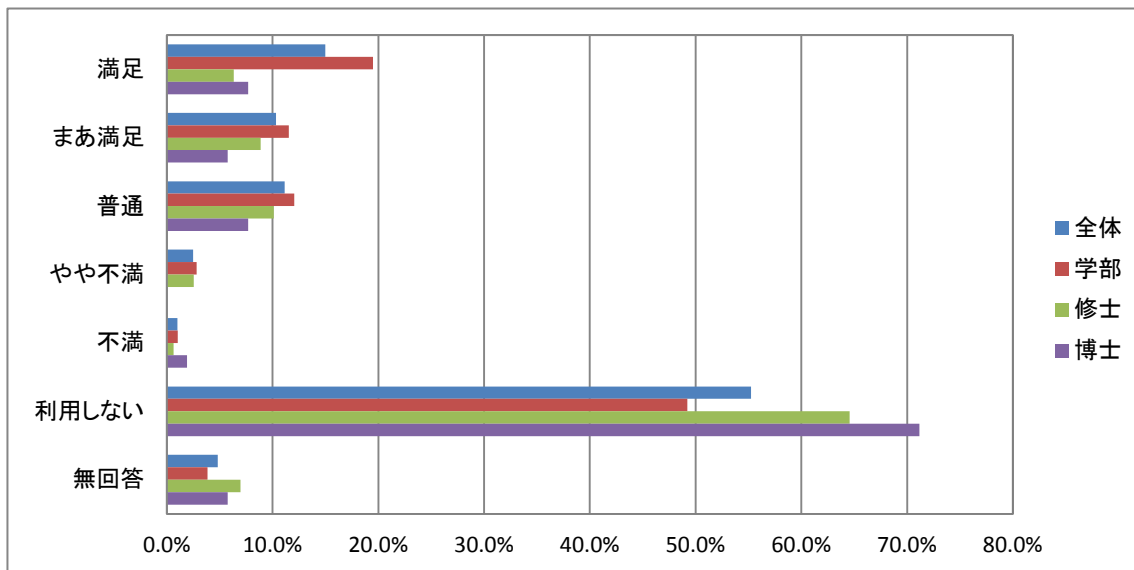
③生協食堂（取手校地） メニュー



「満足」「まあ満足」「普通」回答した者は、全体として35.8%と前回26.9%より増加となり、学部42.1%（前回29.8%）、修士25.4%（前回21.2%）、博士21.2%（前回8.4%）であった。取手校地は利用者が限られるため数値は低かった。

Q19 学内の食堂についてお尋ねします。

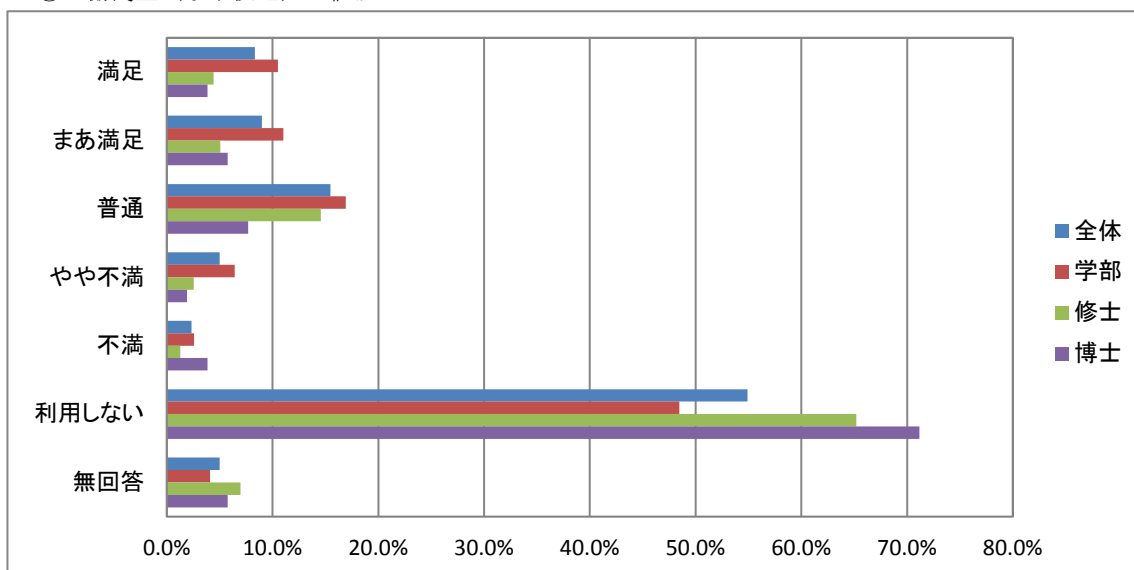
③生協食堂（取手校地） 味



「満足」「まあ満足」「普通」と回答した者は、全体として36.4%と前回28.4%より増加となり、学部43.1%（前回31%）、修士25.3%（前回22.8%）、博士21.2%（前回12.6%）であった。取手校地は利用者が限られるため数値は低かった。

Q19 学内の食堂についてお尋ねします。

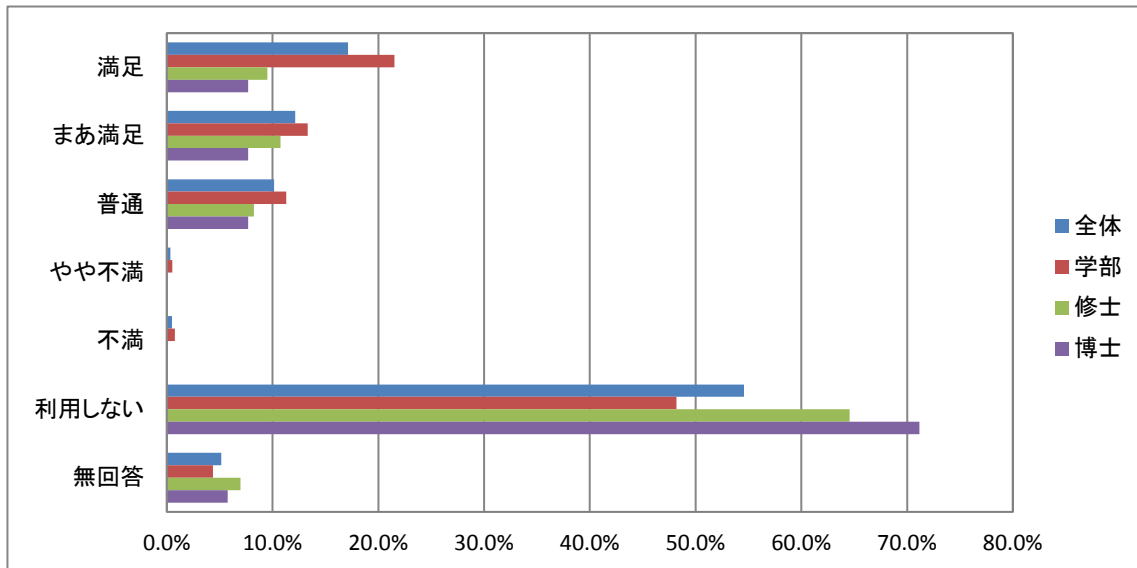
③生協食堂（取手校地） 値段



「満足」「まあ満足」「普通」回答した者は、全体として32.8%と前回26.6%より増加となり、学部38.4%（前回27.9%）、修士24.1%（前回22.7%）、博士17.3%（前回12.6%）であった。取手校地は利用者が限られるため数値は低かった。

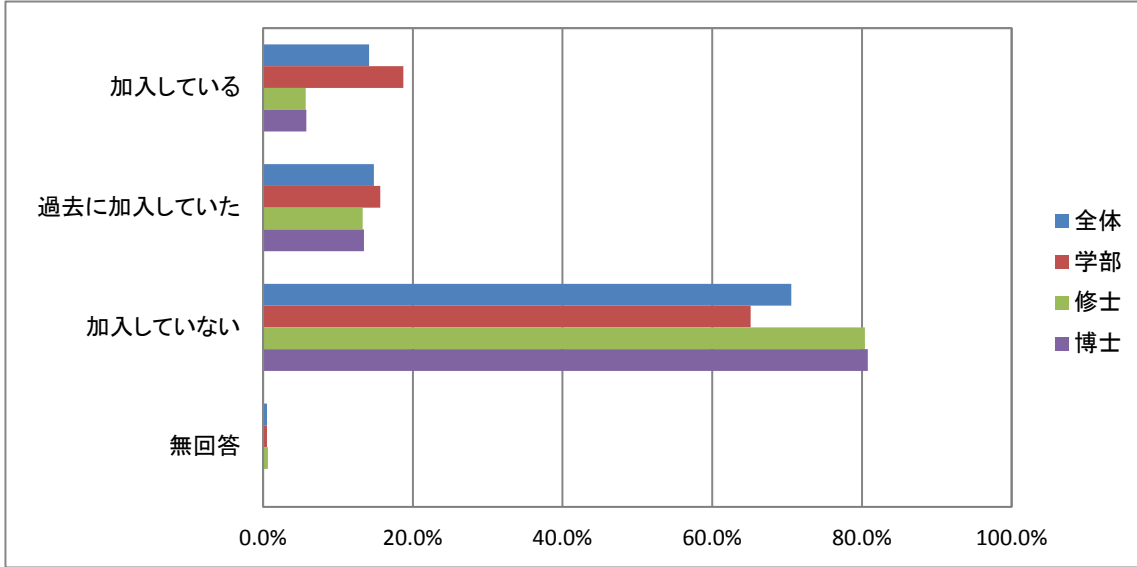
Q19 学内の食堂についてお尋ねします。

③生協食堂（取手校地） サービス・対応



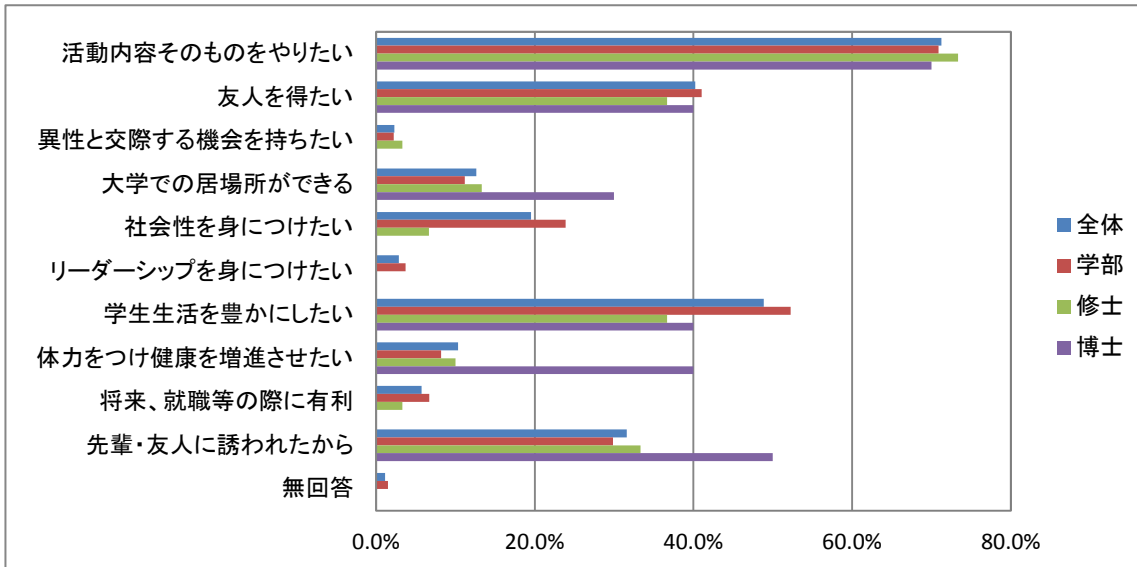
「満足」「まあ満足」「普通」と回答した者は、全体として39.3%と前回29.5%より増加となり、学部46.1%（前回33.5%）、修士28.5%（前回19.8%）、博士23.1%（前回16.7%）であった。取手校地は利用者が限られるため数値は低かった。

Q20-① あなたは学内のクラブ・サークル等の課外活動に参加していますか。
 (藝祭・五芸祭の実行委員会を含む)



「学内のクラブ・サークル活動に参加している」と回答した者は、学部18.7%と前回20.3%より減少となり、修士では5.7%と前回7.6%より減少、博士も5.8%で前回8.3%より減少した。

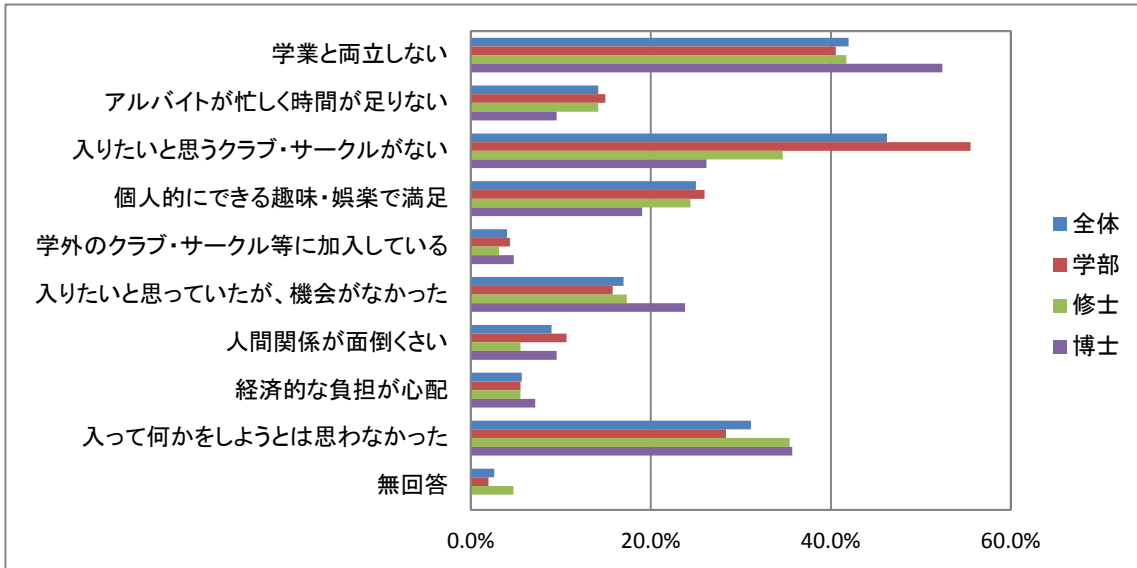
Q20-② (Q20-①でA、Bと答えた方にお聞きします。)
 加入した目的・理由は何ですか。(複数回答可)



クラブ・サークル等の課外活動に参加している、過去に参加していた目的・理由(複数回答)は、学部では「活動内容そのものやりたい」が70.9%(前回66%)と最も多く、修士も同じく「活動内容そのものやりたい」が73.3%(前回75%)、博士も同じく「活動内容そのものやりたい」が70%(前回80%)であった。

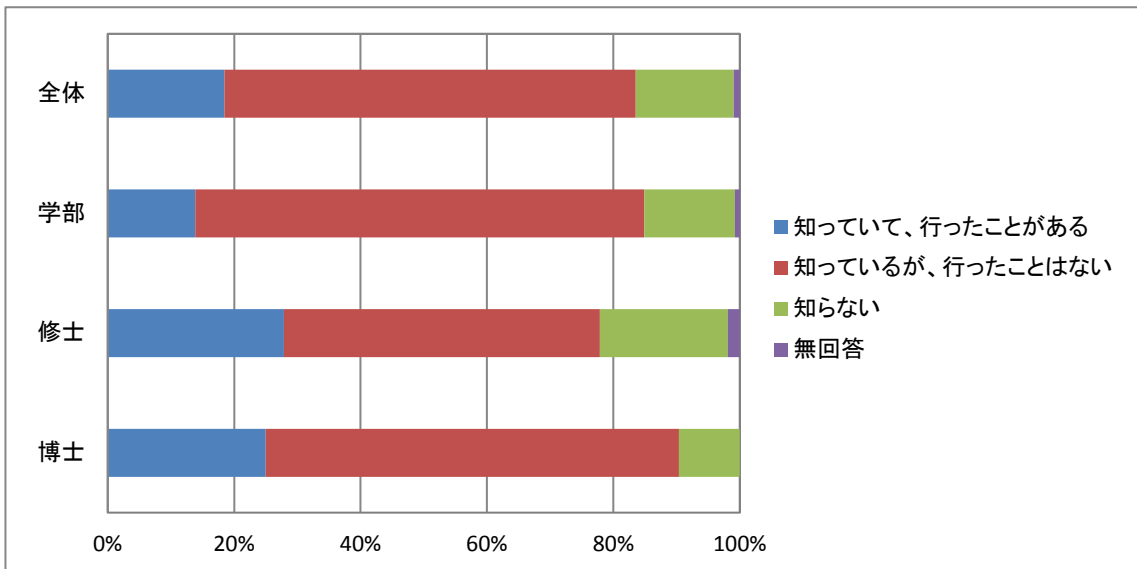
Q20-③ (Q20-①でCと答えた方にお聞きします。)

加入しなかった理由は何ですか。(複数回答可)



クラブ・サークル等の課外活動に加入しなかった理由(複数回答)について、学部では「入りたいと思うクラブ・サークルがない」がもっとも多く55.5%(前回38.9%)と最も多く、修士では「学業と両立しない」が41.7%(前回33.3%)、博士も同じく「学業と両立しない」52.4%(前回52.6%)であった。

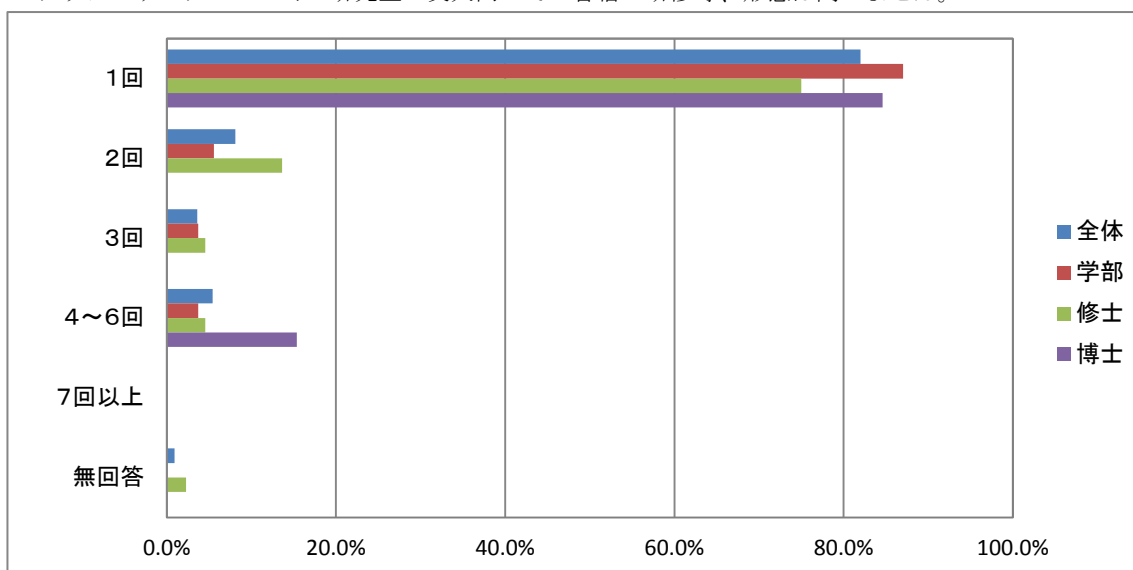
Q21-① あなたは本学的那須高原研修施設を知っていますか。



「知っている行ったことがある」「知っているが行ったことはない」と回答した者は、学部84.8%と前回74%より増加となり、修士も同じく77.8%と前回69.7%より増加、博士も同じく90.4%と前回87.5%より増加した。学部、修士、博士とも前回よりも増加となった。

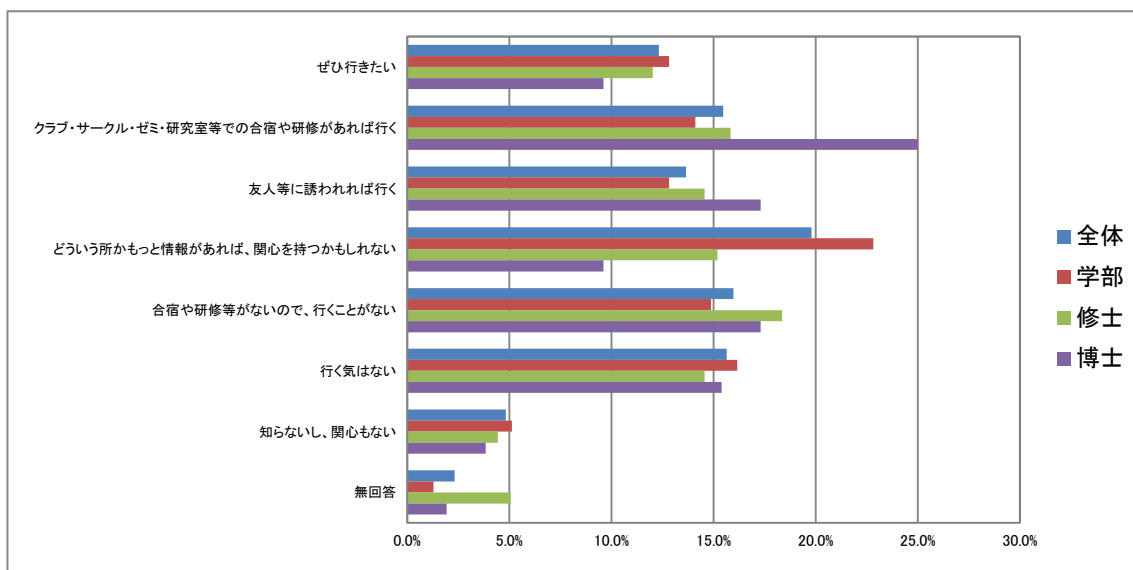
Q21-② (Q21-①でAと答えた方にお聞きします。)

那須高原研修施設には今までに何回行ったことがありますか。<科・専攻の研究旅行、クラブ・サークル・ゼミ・研究室・友人同士での合宿・研修等、形態は問いません。>



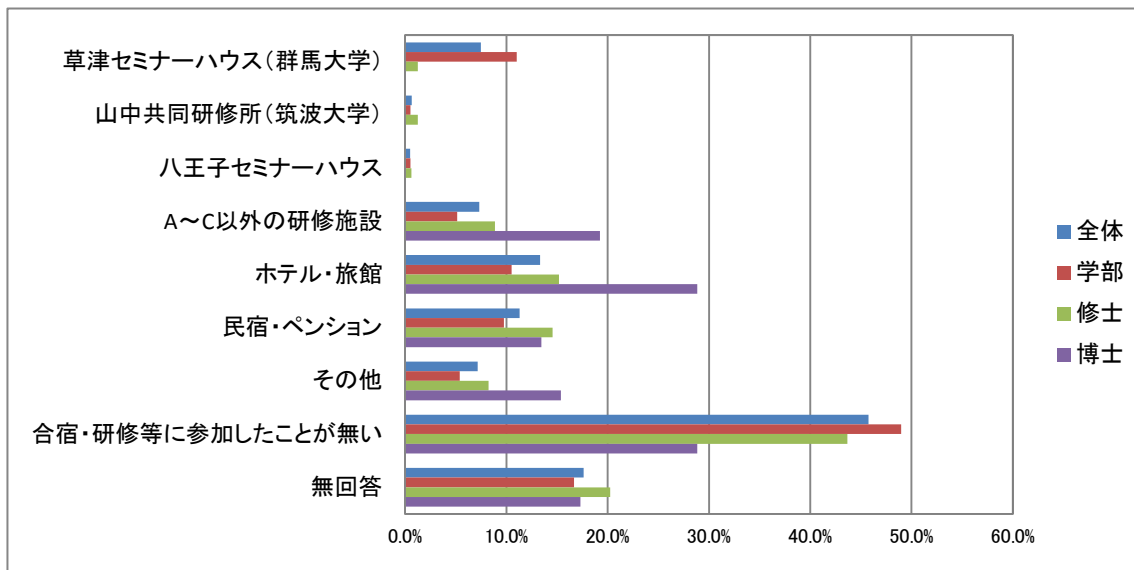
全体として、「1回」が82% (前回80.7%) と最も多く、次いで「2回」が8.1% (前回12.3%)、「4~6回」が5.4% (前回3.5%) であった。

Q22 あなたは今後、那須高原研修施設へ行きたいと思いますか。



「ぜひ行きたい」「クラブ・サークル・ゼミ・研究室等での合宿や研修があれば行く」「友人等に誘われれば行く」と回答した者は、学部39.7% (前回35.5%)、修士42.4% (前回51.5%)、博士51.9% (前回66.6%) であった。

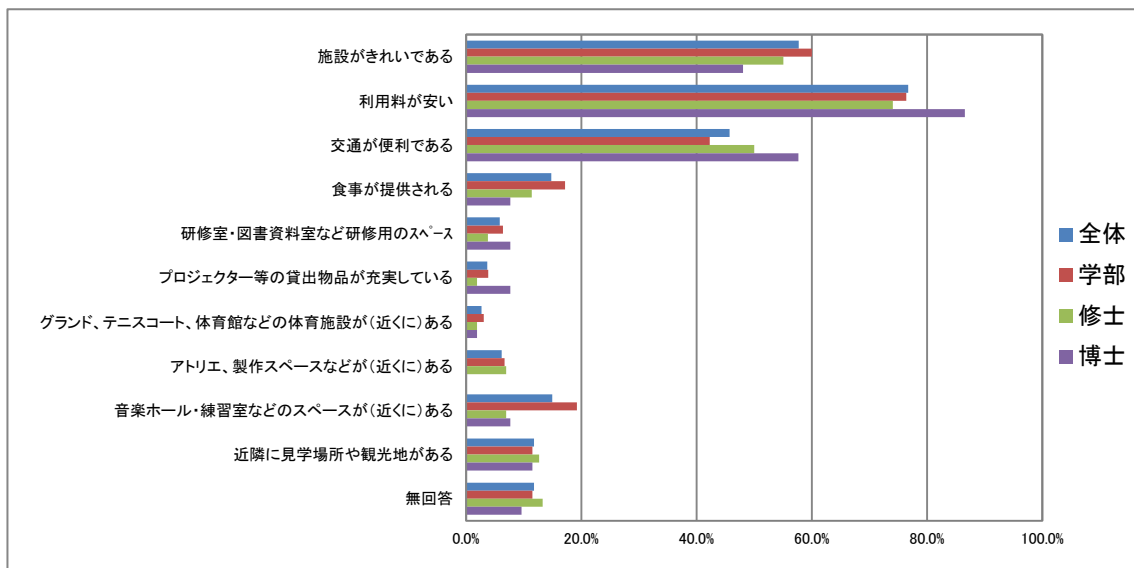
Q23 クラブ・サークル・ゼミ・研究室等での合宿・研修等に、本学的那須高原研修施設以外で利用した施設はどこですか。（複数回答可）



利用した施設について、学部では、「草津セミナーハウス」が11%(前回1.9%)と最も多く、修士では「ホテル・旅館」が15.2%(前回19.7%)、博士も同じく「ホテル・旅館」が28.8%(前回25%)であった。

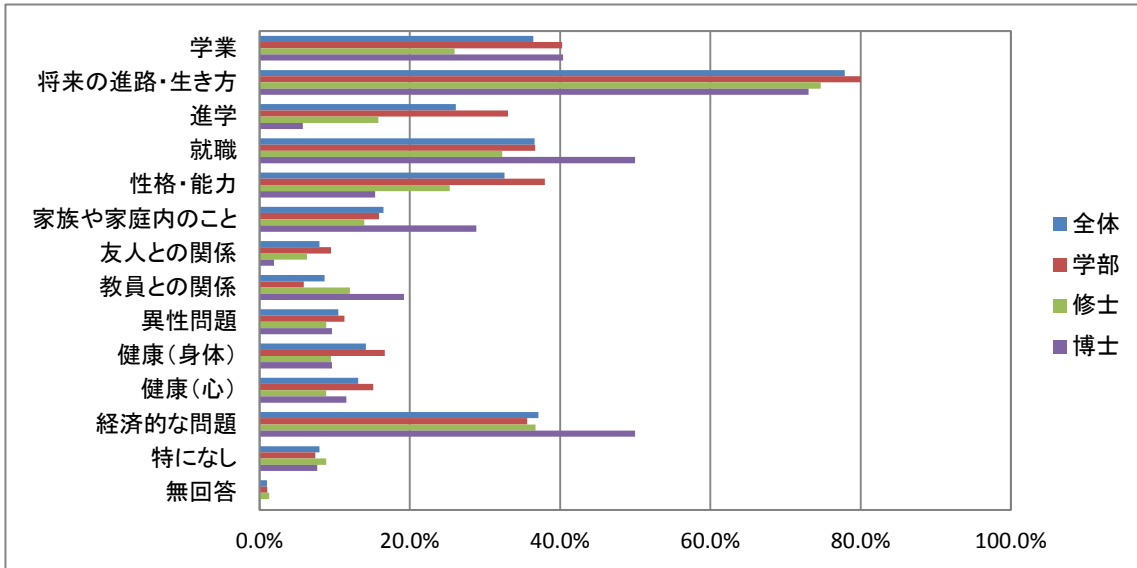
Q24 合宿・研修等で利用するとした場合、その施設には主に何を求めますか。

3つまで選んでください。



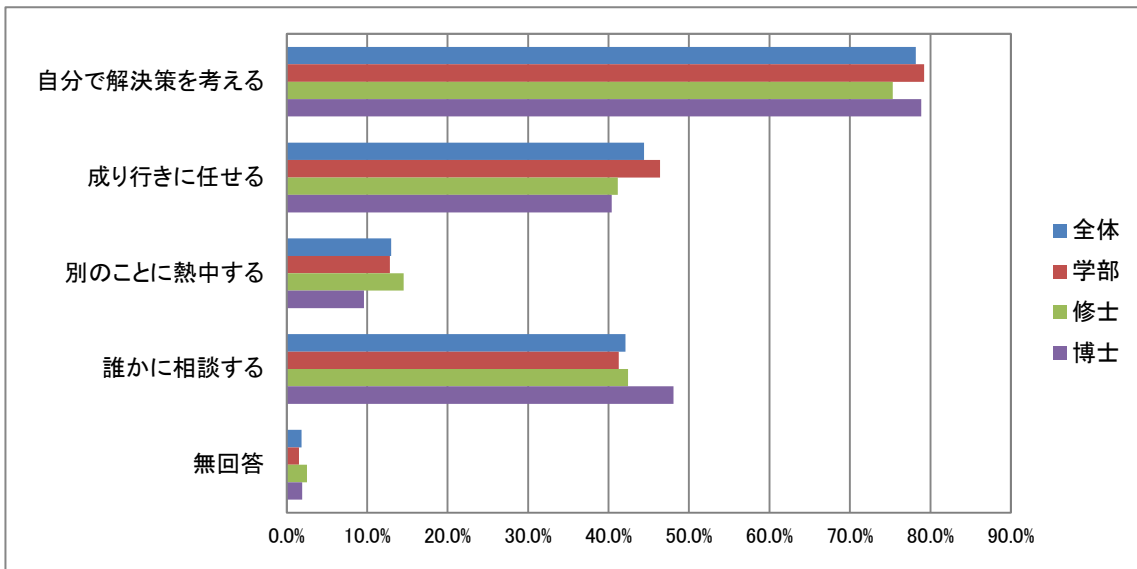
施設に求めるかについて、学部では「利用料が安い」が76.4%(前回75.3%)と最も多く、修士も同じく「利用料が安い」が74.1%(前回83.3%)、博士も同じく「利用料が安い」が86.5%(前回75%)であった。

Q25 あなたが今、抱えている不安や悩みは何ですか。（複数回答可）



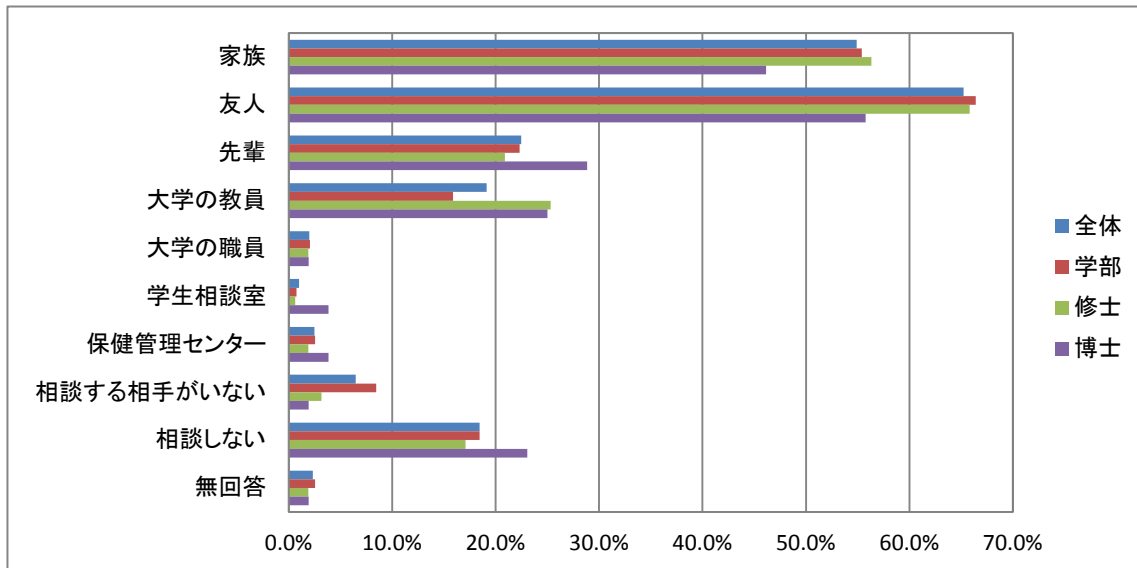
全体としては、「将来の進路・生き方」が77.9%(前回69%)と最も多く、次いで「経済的な問題」37.1%(前回33.2%)、「就職」36.6%(前回32.8%)、「学業」36.4%(前回31%)、「性格・能力」32.6%(前回34.7%)等であった。

Q26 不安や悩みへの主な対応方法は。（複数回答可）



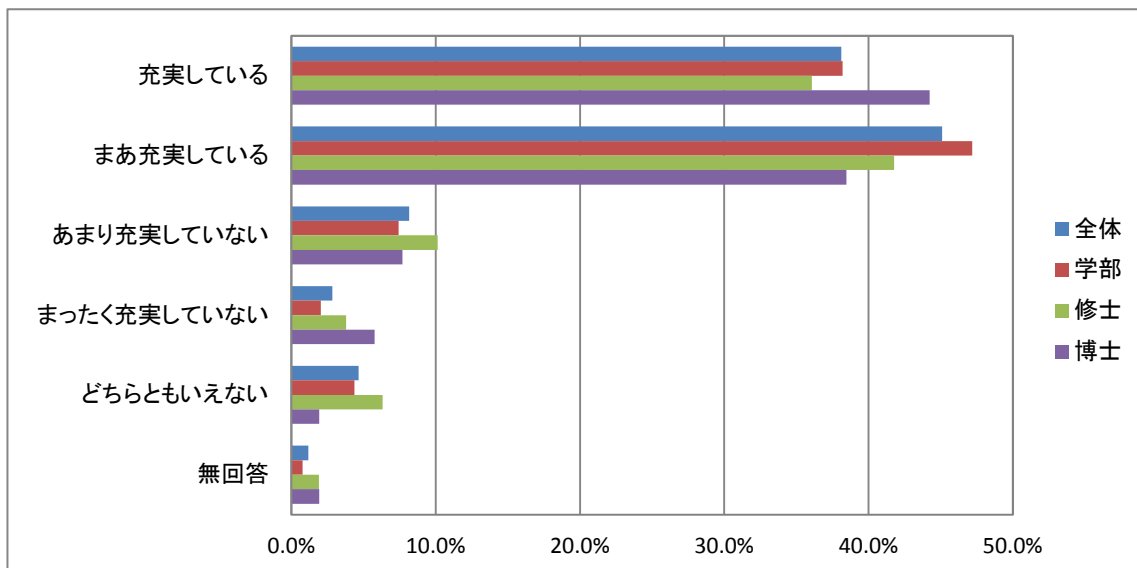
全体としては、「自分で解決策を考える」が78.2%(前回72%)と最も多く、次いで「成り行きに任せる」44.4%(前回45.9%)、「誰かに相談する」42.1%(前回44.4%)等であった。

Q27 不安や悩みを誰に相談しますか。(複数回答可)



全体としては、「友人」が65.2%(前回71.6%)と最も多く、次いで「家族」54.9%(前回61.9%)、「先輩」22.5%(前回24.6%)、「大学の教員」19.1%(前回19.4%)等であった。

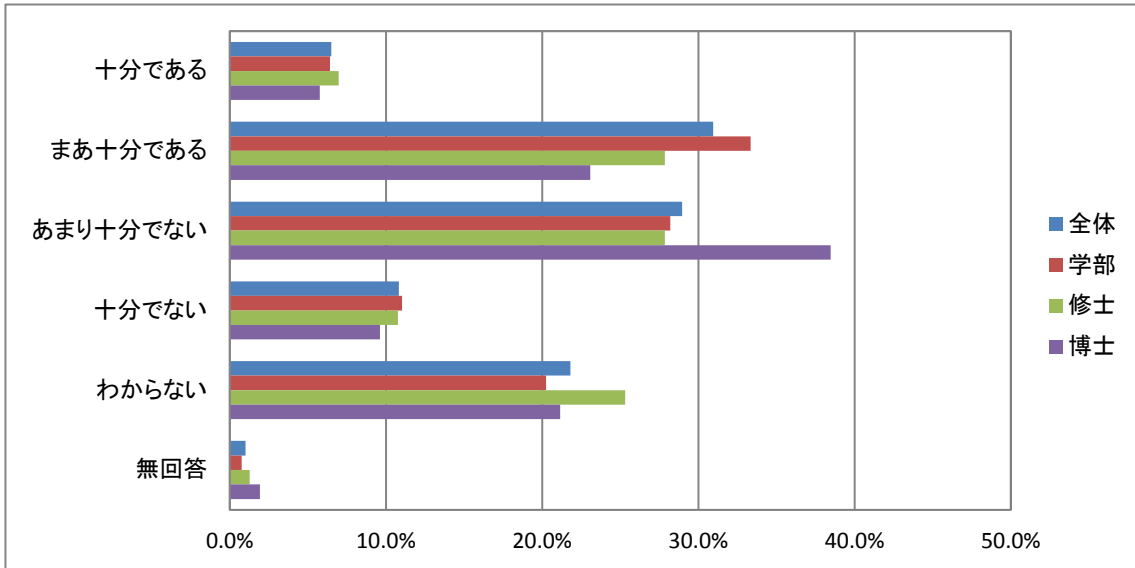
Q28 あなたは授業以外の学生生活を充実させてすごしていますか。



「充実している」「まあ充実している」と回答した者は、全体として83.2%と前回82.8%とほぼ同様となり、学部85.4%(前回83.6%)、修士77.9%(前回87.9%)、博士82.7%(前回75%)であった。

◆大学全般

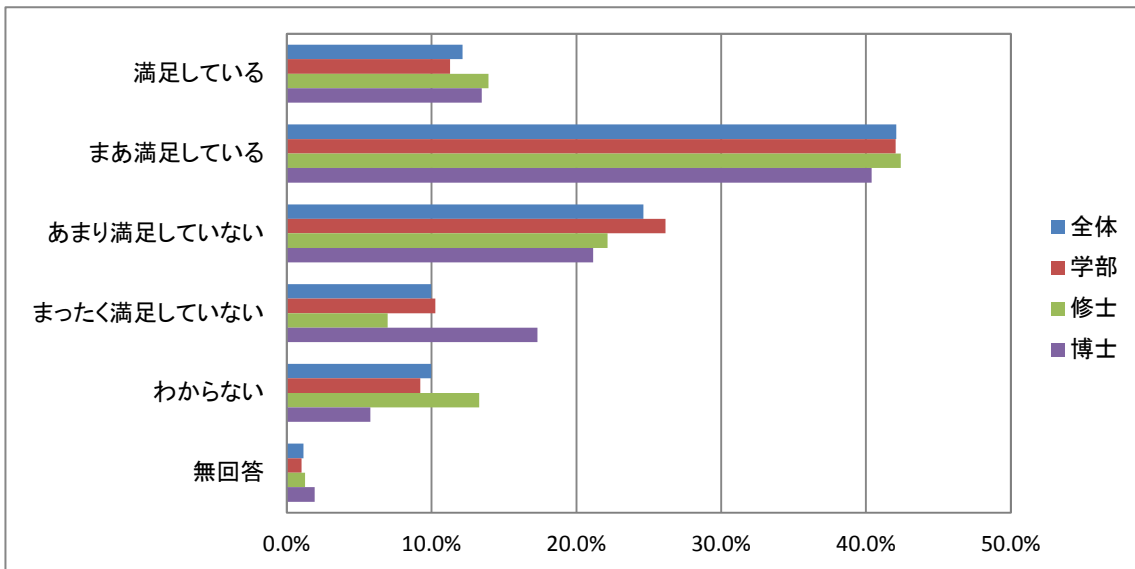
Q29 授業以外の学生生活に対して、大学の学生サポート(支援)体制やサービス内容・メニューは全般的にみて十分だと思いますか。



「十分である」「まあ十分である」と回答した者は、全体として37.4%と前回31.7%より増加となり、学部39.7%（前回31.7%）、修士34.8%（前回31.8%）、博士28.9%（前回37.5%）であった。

Q30 以下の窓口や学生サービス担当について、どの程度満足していますか。

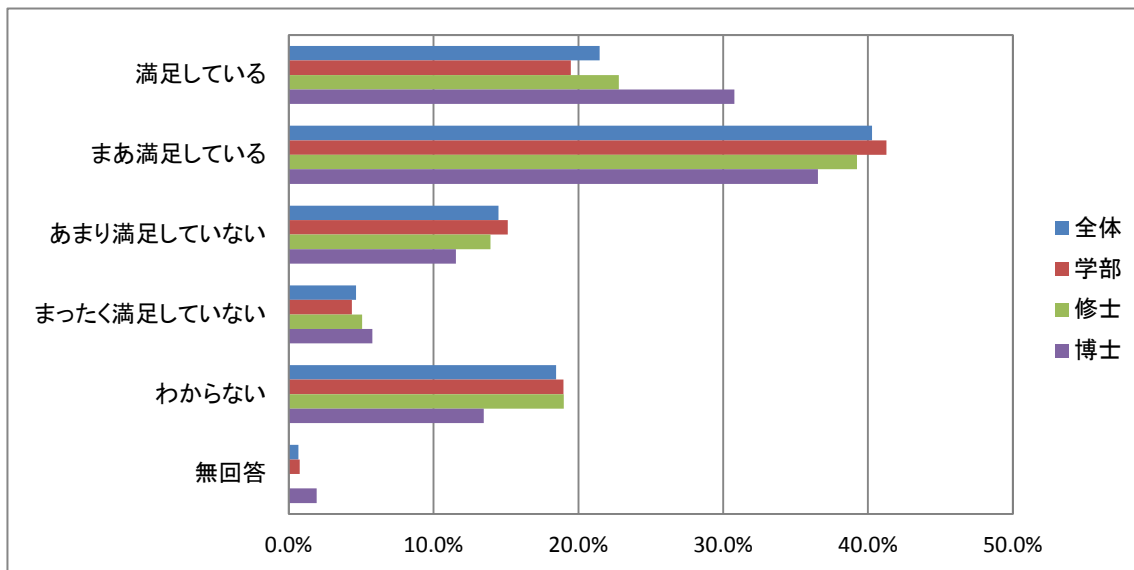
①学部事務室の対応（美術・音楽の教務係、取手・千住・横浜校地の事務室）



「満足している」「まあ満足している」と回答した者は、全体として54.2%と前回56.4%より減少となり、学部53.4%（前回54.5%）、修士56.3%（前回63.7%）、博士53.9%（前回58.4%）であった。

Q30 以下の窓口や学生サービス担当について、どの程度満足していますか。

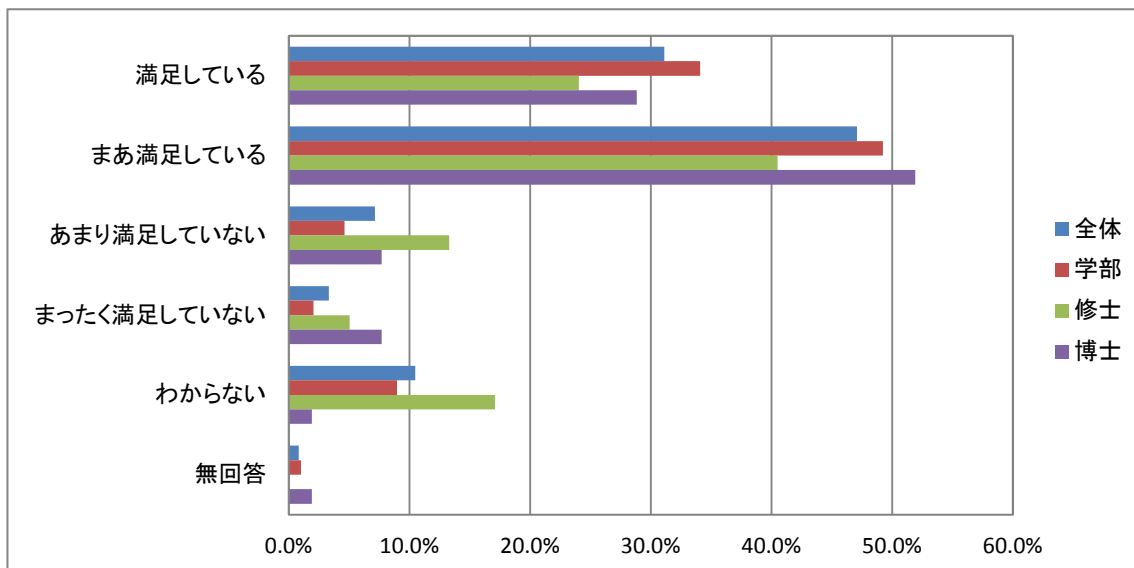
②学生支援課の対応



「満足している」「まあ満足している」と回答した者は、全体として61.8%と前回59%より増加となり、学部60.8%（前回62%）、修士62%（前回48.5%）、博士67.3%（前回66.7%）であった。

Q30 以下の窓口や学生サービス担当について、どの程度満足していますか。

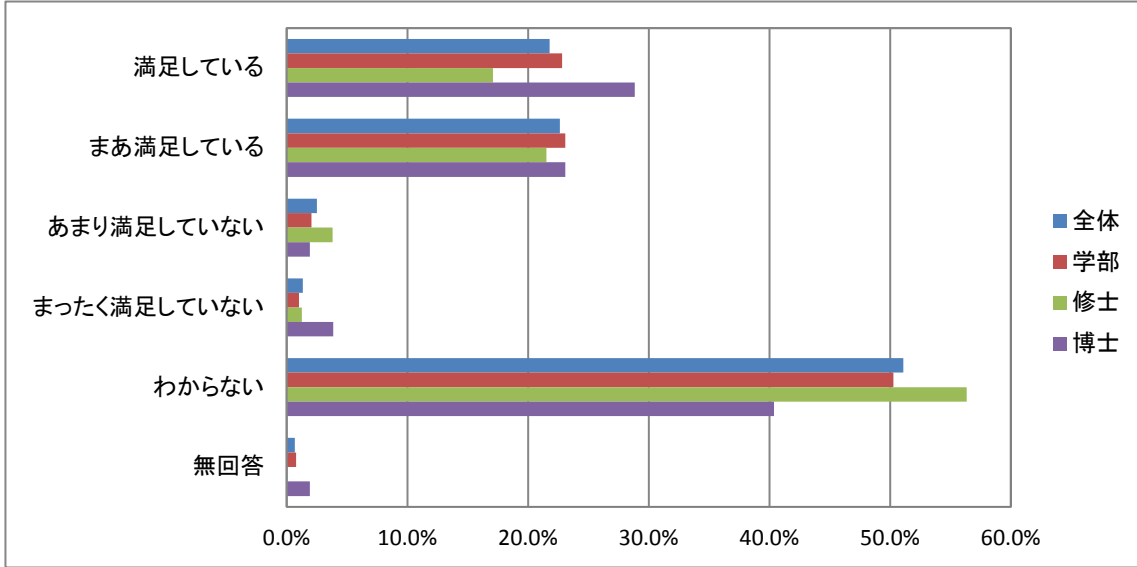
③図書館窓口の対応



「満足している」「まあ満足している」と回答した者は、全体として78.2%と前回72.8%より増加となり、学部83.3%（前回74.7%）、修士64.6%（前回68.2%）、博士80.7%（前回75%）であった。

Q30 以下の窓口や学生サービス担当について、どの程度満足していますか。

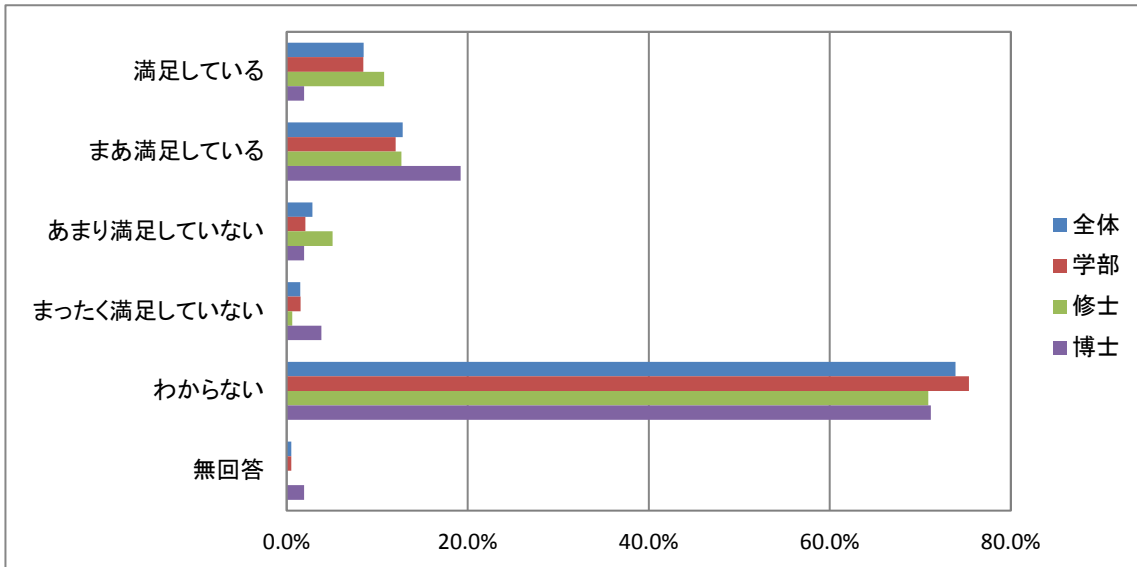
④保健管理センター、保健室の対応



「満足している」「まあ満足している」と回答した者は、全体として44.4%と前回54.8%より10ポイントほど減少となり、学部45.9%（前回51.9%）、修士38.6%（前回66.7%）、博士51.9%（前回54.2%）であった。

Q30 以下の窓口や学生サービス担当について、どの程度満足していますか。

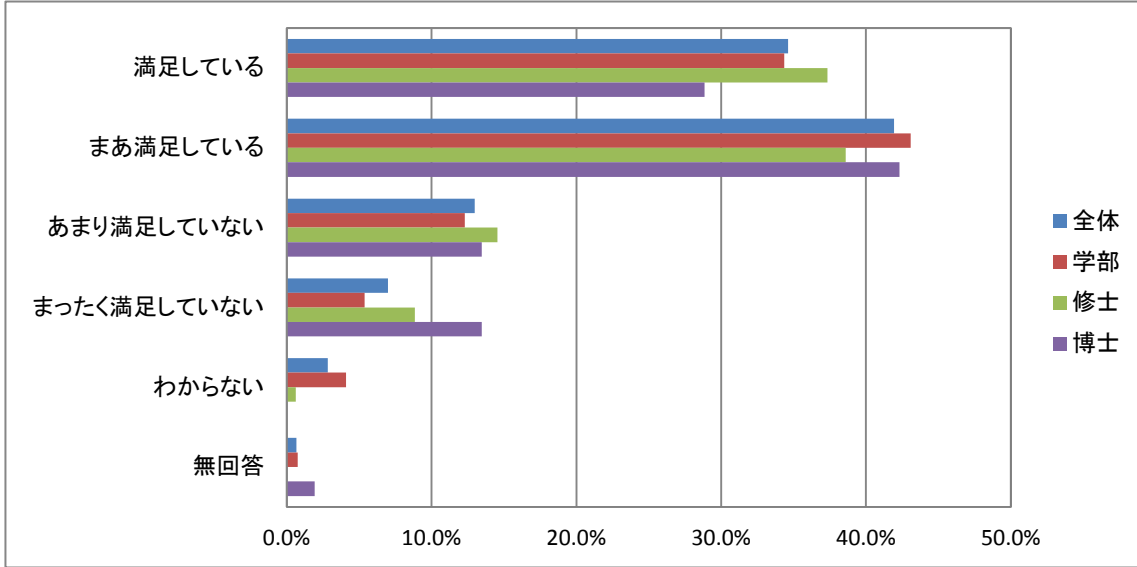
⑤学生相談室や医師、カウンセラーの対応



「満足している」「まあ満足している」と回答した者は、全体として21.3%と前回19.8%より増加となり、学部20.6%（前回20.3%）、修士23.5%（前回21.2%）、博士21.1%（前回16.6%）であった。

Q30 以下の窓口や学生サービス担当について、どの程度満足していますか。

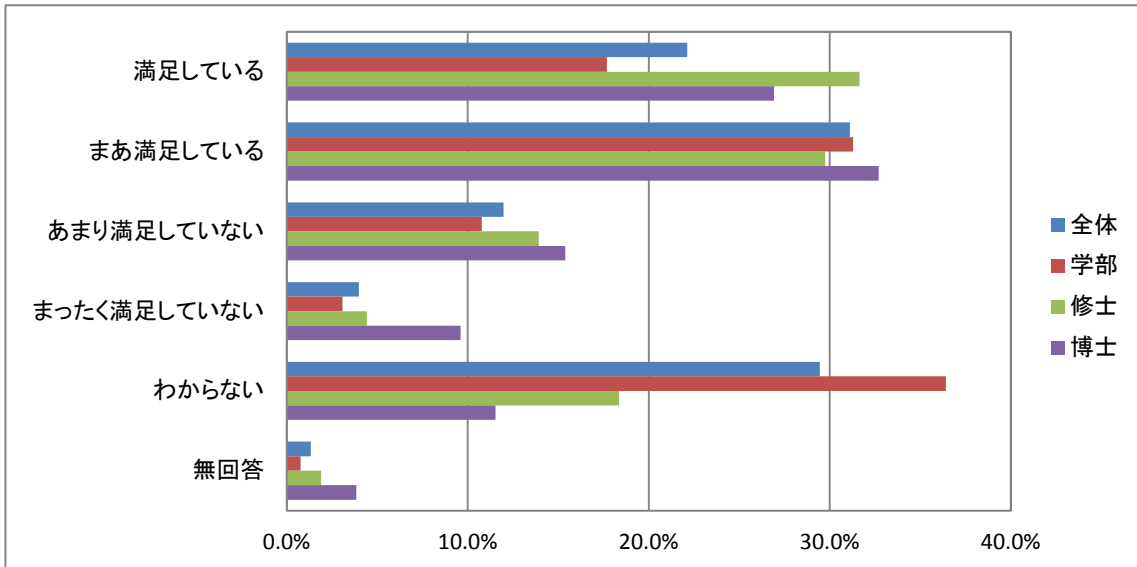
⑥科・専攻・研究室の助教・助手の対応



「満足している」「まあ満足している」と回答した者は、全体として76.5%と前回81.7%より減少となり、学部77.5%（前回77.9%）、修士75.9%（前回87.8%）、博士71.1%（前回95.9%）であった。

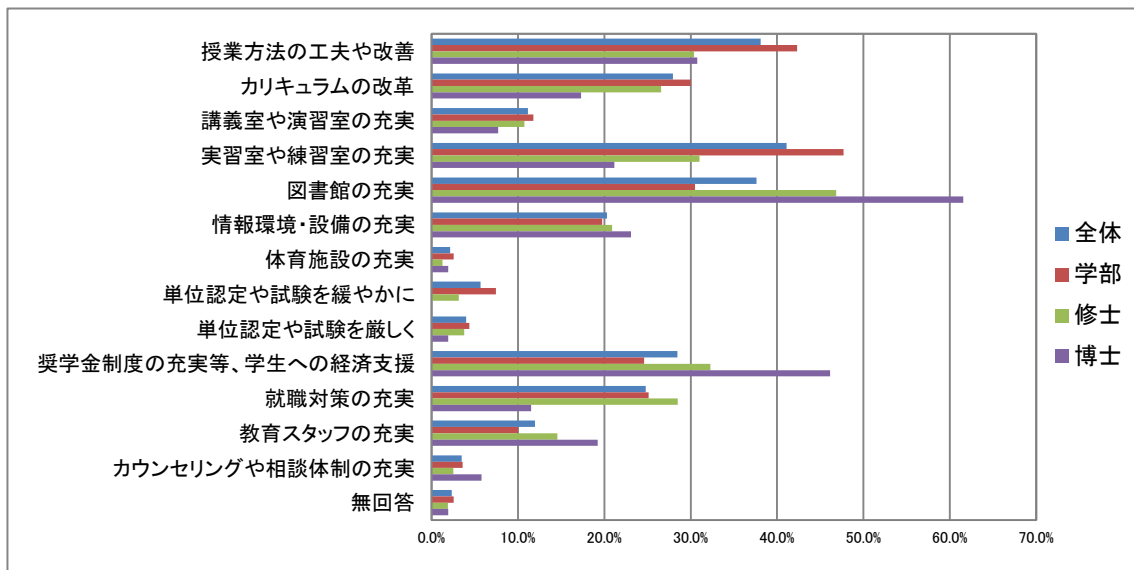
Q30 以下の窓口や学生サービス担当について、どの程度満足していますか。

⑦教員のオフィスアワーの対応



「満足している」「まあ満足している」と回答した者は、全体として53.2%と前回55.6%より減少となり、学部49%（前回51.2%）、修士61.3%（前回65.1%）、博士59.6%（前回75%）であった。

Q31 大学への要望や期待することは何ですか。3つまで選んでください。



大学への要望や期待すること、学部では「実習室や練習室の充実」が47.7% (前回58.2%) と最も多く、修士では「図書館の充実」が46.8% (前回47%)、博士も同じく「図書館の充実」が61.5% (前回45.8%) であった。

1次分類	2次分類	Q32<自由記述> 学習環境や施設・設備等について気付いた点、(一部抜粋)
授業・カリキュラム (87件)	講義・カリキュラム等 (55件)	学生が積極的に外で活動するカリキュラムや、社会とコミットした活動やワークショップは必要と感じる。大学を出てから起きる問題を大学はサポート出来ていない。
		教務課が提供して下さる教職などの書類が古く、混乱します。
		英語の授業をちよろっとカリキュラムに挟んでますが意味をなしていません。皆そう言ってます。先生が悪い訳ではありません。先生はとて素晴らしいです。しかし英語は常時当たり前のように、触れ合わないと意味がありません。あの程度の時間を矯正されるくらいなら制作に当てさせたほうが良いです。それで学割とかが効くようなやさしい英会話スクールでも教えていただいたほうが大変助かるのですが。。とにかく今のやり方は油画の学生にとって負担でしかありません。
		必修科目についても、もっと一般教養の充実をした方が芸大生のためになると思います。(集中講義ではなく、通年の科目として)
		音楽学部と美術学部で休みの日程が微妙に違うので、両方の学部の授業を履修している身としては煩雑に感じています。日程の統一がなされると有難いです。・履修人数が多い授業(主に一般教養科目)における授業態度の悪さが酷く、授業を聞きたくても集中できないときがあったり、また態度の悪い学生やほとんど出席していない学生も単位取得できてしまっている状況に不公平感を感じたりしています。何らかの対策を希望します。
		授業の公欠について学科の授業と専攻の授業が被ったら、専攻の授業を優先しろといわれていて、2年では学科の授業を休まなければいけない事がたくさんありました。カリキュラム選択の時には、(臨時に入る)専攻の授業はまだわからないので、私たち学生では対策しにくいのです。なので、専攻の授業が学科の授業と被ったら、学科の授業の方を公欠にできるようにしてほしいです。専攻の授業(講評など)が被って、授業をやすむことは成績に響いたりとても困るので、公欠の制度を改めて考えてほしいと思います。よろしくお願いします。
		授業の時間が重複していて授業が受けられない場合があるらしいので、授業を受けて単位を取れるようにしてほしい。
		現代美術史の流れをきちんと学べる講義が欲しいです
		取得を希望する授業や講義の時間が被っていて忙しいわけではないのに授業、実技に参加できないことが多すぎる。
		先端芸術表現科の学生ですが、先端だけ教職が取りづらいことを改善してもらいたい。
		卒展の展示期間は毎年考慮すべきだ。機械的に日にちで決定すると土日に展示期間を確保できないことがある。芸祭は土日を含めた期間にしているのにこちらは考えられていないことが理解に苦しむ。
		英語の授業のレベルが低い。資格試験に対応できないため、もっとレベルの高いクラスを設けてほしい。できればIELTSやTOEFLに特化したクラスも作ってほしい。年間半年が休みというのが辛い。AMCなどは休み中も開けておくべき。教室の使える時間が短すぎる。
		設備やカリキュラムについてはここ数年で改善された部分も多いと感じました。
		履修登録時点で履修漏れが疑われれば警告をだしたり、単位数の計算をデジタル的にもできるようなシステムを取って頂けるとありがたい。
		新年度のシラバス、時間割を前年度に、なるべくはやく発表してほしい。
		法学や情報など、教職に必要な科目が他の授業とかぶりが取れていなかったりするので、そういう必要な科目は、回数をもっと増やしていただくとありがたいです。必修や選択必修が同じコマにあり、取りたいのが取れないのも困りました。
授業時間割に無理のあるものが多く、必修授業と教職授業が被っていたりなど非常に困っています。		
少し前のように、外国人の先生をたくさん招いてほしい。また、教養系の科目は大切だが、実技の練習時間が減ってしまうほど厳しくするのはやめてほしい。		
日程に関する連絡が遅く、先約の仕事の予定を変更せざるを得ないことが度々ありました。年間を通したスケジュールを年度始めには知りたいです。		
・授業以外のカリキュラム内外のイベントごとが忙しかったのもっとゆとりが欲しいと思いました。・カリキュラム内の提出物の連絡が提出日当日に来て困ると思う事がたびたびありました。・設備に関してはブースやパソコンが1人ずつに用意されていること、キッチンが校内にあることがとても有り難いです。貸し出し機材等も充実していると思います。(横浜・万国橋)・横浜にも手軽に利用出来るすこしでも充実した図書設備があるとありがたいです。		

	<p>私は千住校地の学生ですが、カリキュラムの時間割設定において上野校地との連携が不十分だったと感じます。具体的には、芸術情報センターで火曜午後に開講されていたサウンド・デザイン概論という音楽音響関係の講義が、大学院音楽音響創造開設で必修の専攻科目と時間割上で重複していたため、受講できませんでした。この時間には、音環の音楽制作計の学生は学部1年から修士2年まで共通して必修専攻科目が設定されているので、もし来年も芸術情報センターの当該授業が同じ火曜午後に開講されると、私は来年度も受講できません。音楽音響関係の講義を、大学院音楽音響創造や音環の音楽制作専攻の学生が受講できない時間割設定は望ましくないと考えます。年度初めに指導教員にこの件を相談したところ、当該教員はこのような時間割の重複が起きていること自体を把握していませんでした。校地が分散しているからこそ、より適切な授業時間割の設定を希望します。</p> <p>シラバスや時間割りを早く出してほしいです。</p>
授業内容・教員について(32件)	教授がいまいちどのような能力を持っているのかわからない。
	教授や助手の横や縦の連携が全くとれておらず、連絡事項や問題が発生した時に、学生に負担がかかりすぎる。
	教員の方の能力と研究室の適材適所や、研究室の教員の方が退職して誰もいない研究室が出てしまうことは改善して欲しいです。
	座学の講師の質のばらつきがとても気になる。専攻によっては必修科目なのに低レベルな講義がありちゃんと講師を選別し、講義の記録や監査によって質の高い講義を希望します。
	せめて助手や教授は時間や言ったことを守って欲しい。そのために学生がさらにルーズになる。
	担当教授との折り合いが悪く、大変苦労した。
	・各科のパワーハラスメントの窓口担当者が科の中の教授のため、問題があった時に報告し辛い。各科から独立した担当者が居て欲しい。私が今までに見た事例としては・アルコールの強要、寂しいという理由で休日に学生を呼びつける、話し相手として長時間電話をする。・教授の行うプロジェクトを手伝わない学生を研究室のメーリングリストから外す、研究会に呼ばない。推薦書や奨学金の書類など必要な書類のサインや捺印を拒む等がある。これ等を理由に休学や心身に不調をきたす学生も散見されるので、対応を強化して欲しい。
	学生への連絡、大事な情報の伝達が電子メールなどのIT化がされない事によって、一部の学生にだけ伝えられるなど、平等に知る機会が失われている現状に疑問を感じている学生が多数います。しかし常に「制作をさせてやっている」という一方的な言い分には我々は言いくめられています。助手や一部の教授による高圧的な態度の改善を願います。
	極稀なケースだとは思いますが、学生を舐めているような態度で授業をする教員がいて不愉快。とある授業で「あ、こんなこと言っても芸大生にはわかりませんよね(笑)」という発言を耳にしたときは呆れた。あと、少人数の授業ではもっと積極的に議論の場を設けてほしい。
	保守的な姿勢をもうすこしゆるやかなものにし、新しい風の立つような気風を作ってほしい。
	語学をもう少し手厚く学びたい。学んでいる中では特にロシア語が教員も少なく、会話や発音、語彙の習得などには、学外の何かしらを頼らなければならない状況である。大学として、学内のみで語学学習が満足なものとして完結しうような体制が欲しい。
	単位取得に関して、教授や教務が間違えて取得できなかったことを説明しても融通のきかなかったり、その他の点でも融通がきかないことが多く疲れます。
	各科の助手さんと教務課の連携が悪いと思います時に学生が代わりに働かなければいけないシーンもあり、それは一学生には過度な負担です
	授業に関する仕事が、研究室か学生がやるのか区別がつかない所がある。講座の椅子の並べや楽器移動の人員がいつも同じ生徒に当たる。手伝った生徒が損をしない何かがあった方がいい。
	支援体制に関してではありませんが、書く場所がないので。教授の方でも自分の仕事とプライベートを分けられない人間もいます。授業中に堂々と居眠りをする教員が教授という立場なのも信じられません。適切と思っている人選だとしても、ある程度目を光らせるべきです。教員の私情が横行しています。
講義中、レッスン中に先生が携帯を見るのはやめて欲しい。大切な連絡なのだ信じたいです...	
学生への連絡、大事な情報の伝達が電子メールなどのIT化がされない事によって、一部の学生にだけ伝えられるなど、平等に知る機会が失われている現状に疑問を感じている学生が多数います。しかし常に「制作をさせてやっている」という一方的な言い分には我々は言いくめられています。助手や一部の教授による高圧的な態度の改善を願います。	
スタッフの方ひとりに負担がかかりすぎているように見えて労働条件の悪さが不安になる	

施設整備 ・校内環境 (170件)	講義室・ アトリエ・ 練習室・ 時間延長 等(85件)	<p>経済的に苦しい学生はバイトなどで本業である学業が疎かになってしまいます。特に芸術に関心のない親を持つと学費と生活費の工面を全部自分で賄うこととなります。朝働いて夜制作していると折角の学校の設備が全く使えません。できれば夜間にアトリエを開放してもらえともう少し経済的に厳しい学生でも網間を縫って制作できて作品や作家になりたい意思表示や、不良学生というレッテルをはられずに済むと思います。</p>
		アトリエの解放時間を増やしてほしい。アトリエ使用延長届の時間指定など条件を緩和してほしい。
		アトリエを土日や深夜も開放してほしい
		アトリエが狭い
		先端芸術表現科のアトリエ不足問題。
		夏期休業中にアトリエを使用出来ないのが一番困っているところです。1日を通して制作のみに集中でき、カリキュラムで色々考えた頭を整理し、自分のやり方で消化していく濃い時間になるときに、行動を起こせる場所が無いのがとてももどかしいです。
		アトリエの使用時間が短すぎます。
		アトリエの試用期間・時間が短すぎる。制作スペースが人によって差がありすぎる。
		夜間や、休日にもアトリエ利用できるようにしてもらいたい。
		アトリエの使用時間を伸ばして欲しいです。
		先端芸術表現科の施設(スペース・部屋)について大きな改革が必要であると考えている。当科は取手というたださえアクセスが悪いにもかかわらず実質アトリエが存在しない。そのためスペースが存在することは確かだが、供給が追いついておらず、学生が常に自由に制作できる環境が十分ではなく、これは取手校地のメリットを全く活かしていない。環境について他科と比べると学生間に明らかな格差がある。具体的にはアトリエ(授業で展示空間とならない)、ロッカー(今の2倍)、机(個人の最低限の空間)のどれかを速やかに提供して欲しい。
		アトリエが土日、長期休暇に入ると閉まってしまうため大きな作品の制作になるとなかなか作業が進まないアトリエを毎日解放してほしいアトリエが解放できないのであれば他の設備などを使用しどの科も自由に使えるフリースペースが欲しいまた取手校舎の通学バスは1時間に1本と非常に少ない。そのため乗れない人も多く、出席に間に合わないことも多々あるので込み合う時間には臨時バスを出してほしい
		取手校地が駅から遠い上に、図書館も規模が小さく非常に利用しづらい。また、大学自体が20時で閉まる上に、17時以降大学施設を利用する際に前日までに教授に時間外申請許可を得られないのが非常に面倒くさく、大学での作業の妨げになっている。24時間営業とまでは言わないが、0時くらいまでは作業させて欲しいし、時間外申請も教授許可不要にして欲しい。芸大にいるメリットが在学していることと卒業することくらいしかないのではないかとさえ思う。上野と環境の差を感じる。
		アトリエをもっと遅い時間まで使えるようにしてほしい。(教員室のオフィスアワーが短い。)写真センターや木工房など、事前予約が必要なのが不便。
		練習室がカビ臭かったり悪臭がしたり、音の酷いピアノが多すぎるのがちょっと。。
		練習室の清掃を行って欲しい。土日祝日、長期休業期間の入校時間を長くして欲しい。
		練習室がゴミなどで汚い。憩いの場をもっとほしい。休日に16時以降も入れるようにしてほしい。
		憩いの場をもっと広くして欲しい。練習室の充実。
		練習室やレッスン室に鏡があってもいいと思います。土日の登校時間をもう少し長くして欲しい。
		休日の入構時間を伸ばしてほしい
		練習室のピアノを直して頂きたいです。
		練習室があまりに汚い状況と、ピアノの調律がどの部屋もひどいです。ゴミ箱を廊下に設置していても、ゴミを部屋にそのままにされていることが殆どです。張り紙をするなりしてください。それから、暖房機がつかえない部屋もあります。暖房機にゴミ箱のようにゴミを詰められている部屋もあります。ボタンが壊れて機能していないものもあります。とにかく音楽を奏でるのに不適切な環境であることは間違いありません。
		練習室がすごく汚いので、掃除業者に掃除してもらおうか、せめて学生が気づいたら掃除できるよう、掃除道具を廊下等に設置して欲しい。学生証を飾さないと建物に入れなくなったことで、安全性を確保されたと思うので、土日の学校に入れる時間をもっと長くして欲しい。

設備 (55件)	美術校舎の学内の地面が凸凹していて、美術館などへの作品の搬入、搬出の際に台車がかかりガタガタと揺れます。作品が破損したり、重い物を運んでいる場合に転倒したりする可能性も少なからずあるので、道をもう少しならかな素材に変える、もしくは全面とは言わなくても台車が通るならかな道を確保するなどの工夫をして下さると有難いと思います。作品を運ぶことはこの大学ではかなり多いことなので、今後のためにも必要かと思われました。
	設備が古く、工夫しながらしか制作ができないのは、制作の時間が長くなり効率があまりよくない。
	講義室のプロジェクターやマイクの調子が悪い時が多く、授業に支障が出ています。第3講義室が特に多いです。それに講義室の換気が充分でなく、空気が悪いです。
	エアコンはすぐに直して下さい。ポリッシャーもう一台購入してください。産廃物を仕分けさせたいなら回収方法をより効率良くして下さい。というよりゴミの排出を削減する取り組み、また仕分けの徹底化(よりわかりやすいゴミ箱の設置)を行った方が良いと思います。美術学部の外は夜暗いので電灯を増やして下さい。
	絵画棟のエレベーターが混雑時に呼んでも来ないのが本当にいらいらする。押し間違えなど一度押したボタンを解除するシステムがほしい。混雑時は殆どの人がエレベーターを両方呼ぶので、止まらなくて良い階にまで止まって本当に不便。
	講義室でもアトリエでもなく、ぼーっとできる場所がほしい。二つの食堂はよく混んでいるし、科ごとに建物がはっきりと別れているため、実際は学校の中で行くところがありません。
	コンクリート打ちっ放しの校舎はお願いしますからやめてください。室内が暗いし寒い。見た目も陰鬱で、芸術大学としてのアイデンティティが感じられない。カオスがない。それだけで大学の雰囲気損なわれる。骨董、アンティーク、積み重なった時間が、学生生活のうちでは感じられない。センスが悪い。悪口になってしまっごめんね。
	私は日本画の学生ですが、アトリエの空調設備が一定の時期にならないと稼働しないことに憤りを感じます。日本画の画材は気温や湿度の変化に敏感です。にもかかわらず、それを整えられないのは設備としては欠陥と言わざるを得ません。柔軟な対応を検討していただきたいです。
	自分は彫刻科なのですが、取手校地の109アトリエからエレベーターまでの間に段差があるというのはあり得ないと思います少し手間でも、科ごとのスペースを再考する必要があると感じましたまた、取手校地の104共有スペースのように、利用方法ははっきりしない素敵なスペースなどは、もっと有効活用する方法を模索するべきだと思いました
	学生が自由に利用し自主的に催しなどを行ったり交流を深めたりできる場所が極端に少なく、あったとしても制約が多かったり、各科がさまざまな設備を所有しているものの、その科に属していないと利用できないことが多かったりと、せっかく様々な方向性に秀でた学生が居るのに科を超えた繋がりができづらくなっており、学生のクリエイティビティを大きく低下させていると思うので改善してほしい。また全体的に設備に関して不案内であり、入学後も学校の設備について知らないことが多いので改善してほしい。
	取手のアトリエが寒い。取手の学バスが不便。100円くらい掛かっても良いので本数を増やして欲しい。年に1度はアトリエ内も業者の清掃を入れて欲しい。上野の図書館、夏暑すぎる。気分が悪くなる程なので、冷房を入れて欲しい。
	くつろげる静かな場所がない。
	絵画棟のブレーカーがすぐに落ちるので、制作に支障がでている。今、制作に最低限必要な電気器具が使えない。
	先端芸術表現科にアトリエを作って下さい。
	東京藝術大学で日々学生生活を送っていて、充実しています。一年間、取手校地で過ごしてやや不満に感じたことが何点あります。ひとつに、冷暖房が効かなすぎて辛かったです。日本画専攻ですが、冬場は制作に使う膠や絵の具がすぐに凝固してしまい苦労しました。また、それらを溶かすための機材やお湯も教室に一カ所しかなく、それによるタイムロスが結構あったように感じました。
Wi-Fi環境のさらなる充実を。特に上野の音校。	
清掃に関すること (11件)	校舎が古いのは仕方がないが、全体的に汚く、清掃が行き届いていない印象。アトリエなど制作の場は仕方がないのだろうが、制作をしない立場から見るとせめて卒制や芸祭など人目に触れるときにはゴミをみせないなど、できるんじゃないかと思う。これは全て清掃員の方に向けての意見ではなく、学生の意識にモラルのなさを感じる。だらしない。
	練習室の衛生環境が悪すぎる。学生それぞれに綺麗に使ってもらうように大学側からも注意喚起してほしい
	練習室をもっと綺麗にして頂けると幸いです。特に、壁の落書きや壊れた空調設備をそのままにしないでほしいです。 きれいなところが少ない。

		練習室が汚すぎる。 練習室が汚いので、定期的に掃除に入っただけだと嬉しいです。練習室自体がとても少ないので毎日や毎週、掃除で使えなくなる時間があると困ると思うので、月1でも良いので掃除しただけだと大変助かります。よろしく願いいたします。
		3号館やホール館の練習室が汚すぎる。ごみはもちろん、塊のほこりや食べこぼし、ピアノにはジュースがこぼれて乾いた跡があり、とても練習するのによい環境ではない。入学して一番驚きました。掃除に関しての人件費を削らないでほしい。何ヶ月に一回とかではなく、こまめにやってほしい。せめて2週間に一回でいいから…アレルギー持ちであんな場所では歌えない。トイレはきれいだと思います。
		練習室がゴミだらけで、汚い。清掃をしてほしい。
		練習室がきたなすぎる。一部の学生が悪いですが、掃除してもらえたらと思います。2週に一度でもいいので。
	その他 (19件)	入学してやっと一年経ったばかりなのでこれだというのがまだ断言できませんが、排水処理のやり方は少し面倒だと感じます 飲み会、打ち上げの必要性を感じない 取手校舎は遠く、駅からも利根バスを利用すると片道310円かかります。学バスの充実を求めます。 自分は他の国立大学を卒業して博士後期過程から藝大に入学しました。そこで感じることは、藝大はあまりにも学内での学生雇用の機会が少ないことです。院生であればTAや技術補佐員、事務補佐員などの仕事があると非常に助かります。 大学の不審者対策の強化。学生の入校時間やセキュリティに関しては以前より厳しくなりましたが、不審者は学生について校舎に入ってきているようです。不審者には守衛さんが厳しく取り締まるべきだと思います。 とても親身になって頂いており、感謝しております 警備の人が芸大のシステムを理解していない奏楽堂利用者に対する態度が失礼だったと聞きますレッスンがあるという生徒を信じなかったらしいし、態度が悪いこっちは悪いところは多々あるが、反抗心が芽生える態度でもある。この間の火災報知器の誤作動の際、誤作動の理由、まず誤作動かすらもアナウンスがなかったのはありえないとおもう。 夏頃の16:00以降入構禁止の際や、授業の公開発表会の際の守衛の方々の対応は酷かった。16:00以降の入構が禁止の時に、忘れ物があるのに「それは命より大事なのか」という意地悪な問いかけをしてきたり、発表会なのでわざわざ遠くの県外から来てくださった保護者の方に臨機応変に対応せず冷たくただ「入れない」とあしらったりした。この学校のメインは学生ではないのか？なぜこんな扱いを受けるのか？私達を守るためだと仰るならば、余計なお世話だと感じてしまう。 映像研究科にも制作や上映会に利用できる学生やクラスに対する助成金があると有り難いです。
藝心寮について(2件)	藝心寮について(2件)	藝心寮に1年入寮したが、使い勝手の悪さと対応が悪い。生活する上でストレスにより学生生活の妨げになっていた学生が多かったように思う。今年の春で友人は皆、退寮予定。管理会社の対応の悪さと、アトリエ等のスペースに対しての厳しすぎる規約が使いにくさを助長している。異性フロアについても、元石神井寮生にとっては厳しいもの。共有スペースがあんなにお粗末ならなおさらだと思う。学生寮として、学校サイドからの改善が必要なのでは？実情を聞いた新入生は入寮しないと思う。 藝心寮についてだが、親が泊まれるようにしてほしい。
図書館・芸術情報センター他(40件)	附属図書館(29件)	図書館で美術や音楽関係以外の本も取り扱って頂きたいです。もっと自学自習のしやすい自習スペースも作ってほしいです。 図書館の、美術系の図書(画集等)をもっと充実させてほしいです。 図書館の開館時間を延長してほしい(例:夜12時迄開館、日曜開館)。 図書館に本が少ない。情報収集や自習のために大事な空間なのに快適性に欠ける。席数を増やして欲しいし、隣の席との狭いのでゆったりとした席が欲しい。 唯一の国立芸術大学にもかかわらず、大学図書館に、国外はおろか国内の展覧会カタログがほとんど所蔵されていません。ですので、美術関連書を充実させていただきたいです。 大学図書館について。大学図書館の利用時間を拡大して欲しいです。平日は20時には閉まると思うのですが、21時まで開館して欲しいです。隔週でも結構なので、日曜日でも開館して欲しいです。 図書館の開館時間を延ばしてほしい。楽譜を開架にほしい。

		<p>図書館には珍しい資料(楽譜、音源、映像)がたくさんあるのは嬉しいが、それしかないのは困る。なかなか買えないものを揃えることも大切だが、誰もが必要とするものも揃えて欲しい。また検索方法が原語でないといけないのはとても不便。見出しも統一されていないので、タイトル、編集者、演奏者、収録内容をもう少し分かりやすくして欲しい。</p>
芸術情報センター(8件)		<p>AMCパソコン人数少ない</p> <p>AMC・工房の利用期間をもっと増やしてほしい。一番自主制作できる長期休みに全然使えないのは生徒に作らなくていいと言ってるようなものだと思う。</p> <p>写真センターやamcが長期休み中に閉まってしまうのは満足していません。休み中にカメラや機材を借りて制作できるようにしてほしいです。</p> <p>geidai-wireless の接続時間制限を無制限にしてほしい。</p> <p>AMCの利便性が著しく悪い。利用したいときに開室していない、必要な機器が導入されていない。食堂系が早めに閉まるのに、複数人で気軽に集まれるオープンスペースがない。専攻が異なると、一つの専攻の共有部には集まりづらいため、ラウンジのようなオープンスペースが必要。</p> <p>とても便利だし機材は充実していてとても助かっているがamcの貸し出し期間を延ばしてほしい少し短く感じる10日程に延ばしてほしい</p> <p>写真センターやAMCは閉鎖感が強く、用がないなら早く出てってください、って感じで使いづらい。せっかく設備があるのでもっと使いやすくしてほしいです。</p> <p>学部生でも使える映像スタジオがあると嬉しい。AMCで使う機材不足の問題を解決して欲しい。</p>
その他(3件)		<p>シナリオ等の映画関係の書籍の充実。</p> <p>・映像研究科に食堂、あるいは近辺で安く食事できるようなサービス(食事の学割のようなサービスを作る等)がほしい。・映像研究科の図書館が閲覧のみならず曜日指定なのは、機会損失だと思う。・映像研究科の貸出しDVDラインナップをもっと増やしてほしい。</p> <p>横浜校地の図書館ですが、1年間ずっと整備中のままで使えなかったです。整備中のまま卒業する事になるのは嫌だなと思いました。</p>
食堂・生協等(32件)	食堂・生協等(32件)	<p>キャッスル食堂の値下げをして欲しい。</p> <p>キャッスルの食事提供についてあまりに提供の仕方が雑で、ご飯もべちゃべちゃに渡されたことがあり、一切利用しなくなった。あとキャッスルも大浦も食費が高すぎて生活していけない、、、もっと他大学のように安くするべき。皆言っている！</p> <p>キャッスル食堂でもっと栄養バランスを考えた簡単な野菜料理を増やして欲しいです。</p> <p>大浦の大改革。</p> <p>大浦食堂は職員さんの対応を改善して欲しいです。</p> <p>大浦食堂は、メニューを減らしてもいいから、味と質を向上させてほしい。接客の態度は大変悪い。おつりを投げて返す等。</p> <p>大浦食堂(上野校地)サービス・対応について会計を担当しているお婆さんの愛想があまり良くなく、それが原因で大浦を利用しないという生徒が周りに多数いる。</p> <p>大浦食堂のサンドイッチは美味しいです。</p> <p>大浦食堂の注文形式が分かりにくいのと味がよくないです。</p> <p>大浦食堂の厨房の衛生に関して不安がある。</p> <p>大浦食堂の衛生面が気になります。</p> <p>大浦の店員さんの態度が悪すぎです。・</p> <p>安くおいしく栄養をとれる食堂がほしいです。取手の食堂が一番シンプルでいい。上野も同じ形態にしてほしい。あとは社会の常識にふれる機会がほしい。教員たちの常識を当たり前にしたくない。</p> <p>食堂も安くないので普通の学生には不便です。ご検討のほどよろしく願いいたします。</p> <p>学食が高い。上野校の生協の充実(まわりにコンビニ等ないので安く手に入るごはんがほしい。今のままでは数も種類も足りてないと思う。)</p> <p>学食の味が良くない。</p> <p>・食堂の定食がもう少し安いと学生としてとっても嬉しいです。</p> <p>食堂のクオリティを上げて欲しい。味の向上か、もっと値段を安くしてください</p> <p>とりあえず上野校地の食堂はどちらも値段の割には美味しくないし不衛生な感じがするのであまり価値はないように思います。かといって生協も充実しているとは言えないので、そこが不満です。他大学と比べるとかなり質は悪いように思います。</p> <p>学食が不味くて高い</p> <p>学食の価格とクオリティが見合っているか疑問(他大学は同価格でもクオリティが高い)</p> <p>取手の生協で張りキャンバスやカットキャンバスが手に入らないのは油画学生にとって環境が劣悪すぎると思います。木枠しか手に入らないのは、どうなのでしょう。</p>

1次分類	2次分類	Q33<自由記述>学生生活における支援体制やサービス等について気付いた点、(一部抜粋)
進路に関する こと(16件)	卒業・終了後について (3件)	<p>油画の作家志向も学生の無駄遣いではないかと思えます。資質もガッツもある学生たちですが、作家よりDTPやジュエリーデザインなどの就職でポテンシャルを発揮できそうな人も多い。なのになぜか半端に作家を目指してしまったり、モチベーションをなくして学校に来なくなる。若い学生にはいろいろな道が開けていると教えるべきですし、学科をまたいだ授業も一部行う・専門学校を紹介するなどしてもいいのではないのでしょうか。油画は就職を軽視していますが、作家もサラリーマンも同様に尊くやり甲斐のあるものだという認識の上でどの生き方を選ぶのかを学生に選択させるほうがずっと良いのでは？わたしは作家至上主義のような雰囲気には強い疑問を覚えています。</p> <p>将来への導きが少ない。具体性がない。</p> <p>生徒は大学在学中は皆安心して暮らしていけるが、卒業した途端恐らく皆不安になりどうしたら良いか、今の大学の教育では、分からなくなる。もっと将来の進路のことについての講習や相談できる場が必ず必要になる！皆将来どうしたら良いのか不安がっている。より細かくこの進路ならこのやり方があるなど教えて頂きたい。</p>
		<p>就職について(13件)</p> <p>就職に際して会社訪問をしていた時、ある企業から、芸大で説明会をできるよう社会連携課に問い合わせた所断られたと伺いました。デザイン科のOBがおり社長と教授との面識もある会社です。そういった対応を事務レベルで断り学生の就業機会を奪うのは如何なものかと思えます。せめて、大学レベルで対応できないとしても情報を一度科に回すべきです。大学の事務が対応できない事をその場で勝手に判断し各々が情報を共有できていない場面は在学中幾度か目にしました。特に外部からの情報の第一段階での判断に関して、もうすこし連携を強化してください。</p> <p>就活を考えているが何から始めればいいのかわからない。企業のセミナーなどに参加したが実感が湧かない。就活に関して基本的なことが知れるガイダンスやセミナーがあると気軽に参加できて希望する業界も絞りやすくなると思う。</p> <p>就職に関する支援をもっと充実させてほしい。</p> <p>油絵科の就職支援体制が整っていない。教授・生徒ともに就職したら負けという空気がながれているから、進路の選択肢に選びにくいのは問題だとも思う。</p> <p>就職についての学生への配慮をもっと斡旋して欲しい。アルバイトや就職情報が古いままになっているので常に確認しておいて欲しい。芸大のサイトがいまいち見辛い。</p> <p>アルバイト情報、また就職先情報が他校と比べて少ないと思います。卒業後のバックアップをお願いしたいです。</p> <p>就職情報などについて、データベースの存在等がわかりにくく、せっかく支援体制が存在していても利用しにくい状況でないかと思えます。</p> <p>就職相談の方が金曜にしかいらっやらないのは不便なので、もう一日位増やしていただけるとありがたいです。</p> <p>・就活のセミナーなどは上野にしかないの、行く場合時間かなりかかります。映像、アニメーション関係の就活支援は横浜校地にもあったらありがたいです。</p> <p>他大学に比べてあまりにも就職に対する意識が低すぎる点。</p>
課外活動に関する こと(4件)	課外活動に関する こと(4件)	<p>他科の生徒との交流が欲しいとどの科の人も言っています。また芸大のサークルがどれも隠れていて存在がつかめません。</p> <p>芸祭の神輿、取手アートパス運営が1年生にとって本当に負担になっている。特に神輿だが、学科として単管足場から神輿完成までのしっかりとした引き継ぎと、大学側から神輿法被幹部決定以前の説明とフォローが欲しい。能力の無い人間が幹部役を安請け合いして後で全体が尻拭いはよくあるようです。</p> <p>部活動への支援制度の充実</p> <p>ヨット舟のクラブを作って欲しいです。</p>
		<p>マナー・モラルに関する こと(3件)</p> <p>マナー・モラルに関する こと(3件)</p> <p>喫煙スペースをもっと明確にわけてほしい。どこへ行くにも必ず喫煙している人がいて避けようがない。大浦食堂にいたっては調理する人間が吸っていて厨房が不衛生(喫煙だけでなく身内の小さな子供も出入りしている)アトリエ内でも隠れて吸っている人間がおり危険なので、学校としてもっと取り締まってほしい。</p> <p>法律的に際どい学生も散見する。しかし、学生は身内を売るような告発は出来ない。麻薬や脱法ドラッグの抜き打ち検査も必要では。抑止力になる。芸大生がいつ悪いニュースに乗ってもおかしくない現状だ。いつか起こることは必ず起きる。</p> <p>以前から揉み消され続けている危険ドラッグや飲酒等については学生内から通報できるシステム、及び他機関の介入が必要であると思う。本学内において、本人が呼び出しを受けても結局は否定することで誤魔化せるといのは大きな問題だし、大学側がそれを認知している時点で犯罪幫助的であるといえる。</p>

学生支援 (27件)	事務室窓 口対応(16 件)	教職の手続きなど連絡事項は、できるだけ早く且ついくつかの方法で知らせてほしい。張り紙1枚だけだと、見落としかねないため。できれば重要なことはメールしてもらいたい。昨年の台風時休講メールは、とても助かった。
		期限を守ったにも関わらず集中講義の履修取り消しが出来ず、失格が付いた事があった。集中講義の履修方法を、日程が4月に分かる様にする等、改善して欲しい。少なくとも事務で正確な情報を統一して確実に伝達して欲しい。
		以前取手で通学バスが何時間も来なかったときに、自分の専攻はそれらのことを全く連絡していなかったり等、重要な連絡が遅れたり等ということが割としょっちゅうなので、重要事項の連絡体制をもっとしっかり行ってほしいです。あと休校情報の掲示廃止は正直やめて欲しいです
		休講情報の紙媒体掲示をやめないで頂きたいです。Web上のデータだけではとても不安です。何らかの手違いやミスが起こらないとも限らない、と想定しています。実体のある形にしておいて頂きたいです。スマートフォンを使っていない人は家や学校のPCでしか確認できない、ということですよ。毎日Webサイトにアクセスしろ、というのは人によっては大変手間なのでは、と思います。
		事務室は休憩時間にあけてほしい。売店の店員が美術に関しての知識がなさすぎる(取手)
		何か分からないことがあったとき、学生支援課と教務が二つの場所に分かれているのが複雑。ひとつにまとめることが出来ないなら、どんな時にどちらに行くのか、それも学生に説明すべき。
		諸手続に関して、紙媒体でやり取りするのではなく、Web上でやり取りできるようお願いしたい。
		[Bulls]としてのメールがあまりにも多すぎる。個人や学業に直接関わらない事項に関しては、ホームページなどを利用して告知して欲しい。休講情報をwebによって知らせるシステムを導入して欲しい。
		教務係の対応時間が短く、閉まるのが早いです。授業後にも立ち寄れるようにしていただきたいです。
		学生支援課の対応が遅い。
		教務が閉まるの早すぎます。
		事務や教員室の昼休みのタイミングが授業と授業の間でちょうど学生が休みの間に利用したい時休憩時間の為少しでもずらして欲しいです。
		1)授業の登録が、紙媒体とG-netもある、など煩雑かつ複雑で分かりにくい。トラブルを防ぐためにも、他大学のように、自宅からオンラインでチェックできるようにしてほしい。2)図書館・教務課ともに昼休み時間があるのは仕方ないが、学生が講義の間に立ち寄れる時間は、まさに昼休み時間帯でもある。人員を増やすなどシフト体制を組んで窓口は明けてほしい。3)1と関係するが、休講の連絡を大学HPからチェックできるようにしてほしい。
		学事歴や講義の講師名などの訂正が多すぎると感じます。後から変更があった場合は仕方ないことですが、部屋のブッキングは学生に通知する前にわかることですし、もっと教授や講師の先生方と連携していただきたいです。
教務係はせめて昼も空いてほしい。仮に学生が5限まで授業やレッスンなどで埋まっていたら行ける時間がない。ちょっとしたことなのに少し待っていてくださいといわれ、かなり待たされてから対応されるなど融通が利かない。		
情報提供 に関する こと(9件)	手続きの通知などを正確に通知してほしい	
	大学院に入学したとき、ガイダンスと名の付くものは科のものしかなく、アトリエの使用方法などの説明のみ。履修登録のやりかたの説明は何もなかった。シラバスも教務廊下の机に山積みになっているだけで、そもそも教務の場所さえ教わっていない。まず教務は、入学した学生に対し、構内施設、どこで何が出来るのか、履修登録のやりかた等を一からガイダンスで全体に分かりやすく伝えるべき。仕事の多くが、一人で担当することになっている場合が多く、担当者が居ないと何も対応出来なかったり、担当者が変わったタイミングでよく分からないと言われることがある。教務をはじめとする事務は、人員を増やし、何人かのチームでひとつの仕事を担当するべきだと思う。	
	休講情報や履修登録、履修状況の確認などを一括して閲覧できたり簡単な申し込み・手続き、練習室の予約などができる学生ポータルサイトのようなものがあれば便利。	
	情報提供がアナログすぎる	

		【教務課について】質問や申請を行った際の対応や手際が悪い。処理出来ない内容について他の職員にたらい回しをするので、学生支援課等、他の事務職員との連携が取れていないと感じる。自身の担当する手続きの内容を把握していない。その為単位計算を誤ったり、奨学金や入試の担当者が期日や規定に対して不明確な回答をする等、業務に対する意欲を感じない
	留学について (2件)	留学支援(交換留学システムなど)をもっと充実させてほしい。 海外留学の機会がもっと入ってきてほしかった。
アンケート に関する こと(3件)	アンケート に関する こと(3件)	アンケートが長い。自動車免許の学科より長い。 ネットに対する大学の意識が低すぎる点。今回のアンケートに関しても、既にアンケートを行った生徒に対してもアンケート参加を促すメールが届いていることなどがいえる。